

総合計画市民アンケート 報告書

平成 25 年（2013 年）9 月

横 須 賀 市

は じ め に

本市では、1997 年（平成 9 年）に長期的なまちづくりの目標として「国際海の手文化都市」を都市像とする「横須賀市基本構想」を定めました。また翌年の 1998 年（平成 10 年）には「横須賀市基本計画」をスタートさせました。

基本計画は市の最上位計画である総合計画の一部で、総合計画は「基本構想」、その期間をおおむね二分して施策の体系を示した「基本計画」、3 年ごとの主要事業を示した「実施計画」の三つによって構成されています。

平成 23 年 4 月には、市の基本的な政策・施策の体系、政策の目標などを示した、新たな基本計画、実施計画が同時にスタートしました。この基本計画には、計画の着実な推進を図るため、定期的な進行管理を行っていくことが明記されています。

この度、進行管理を行うにあたり、「本市の魅力」や「政策・施策」などに対する、市民の皆さんの実感を伺うアンケート調査を実施しました。（15 歳以上の 2,000 人の方が対象）

調査で得られた結果は、進行管理のほか、分野別計画などを策定する際の基礎資料として、十分に活用してまいります。

本調査にご協力いただきました皆さまには、厚くお礼申し上げます。

平成 25 年（2013 年）9 月

横須賀市都市政策研究所

内 容 と 構 成

本報告書は「政策形成編」と「基本計画進行管理編」で構成されている。

【政策形成編】

これまで本市では、基本計画、実施計画策定の前年に、重点的な取り組むべき施策等の方向性をみいだすため、「まちづくり市民アンケート（政策・施策編）」「基本計画策定のための市民アンケート」「総合計画市民アンケート」を実施してきた。

「政策形成編」は、これらアンケートの設問のうち、「横須賀のイメージ」「魅力」「重点的に取り組むべき政策」など、これまで経年的に調査してきた設問を中心に、新規設問なども加え、政策形成に必要となる市民意識に関する調査結果を述べている。

【基本計画進行管理編】

「横須賀市基本計画（2011～2021）」では計画の着実な推進を図るため、定期的な進行管理を行う旨が記載されている。（「横須賀市基本計画」資料編 p138～142）

進行管理の手法である「市民の実感（主観的要素）の把握」についてはアンケートによるものとしており、「基本計画進行管理編」は、各政策の進捗状況に対する市民意識に関する調査結果を述べている。

調査結果の見方

1. 回答率（％）は、小数点以下第2位を四捨五入したため、合計が100％とならない場合がある。

2. 「基本計画進行管理編」は、アンケートの設問に対する回答者の傾向を観察するため、DI（ディフュージョンインデックス 景気動向指数／拡散指数）の考え方を利用している。

プラスの回答ポイント－マイナスの回答ポイント＝DIとして記述している。

DIの算出にあたっては、「⑥わからない」と「無回答」を除いている。

※DIとは、「良い／悪い」「上昇／下落」といった定性的な指標を数値化して得られた指数をいう。

マイナス100からプラス100の間を取る。

・「①感じる」＋「②やや感じる」⇒プラスの回答ポイント

・「④あまり感じない」＋「⑤感じない」⇒マイナスの回答ポイント

・DIがプラス … アンケート回答者の実感が、良好・改善の傾向にある

・DIがマイナス … アンケート回答者の実感が、停滞・後退の傾向にある

3. 前回調査比較の図表は、平成20年6月実施の「基本計画策定のための市民アンケート」、平成23年3月実施の「総合計画市民アンケート」との比較である。

今回の調査とは、調査対象者数、回収数（率）は異なるが、比較した設問については内容を同様に行っている。

目 次

I. 調査目的及び実施方法等	1
【政策形成編】	
II. 調査結果の概要	5
III. 集計結果	9
i 横須賀の魅力について	
横須賀の魅力的なところ（問1）	9
ii 横須賀への愛着やイメージについて	
1 横須賀への愛着（問2）	11
2 横須賀の都市イメージ（問3）	12
iii 横須賀の住みよさについて	
1 横須賀の住みよさ（問4）	15
2 横須賀への定住意識（問5）	16
3 横須賀の公共交通の利便性（問6）	21
iv 地域活動への参加状況について	
地域活動への参加、参画状況（問7）	23
v 情報の入手方法、市民相談について	
1 日常生活に必要な情報の入手先（問8）	29
2 横須賀市が製作・放送している広報番組の視聴状況（問9）	31
3 日常生活の困りごとなどを相談する場所としての市役所の利用しやすさ（問10）	33
vi 基地について	
1 米軍基地に対する考え（問11）	35
2 自衛隊基地に対する考え（問12）	41
vii 公演などの鑑賞、文化芸術活動の状況、文化の振興について	
1 公演などの鑑賞状況（問13）	47
2 文化芸術活動の活動状況（問14）	49
3 横須賀の文化を豊かにするために必要な取り組み（問15）	51
viii 政策の優先度や市役所サービスへの満足度について	
1 日々の暮らしにかかわる市役所サービスに対する満足度（問16）	52
2 政策の優先度（問17）	53

【基本計画進行管理編】

IV. 集計結果	63
ix 市の政策に対する実感について	
市の政策に対する実感（問 18）	63
V. 基本的な属性（F 1～F 7）	79
市民アンケート調査票	82

I. 調査目的及び実施方法等

1. 調査目的

「国際海の手文化都市」の実現に向け、基本計画、実施計画の着実な推進を図るため、政策形成に必要な市民意識および計画の進行管理の評価基準となる市民の実感を把握する。

2. 調査項目

設問番号	項目
問 1	横須賀の魅力的なところ
問 2	横須賀への愛着
問 3	横須賀の都市イメージ（現在のイメージ／望ましいイメージ）
問 4	横須賀の住みよさ
問 5	横須賀への定住意識
問 5－1	定住意向のある人が転出したくなるきっかけ
問 5－2	転出意向のある人が住み続けたくなるきっかけ
問 6	横須賀の公共交通の利便性
問 6－1	鉄道の利便性
問 6－2	バスの利便性
問 6－3	タクシーの利便性
問 7	地域活動への参加、参画状況
問 7－1	参加している活動の内容
問 7－2	今後の参加意向とその理由
問 8	日常生活に必要な情報の入手先
問 9	横須賀市が製作・放送している広報番組の視聴状況 ・tvk（テレビ神奈川）「マイコミュニティよこすか」 ・ジェイコム湘南「YOKOSUKAほっとナビ」 ・FM ブルー湘南「耳で聞く広報よこすか」
問 10	日常生活の困りごとなどを相談する場所としての市役所の利用しやすさ
問 11	米軍基地に対する考え
問 11－1	米軍基地があった方がよい理由
問 11－2	米軍基地がない方がよい理由
問 12	自衛隊基地に対する考え
問 12－1	自衛隊基地があった方がよい理由
問 12－2	自衛隊基地がない方がよい理由

設問番号	項目
問 13	公演などの鑑賞状況
問 13－ 1	今後の鑑賞意向
問 14	文化芸術活動の活動状況
問 14－ 1	今後の活動意向
問 15	横須賀の文化を豊かにするために必要な取り組み
問 16	日々の暮らしにかかわる市役所サービスに対する満足度
問 17	政策の優先度
問 18	政策に対する実感（まちづくり政策の目標／まちづくりの推進姿勢）

< 基本的な属性 >

F 1 性別 / F 2 年齢 / F 3 居住地域 / F 4 職業 / F 5 世帯の状況
F 6 横須賀市に住んでいる年数 / F 7 現在の住宅の形態

3. 調査対象及び回収数

調査対象：横須賀市に在住の 15 歳以上の市民 2,000 人
(平成 25 年 1 月 1 日現在；住民基本台帳から無作為抽出)

回収数	回収率	前回（平成 23 年 3 月）比
945 件	47.3%	1.6 ポイント増

4. 実施方法

郵送による発送及び回収

5. 実施時期

平成 25 年（2013 年）1 月 22 日 ～ 2 月 12 日 ＊発送日－投函締切日

6. 調査企画・分析

横須賀市都市政策研究所で実施

政策形成編

Ⅱ．調査結果の概要

注)【新規設問】今回のアンケートで新たに設定したもの

1. 横須賀の魅力的なところ（問1） ※複数回答3項目まで

- ・8割以上の回答者が本市の魅力として「海や緑などの自然環境に恵まれている」を選択した。

2. 横須賀への愛着（問2）

- ・「感じる」「やや感じている」を合わせると、8割以上の回答者が、本市への愛着を感じているという結果となった。

3. 横須賀の都市イメージ（問3） ※複数回答3項目まで

・【現在の都市イメージ】

9割近くの回答者が「米軍基地・自衛隊がある『基地のまち』」を選択した。

・【望ましい都市イメージ】

「高齢者・障害者をはじめとした『誰もが安心して暮らせるまち』」、「防犯・防災体制が整った『安全・安心なまち』」を選択した回答者が多かった。

4. 横須賀の住みよさ（問4）

- ・「住み良い」「まあまあ住み良い」を合わせると、回答者の8割以上にのぼり、多くの人が住み良いと感じている。

5. 横須賀への定住意識（問5）

- ・8割以上の回答者が「今住んでいるところに住み続けたい」「横須賀市内のどこかに住み続けたい」を選択した。
- ・これらの回答者（定住意向を持つ人）の気持ちが変わるきっかけとしては、5割近くの人が「自然環境が今よりも豊かでなくなる」を選択した。（複数回答2項目まで）
- ・一方、「市外に転居したい」と回答した人の気持ちが変わるきっかけとして、5割近くの人が「交通の便が今よりも良くなる」を選択した。（複数回答2項目まで）

6. 横須賀の公共交通の利便性（問6） 【新規設問】

- ・回答者の半数以上が、「公共交通の便が良く、外出に便利である」を選択した。
- ・公共交通別では、回答者の8割以上が「鉄道」の利便性を感じており、ほかの公共交通に比べて実感の高さが顕著であった。

7. 地域活動への参加、参画状況（問7）

- ・地域活動に「参加、参画している」と回答した人は3割を下回った。
- ・地域活動の参加内容として、8割近くの回答者が「地域のまちづくり活動（町内会・PTAの役員、地域のクリーン活動や防災・防犯活動など）」を選択した。（複数回答）
- ・一方、「参加、参画していない」を選択した回答者うち、今後の参加、参画意向のある人は3割弱で、希望する地域活動として、「ボランティア活動（福祉や国際交流、環境美化、青少年の健全育成など）」を選択した人が多かった。
- ・また、「今後も参加、参画したいと思わない」を選択した回答者の理由として、6割以上の回答者が「興味はあるが、時間的余裕がない」「興味はあるが、きっかけや情報がない」を選択し、地域活動に関心は抱いているものの参加には結びついていない状況が窺える。

※地域活動：「地域のまちづくり活動」「ボランティア活動」「NPO活動」「市が呼びかけた市民参加型事業」など

8. 日常生活に必要な情報の入手先（問8） ※複数回答3項目まで

- ・回答者の7割以上が「テレビ」を選択した。「新聞・チラシ」「広報よこすか」がこれに次いで活用されている。

9. 横須賀市が製作・放送している広報番組の視聴状況（問9） 【新規設問】

- ・テレビについては回答者の3割以上が「見たことがある」と回答しているものの、ラジオについては2割に届かなかった。
- ・認知度は、テレビについてはいずれも5割を超えた。

10. 日常生活の困りごとなどを相談する場所としての市役所の利用しやすさ（問10）

- ・「どちらともいえない」を選択した人の割合が前回調査と同様、最も高い。
- ・「（利用しやすいと）思う」「やや思う」の肯定的な回答の合計割合が、「（利用しやすいと）思わない」「あまり思わない」の否定的な回答の合計割合をやや上回った。

11. 米軍基地に対する考え（問11）

- ・「あった方がよい」を選択した回答者は3割を超えたが、「ない方がよい」を選択した回答者の割合との差は、前回調査より小さくなった。
- ・「あった方がよい」とする回答者のうち5割弱が、理由として日本の安全上必要であることを挙げている。
- ・「ない方がよい」とする回答者のうち4割弱が、犯罪や事故が心配であることを理由として挙げている。

12. 自衛隊基地に対する考え（問 12）

- ・回答者の 5 割以上が「あった方がよい」を選択し、「ない方がよい」を大きく上回った。
- ・「あった方がよい」を選択した回答者の 5 割以上が、理由として日本の安全上必要であることを挙げている。
- ・「ない方がよい」を選択した回答者の 4 割弱が、理由として戦争の危険に巻き込まれるおそれがあることを挙げている。

13. 公演などの鑑賞状況（問 13） 【新規設問】

- ・「月に 1 回以上鑑賞する」「数カ月に 1 ～ 2 回程度鑑賞する」「年に 1 ～ 2 回程度鑑賞する」を選択した回答者が 5 割を超えた。
- ・「鑑賞しない」を選択した回答者のうち、今後、「機会があれば鑑賞したい」と回答した人が 7 割弱となった。

14. 文化芸術活動の活動状況（問 14） 【新規設問】

- ・「活動したことがない」を選択した回答者が最も多く、次いで、「今はしていないが過去に活動していたことがある」となった。
- ・現在、活動していない回答者のうち、「機会があれば活動したい」を選択した人が 6 割を超えた。

15. 横須賀の文化を豊かにするために必要な取り組み（問 15） 【新規設問】

※複数回答 3 項目まで

- ・「景観の保全および形成（豊かな自然や歴史的環境の保全、街並みづくりなど）」を選択した回答者が約 4 割と最も多かった。

16. 日々の暮らしにかかわる市役所サービスに対する満足度（問 16）

- ・「ほぼ満足している」を選択した回答者が 4 割弱で最も多かった。
- ・「満足している」「ほぼ満足している」の肯定的な回答の合計割合は 4 割を超え、「不満である」「やや不満である」の否定的な回答の合計割合を大幅に上回った。

17. 政策の優先度（問 17） ※複数回答 3 項目

- ・重点的に取り組むべき政策として、「地域経済の振興と雇用の安定」を選択した回答者が最も多かった。
- ・次いで「高齢者福祉」「子育て支援の充実」が選択されている。

Ⅲ. 集計結果

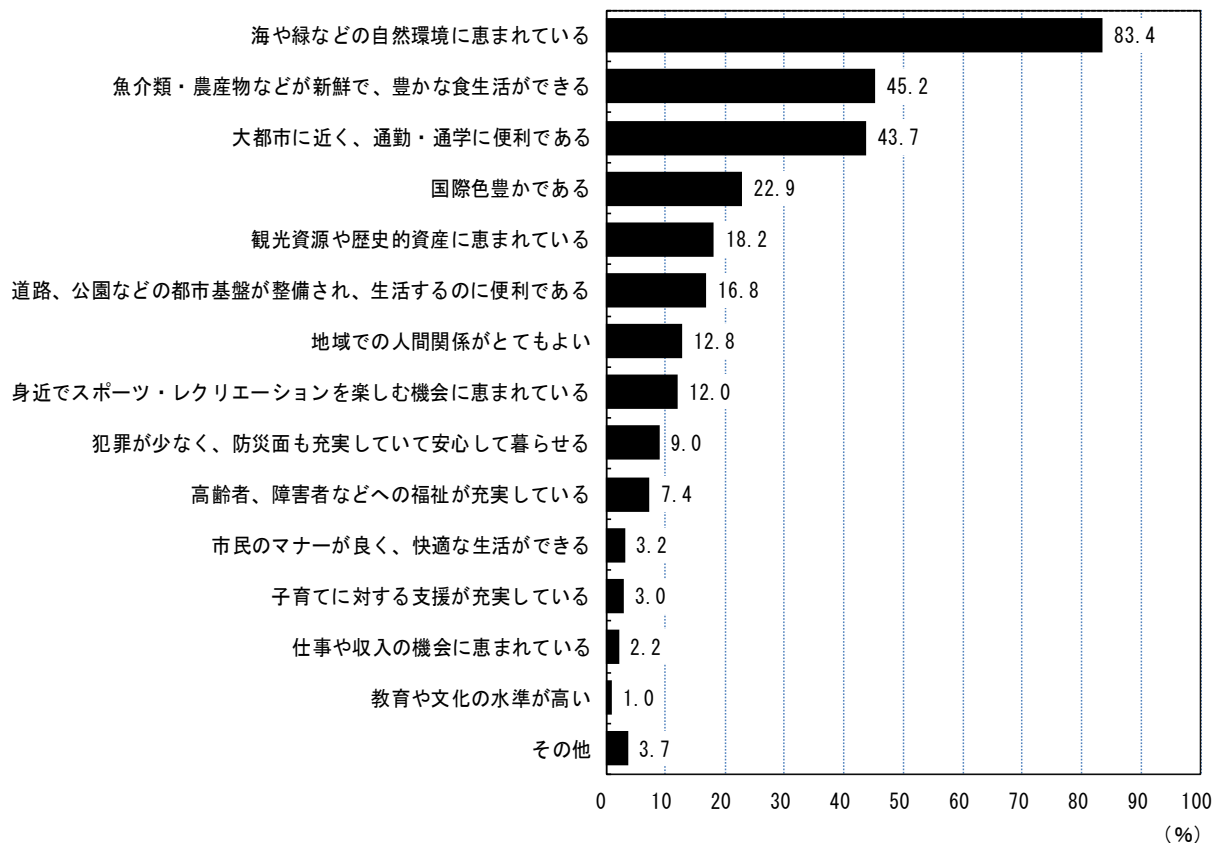
ⅰ. 横須賀の魅力について

問１ あなたにとって横須賀の魅力的なところとは、どのようなところだと思いますか。
(あてはまるものを順に３つまで選択)

本市の魅力として８割以上の回答者が「海や緑などの自然環境に恵まれている」を選択した。(複数回答)

- ・今回調査では、「海や緑などの自然環境に恵まれている」が 83.4%と最も多く、次いで、「魚介類・農産物などが新鮮で、豊かな食生活ができる」(45.2%)、「大都市に近く、通勤・通学に便利である」(43.7%) などが多く挙げられている。
- ・前回調査と比較して、上位３項目はほとんど変化がみられない。
- ・そのほかの項目についても前回調査と大きな変化はみられないが、「道路、公園などの都市基盤が整備され、生活するのに便利である」「犯罪が少なく、防災面も充実して安心して暮らせる」など、生活環境に関わる項目の回答割合が若干減少した。

(図表ⅱ－１ 横須賀の魅力的なところ n=930)



(図表 i - 2 横須賀の魅力的なところ 前回調査比較)

順位	平成25年 1 月調査 (n=930)		平成23年 3 月調査 (n=901)		平成20年 6 月調査 (n=2,150)	
	回答項目	割合 (%)	回答項目	割合 (%)	回答項目	割合 (%)
1	海や緑などの自然環境に恵まれている	83.4	海や緑などの自然環境に恵まれている	82.6	海や緑などの自然環境に恵まれている	83.1
2	魚介類・農産物などが新鮮で、豊かな食生活ができる	45.2	魚介類・農産物などが新鮮で、豊かな食生活ができる	44.8	大都市に近く、通勤・通学に便利である	42.4
3	大都市に近く、通勤・通学に便利である	43.7	大都市に近く、通勤・通学に便利である	43.8	魚介類・農産物などが新鮮で、豊かな食生活ができる	37.2

横須賀の魅力の項目	平成25年 1 月 (n=930)		平成23年 3 月 (n=901)		前回比
	順位	割合 (%)	順位	割合 (%)	
海や緑などの自然環境に恵まれている	1	83.4	1	82.6	0.8
魚貝類・農産物などが新鮮で、豊かな食生活ができる	2	45.2	2	44.8	0.4
大都市に近く、通勤・通学に便利である	3	43.7	3	43.8	▲ 0.1
国際色豊かである	4	22.9	4	23.1	▲ 0.2
観光資源や歴史的資産に恵まれている	5	18.2	6	16.2	2.0
道路、公園などの都市基盤が整備され、生活するのに便利である	6	16.8	5	20.3	▲ 3.5
地域での人間関係がとてよい	7	12.8	8	10.8	2.0
身近でスポーツ・レクリエーションを楽しむ機会に恵まれている	8	12.0	9	8.4	3.6
犯罪が少なく、防災面も充実していて安心して暮らせる	9	9.0	7	12.8	▲ 3.8
高齢者、障害者などへの福祉が充実している	10	7.4	10	6.1	1.3
市民のマナーが良く、快適な生活ができる	11	3.2	11	3.8	▲ 0.6
子育てに対する支援が充実している	12	3.0	14	1.4	1.6
仕事や収入の機会に恵まれている	13	2.2	12	3.1	▲ 0.9
教育や文化の水準が高い	14	1.0	13	1.7	▲ 0.7
その他	—	3.7	—	3.1	0.6

ii. 横須賀への愛着やイメージについて

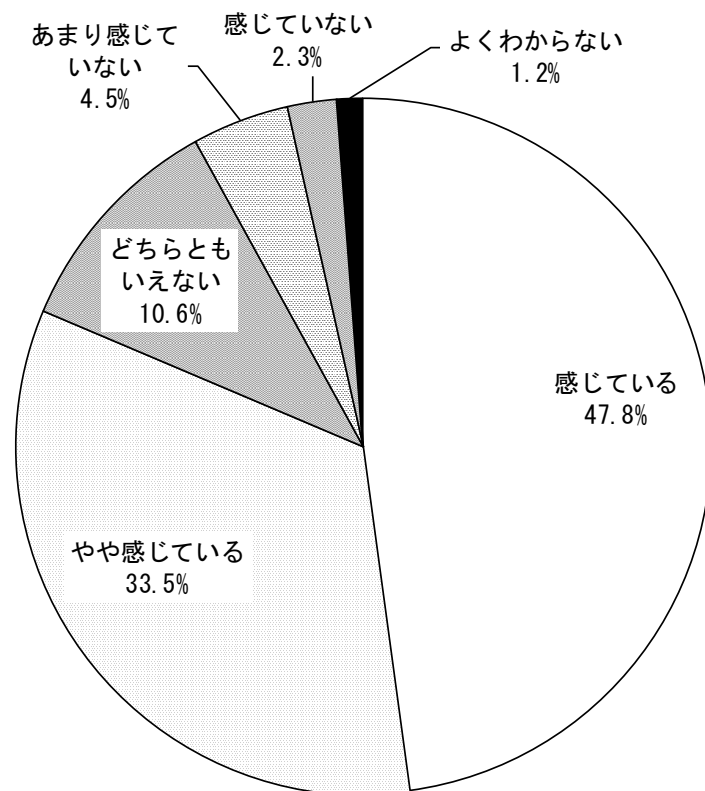
ii－1 横須賀への愛着

問2 あなたは横須賀市に自分のまちとしての愛着を感じますか。

(あてはまるものを1つ選択)

8割以上の回答者が、横須賀市に愛着を感じている。

(図表 ii－1 横須賀への愛着 n=939)



(図表 ii－2 横須賀への愛着 前回調査比較)

調査時期	件数 (人)	回答項目・割合 (%)						①+②	④+⑤
		①感じて いる	②やや感 じている	③どちら ともいえ ない	④あまり 感じてい ない	⑤感じて いない	⑥よくわ からない		
平成25年 1 月	939	47.8	33.5	10.6	4.5	2.3	1.2	81.3	6.8
平成23年 3 月	910	46.6	31.1	13.2	5.7	1.8	1.6	77.7	7.5

ii - 2 横須賀の都市イメージ

問3 あなたが考える横須賀市の「現在の都市イメージ」と「望ましい都市イメージ」をそれぞれ記入してください。（あてはまるものを順に3つまで選択）

（1）現在の都市イメージ

現在の都市イメージとして、9割近くの回答者が「米軍基地・自衛隊がある『基地のまち』」を選択した。（複数回答）

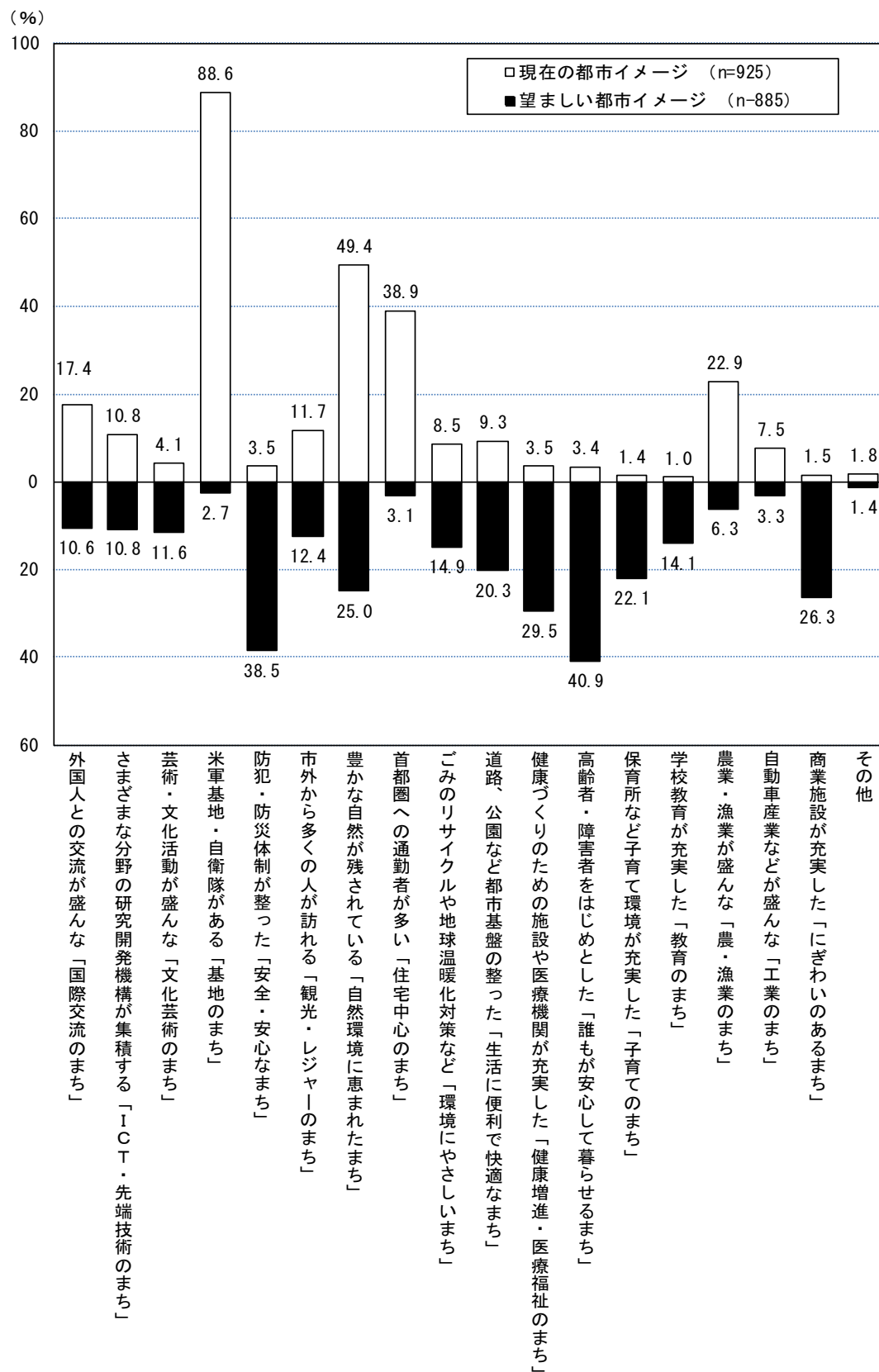
- ・今回調査では、前回の調査結果と同様、「米軍基地・自衛隊がある『基地のまち』」が88.6%で、突出している。
- ・次いで「豊かな自然が残されている『自然環境に恵まれたまち』」（49.4%）、「首都圏への通勤者が多い『住宅中心のまち』」（38.9%）の順に選択された。
- ・前回調査と比較して、上位5項目は変化がなかった。
- ・すべての回答項目のうち「農業・漁業が盛んな『農・漁業のまち』」の回答割合が最も上昇した（4.1ポイント増）。

（2）望ましい都市イメージ

望ましい都市イメージとして、「高齢者・障害者をはじめとした『誰もが安心して暮らせるまち』」、「防犯・防災体制が整った『安全・安心なまち』」を選択した回答者が多かった。（複数回答）

- ・今回調査では、前回の調査結果と同様、「高齢者・障害者をはじめとした『誰もが安心して暮らせるまち』」（40.9%）、「防犯・防災体制が整った『安全・安心なまち』」（38.5%）、「健康づくりのための施設や医療機関が充実した『健康増進・医療福祉のまち』」（29.5%）が高い回答割合となった。
- ・前回調査と比較して、項目ごとの回答割合には大きな変化がない中で、「商業施設が充実した『にぎわいのあるまち』」が最も上昇した（6ポイント増）。

(図表 ii - 3 現在の都市イメージと望ましい都市イメージ)



(図表 ii - 4 現在の都市イメージと望ましい都市イメージ 前回調査比較)

現在の都市イメージの項目	平成25年 1 月 (n=925)		平成23年 3 月 (n=892)		前回比
	順位	割合 (%)	順位	割合 (%)	
米軍基地・自衛隊がある「基地のまち」	1	88.6	1	91.3	▲ 2.7
豊かな自然が残されている「自然環境に恵まれたまち」	2	49.4	2	46.7	2.7
首都圏への通勤者が多い「住宅中心のまち」	3	38.9	3	38.8	0.1
農業・漁業が盛んな「農・漁業のまち」	4	22.9	4	18.8	4.1
外国人との交流が盛んな「国際交流のまち」	5	17.4	5	18.7	▲ 1.3
市外から多くの人を訪れる「観光・レジャーのまち」	6	11.7	7	10.4	1.3
さまざまな分野の研究機関が集積する「ICT・先端技術のまち」	7	10.8	6	12.3	▲ 1.5
道路、公園など都市基盤の整った「生活に便利で快適なまち」	8	9.3	8	10.0	▲ 0.7
ごみのリサイクルや地球温暖化対策など「環境にやさしいまち」	9	8.5	9	8.1	0.4
自動車産業などが盛んな「工業のまち」	10	7.5	10	7.4	0.1
芸術文化活動が盛んな「文化芸術のまち」	11	4.1	13	2.6	1.5
防犯・防災体制が整った「安全・安心なまち」	12	3.5	11	4.7	▲ 1.2
健康づくりのための施設や医療機関が充実した「健康増進・医療福祉のまち」	12	3.5	13	2.6	0.9
高齢者・障害者をはじめとした「誰もが安心して暮らせるまち」	14	3.4	12	3.0	0.4
商業施設が充実した「にぎわいのあるまち」	15	1.5	15	1.9	▲ 0.4
保育所など子育て環境が充実した「子育てのまち」	16	1.4	17	0.7	0.7
学校教育が充実した「教育のまち」	17	1.0	16	1.0	0.0
その他	—	1.8	—	1.6	0.2

望ましい都市イメージの項目	平成25年 1 月 (n=885)		平成23年 3 月 (n=852)		前回比
	順位	割合 (%)	順位	割合 (%)	
高齢者・障害者をはじめとした「誰もが安心して暮らせるまち」	1	40.9	1	43.8	▲ 2.9
防犯・防災体制が整った「安全・安心なまち」	2	38.5	2	38.1	0.4
健康づくりのための施設や医療機関が充実した「健康増進・医療福祉のまち」	3	29.5	3	29.3	0.2
商業施設が充実した「にぎわいのあるまち」	4	26.3	6	20.3	6.0
豊かな自然環境が残されている「自然環境に恵まれたまち」	5	25.0	4	27.0	▲ 2.0
保育所など子育て環境が充実した「子育てのまち」	6	22.1	5	21.7	0.4
道路、公園など都市基盤の整った「生活に便利で快適なまち」	7	20.3	7	19.8	0.5
ごみのリサイクルや地球温暖化対策など「環境にやさしいまち」	8	14.9	8	15.5	▲ 0.6
学校教育が充実した「教育のまち」	9	14.1	9	14.4	▲ 0.3
市外から多くの人を訪れる「観光・レジャーのまち」	10	12.4	11	10.6	1.8
芸術文化活動が盛んな「文化芸術のまち」	11	11.6	12	10.1	1.5
さまざまな分野の研究機関が集積する「ICT・先端技術のまち」	12	10.8	13	9.7	1.1
外国人との交流が盛んな「国際交流のまち」	13	10.6	10	12.3	▲ 1.7
農業・漁業が盛んな「農・漁業のまち」	14	6.3	14	8.6	▲ 2.3
自動車産業などが盛んな「工業のまち」	15	3.3	16	4.0	▲ 0.7
首都圏への通勤者が多い「住宅中心のまち」	16	3.1	17	2.2	0.9
米軍基地・自衛隊がある「基地のまち」	17	2.7	15	4.1	▲ 1.4
その他	—	1.4	—	1.9	▲ 0.5

iii. 横須賀の住みよさについて

iii－1 横須賀の住みよさ

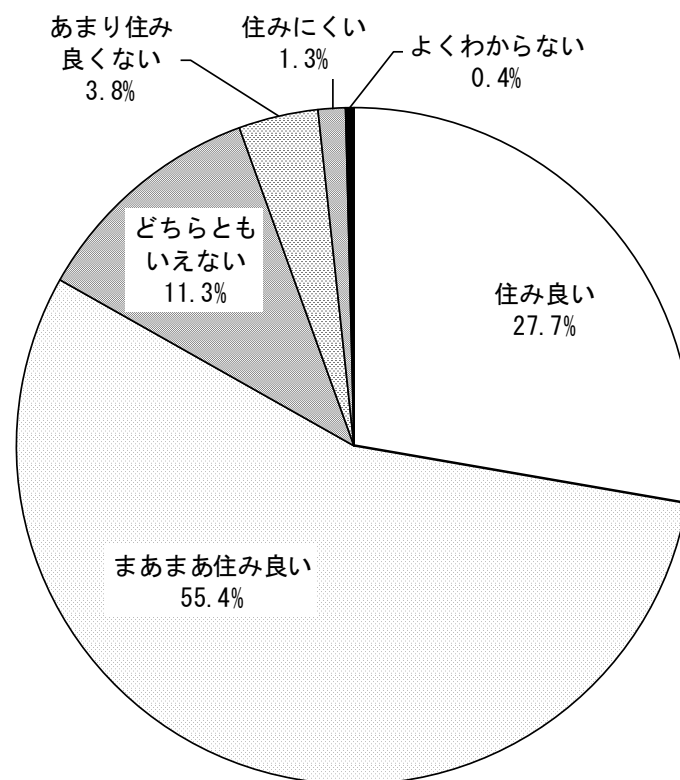
問4 あなたにとって横須賀市はどの程度住み良いですか。

(あてはまるものを1つ選択)

※今回調査では、回答項目に「どちらともいえない」を追加しているため前回調査との比較は行っていない。

8割以上の回答者が「住み良い」「まあまあ住み良い」を選択した。

(図表 iii－1 横須賀の住みよさ n=938)



件数 (人)	回答項目・割合 (%)						①＋②	④＋⑤
	①住み良い	②まあまあ住み良い	③どちらともいえない	④あまり住み良くない	⑤住みにくい	⑥よくわからない		
938	27.7	55.4	11.3	3.8	1.3	0.4	83.1	5.1

iii－2 横須賀への定住意識

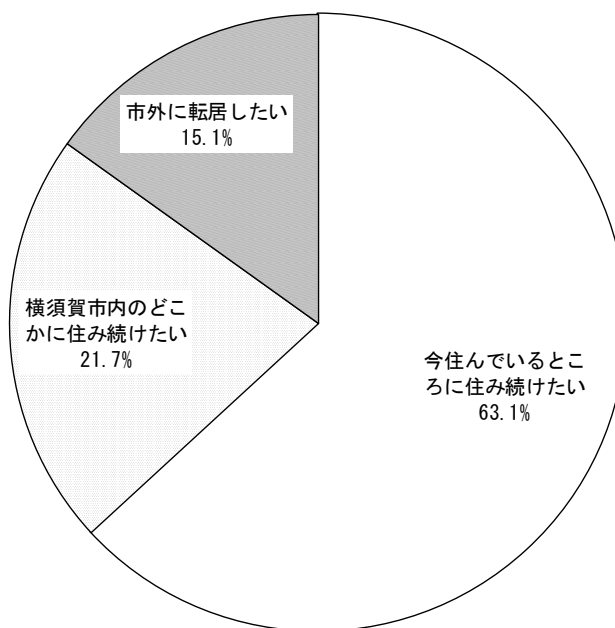
問5 あなたは、現在の横須賀市に住み続けたいと思いますか。

(あてはまるものを1つ選択)

8割以上の回答者が「今住んでいるところに住み続けたい」「横須賀市内のどこかに住み続けたい」を選択した。

- ・今回調査では、「今住んでいるところに住み続けたい」「横須賀市内のどこかに住み続けたい」の合計割合は、全体の84.8%を占め、定住意識の高さが窺える。
- ・この結果については、平成23年3月(84.7%)、平成20年6月の調査結果(84.4%)とほとんど変化がない。

(図表 iii－2 横須賀への定住意識 n=925)



(図表 iii－3 横須賀への定住意識 前回調査比較)

調査時期	件数 (人)	回答項目・割合 (%)			
		①今住んでいるところに住み続けたい	②横須賀市内のどこかに住み続けたい	③市外に転居したい	①+②
平成25年1月	925	63.1	21.7	15.1	84.8
平成23年3月	871	64.1	20.6	15.4	84.7
平成20年6月	2,094	63.8	20.6	15.6	84.4

iii－2－（１）

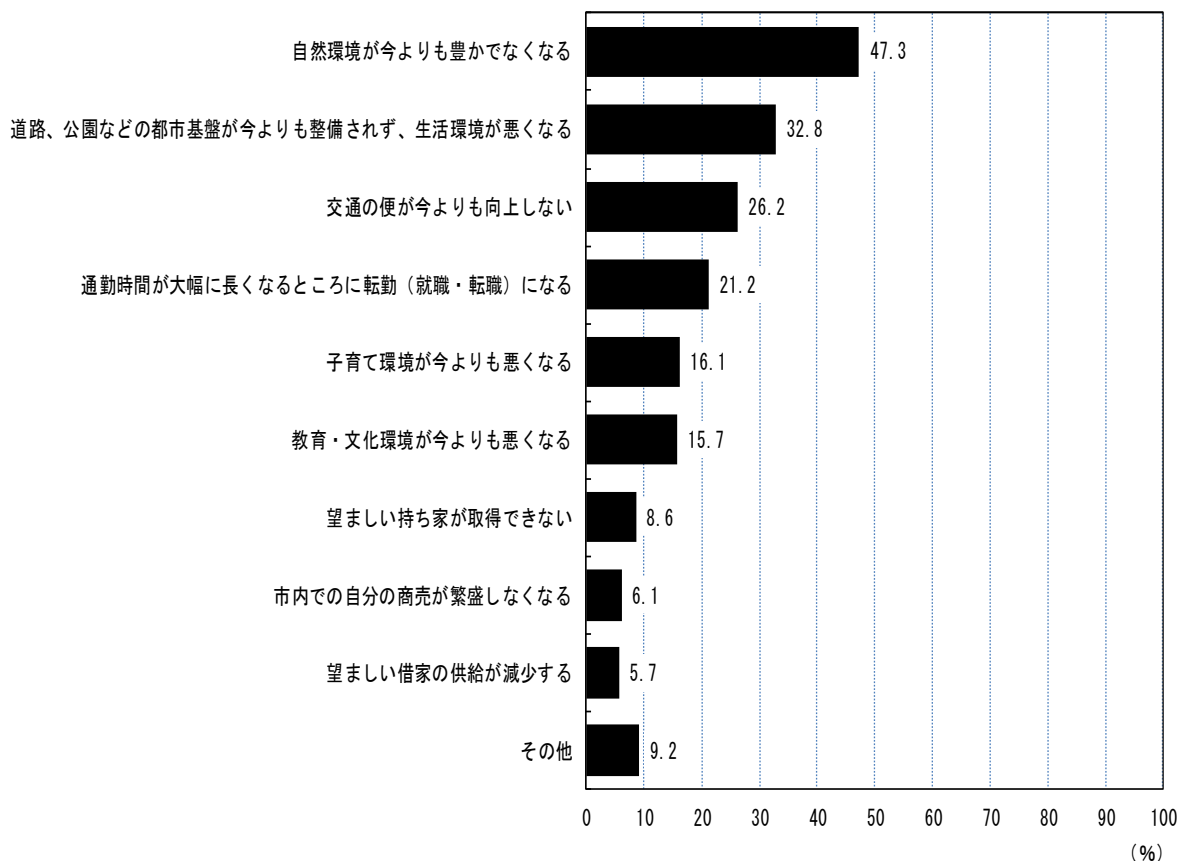
横須賀市への定住意識（定住意向のある人が転出したくなるきっかけ）

問５－１ 横須賀市に住み続けたいというあなたの気持ちが変わるとしたら、その理由は何か。（あてはまるものを順に２つまで選択）

定住する気持ちが変わるきっかけとして、５割近くの回答者が「自然環境が今よりも豊かでなくなる」を選択した。（複数回答）

- ・今回調査では、「自然環境が今よりも豊かでなくなる」が 47.3%と最も多く、これに次いで、「道路、公園などの都市基盤が今よりも整備されず、生活環境が悪くなる」（32.8%）、「交通の便が今よりも向上しない」（26.2%）が多く挙げられている。
- ・前回調査との比較では、すべての項目で大きな変化はなく、「自然環境が今よりも豊かでなくなる」が 3.1 ポイントの減少（47.3%）、「交通の便が今よりも向上しない」は 2.4 ポイントの増加（26.2%）となった。
- ・項目別の順位も前回調査結果と変化がみられず、上位３項目は過去の調査結果との比較でも変動していない。

（図表 iii－４ 定住意向のある人が転出したくなるきっかけ n＝759）



(図表 iii - 5 定住意向のある人が転出したくなるきっかけ 前回調査比較)

順位	平成25年1月調査 (n=759)		平成23年3月調査 (n=710)		平成20年6月調査 (n=1,704)	
	回答項目	割合 (%)	回答項目	割合 (%)	回答項目	割合 (%)
1	自然環境が今よりも豊か でなくなる	47.3	自然環境が今よりも豊か でなくなる	50.4	自然環境が今よりも豊か でなくなる	56.3
2	都市基盤が今よりも整備 されず、生活環境が悪く なる	32.8	都市基盤が今よりも整備 されず、生活環境が悪く なる	33.8	都市基盤が今よりも整備 されず、生活環境が悪く なる	38.8
3	交通の便が今よりも向上 しない	26.2	交通の便が今よりも向上 しない	23.8	交通の便が今よりも向上 しない	22.7

定住意向のある人が転出したくなるきっかけの項目	平成25年1月 (n=759)		平成23年3月 (n=710)		前回比
	順位	割合 (%)	順位	割合 (%)	
自然環境が今よりも豊か でなくなる	1	47.3	1	50.4	▲ 3.1
道路、公園などの都市基盤が今よりも整備されず、生活環境が悪くなる	2	32.8	2	33.8	▲ 1.0
交通の便が今よりも向上しない	3	26.2	3	23.8	2.4
通勤時間が大幅に長くなるところに転勤（就職・転職）になる	4	21.2	4	22.3	▲ 1.1
子育て環境が今よりも悪くなる	5	16.1	5	16.8	▲ 0.7
教育・文化環境が今よりも悪くなる	6	15.7	6	16.3	▲ 0.6
望ましい持ち家が取得できない	7	8.6	7	10.4	▲ 1.8
市内での自分の商売が繁盛しなくなる	8	6.1	8	4.8	1.3
望ましい借家の供給が減少する	9	5.7	9	4.4	1.3
その他	—	9.2	—	7.2	2.0

(参考)「その他」の分類

その他（自由記述） 分類	延件数(人)	構成比(%)
介護・福祉体制の低下、独居困難、老後不安	14	20.6
実家への居住や、近親者との離別などの家族関係	5	7.4
治安の悪化、犯罪の増加	6	8.8
米軍基地の存在による安全性の低下や、放射能関係	6	8.8
高台・坂道の多さによる平坦地の希望や電車がいないこと	6	8.8
商業施設の減少	5	7.4
税負担の増大（税金の高額化）	4	5.9
上記以外	22	32.4
	68	100.0

iii－2－（2）

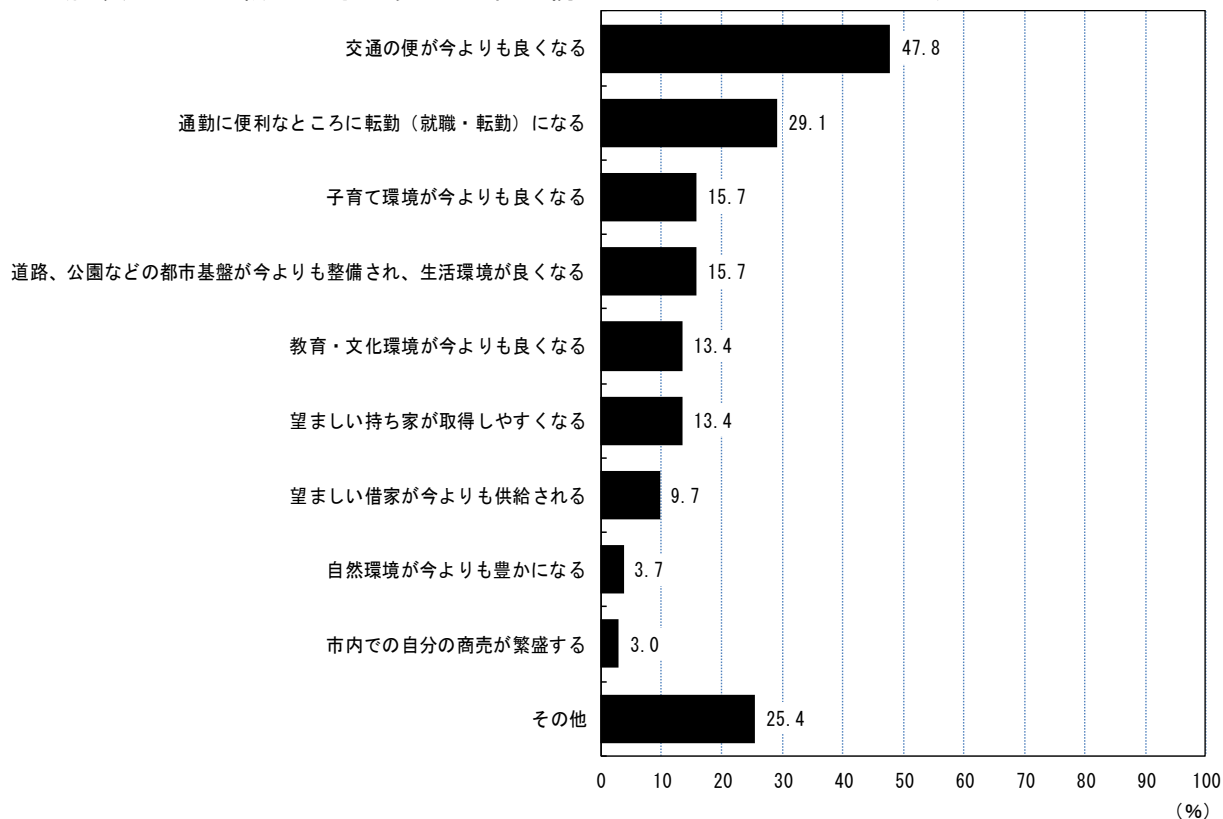
横須賀への定住意識（転出意向のある人が住み続けたいなるきっかけ）

問5－2 市外に移りたいというあなたの気持ちが変わるとしたら、その理由は何ですか。（あてはまるものを順に2つまで選択）

転出したいという気持ちに変化する理由として、回答者の5割近くが「交通の便が今よりも良くなる」を選択した。（複数回答）

- ・上位3項目の順位は、前回調査結果と大きな変化はみられないものの、項目別の回答割合では、「道路、公園などの都市基盤が今よりも整備され、生活環境が良くなる」が前回調査に引き続き減少し（15.7%）、平成20年6月調査の約半分にまで減少している。
- ・問5－1で上昇傾向がみられた「交通の便」については、本設問でも前回比4.5ポイントと上昇傾向がみられる（47.8%）。「通勤に便利なところに転勤（転職・就職）になる」も7.1ポイントの上昇（29.1%）と、交通に関する意識に上昇傾向が窺える。
- ・前回調査で約6ポイントの増加がみられた「子育て環境が今よりも良くなる」（前回調査18.1%）は、今回の調査では若干の減少となった（15.7%）。
- ・「自然環境が今よりも豊かになる」は、前回比マイナス10.5ポイントと大きく減少した。

（図表 iii－6 転出意向のある人が住み続けたいなるきっかけ n=134）



(図表 iii - 7 転出意向のある人が住み続けたいくなるきっかけ 前回調査比較)

順位	平成25年1月調査 (n=134)		平成23年3月調査 (n=127)		平成20年6月調査 (n=317)	
	回答項目	割合 (%)	回答項目	割合 (%)	回答項目	割合 (%)
1	交通の便が今よりも良くなる	47.8	交通の便が今よりも良くなる	43.3	交通の便が今よりも良くなる	42.6
2	通勤に便利なところに転勤(転職・就職)になる	29.1	通勤に便利なところに転勤(転職・就職)になる	22.0	都市基盤が今よりも整備され、生活環境が良くなる	30.3
3	子育て環境が今よりも良くなる	15.7	都市基盤が今よりも整備され、生活環境が良くなる	19.7	通勤に便利なところに転勤(転職・就職)になる	23.7
3	都市基盤が今よりも整備され、生活環境が良くなる	15.7				

転出意向のある人が住み続けたいくなるきっかけの項目	平成25年1月 (n=134)		平成23年3月 (n=127)		前回比
	順位	割合 (%)	順位	割合 (%)	
交通の便が今よりも良くなる	1	47.8	1	43.3	4.5
通勤に便利なところに転勤(就職・転職)になる	2	29.1	2	22.0	7.1
子育て環境が今よりも良くなる	3	15.7	4	18.1	▲ 2.4
道路、公園などの都市基盤が今よりも整備され、生活環境が良くなる	4	15.7	3	19.7	▲ 4.0
教育・文化環境が今よりも良くなる	5	13.4	4	18.1	▲ 4.7
望ましい持ち家が取得しやすくなる	6	13.4	7	13.4	0.0
望ましい借家が今よりも供給される	7	9.7	8	6.3	3.4
自然環境が今よりも豊かになる	8	3.7	6	14.2	▲ 10.5
市内での自分の商売が繁盛する	9	3.0	9	3.1	▲ 0.1
その他	—	25.4	—	22.0	3.4

(参考)「その他」の分類

その他(自由記述) 分類	延件数(人)	構成比(%)
高齢者施設、福祉の充実	5	26.3
基地、核燃料施設等がなくなる	2	10.5
地震への不安の減少や防災対策の充実	2	10.5
商業施設の充実	2	10.5
上記以外	8	42.1
	19	100.0

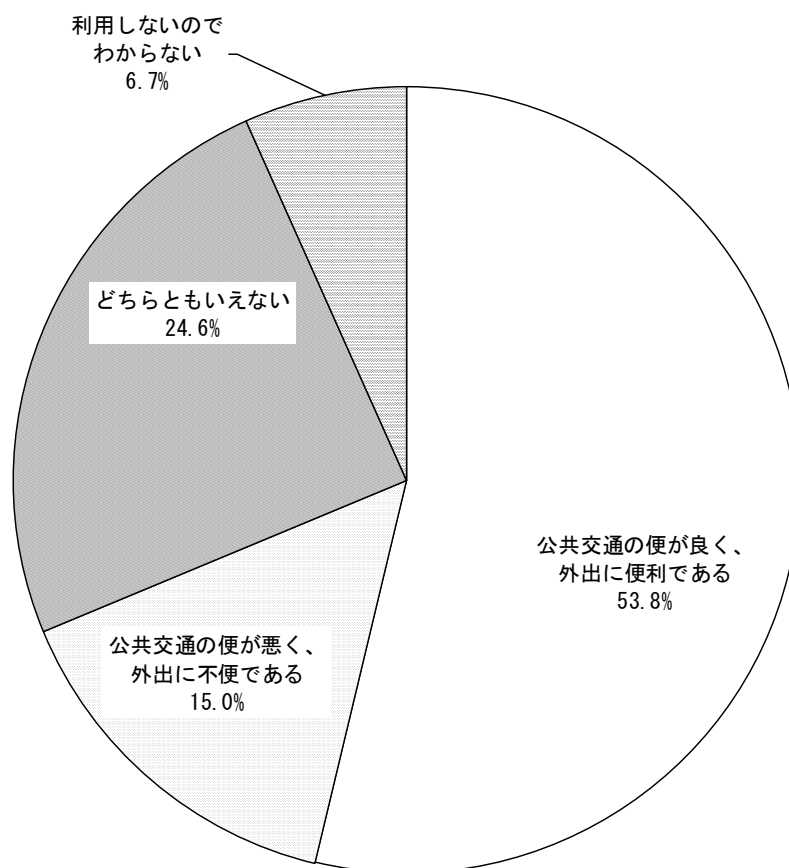
iii－3 横須賀の公共交通の利便性 ※新規設問

問6 あなたは、買い物や通勤・通学などで外出する際、市内の公共交通（鉄道・バス・タクシー）の利便性について、どのように感じていますか。
（あてはまるものを1つ選択）

回答者の半数以上が、「公共交通の便が良く、外出に便利である」を選択した。

- ・「公共交通の便が良く、外出に便利である」が 53.8%と、回答者の半数を上回った。
- ・一方、「どちらともいえない」を選択した回答者も 24.6%と少なくない。

（図表 iii－8 公共交通の利便性 n=945）



iii－3－（１） 横須賀の公共交通の利便性（それぞれの利便性）

問６－１ 買い物や通勤・通学などで外出する際の公共交通（鉄道・バス・タクシー）
それぞれの利便性に対する実感について、あてはまるものを選んでください。
（１つ選択）

回答者の８割以上が「鉄道」については利便性を感じており、６割が「①感じる」を選択するなど、ほかの公共交通に比べて実感の高さが顕著であった。

- ・「鉄道」については、回答者の８割以上が利便性を感じている（85.5%）。さらに「①感じる」を選択した回答者が約６割を占め、実感の高さが窺える。
- ・「バス」については、回答者の６割が利便性を感じているものの、利便性を感じていない回答者の割合が最も多い（35.2%）。
- ・「タクシー」については、「バス」と大きな差がないが、利便性を感じている回答者、感じていない回答者の割合がいずれも「バス」を下回った。
- ・「バス」「タクシー」については、「どちらともいえない」を選択した回答者も２割以上と少なくない。

（図表 iii－9 公共交通それぞれの利便性）

公共交通	件数 (人)	回答項目・割合（％）						①＋②	③＋④
		①感じる	②やや感じる	④あまり感じない	⑤感じない	⑥どちらともいえない			
鉄道	848	60.6	24.9	7.7	5.5	1.3	85.5	13.2	
バス	840	30.2	29.8	22.7	12.5	4.8	60.0	35.2	
タクシー	826	28.3	28.6	20.8	9.7	12.6	56.9	30.5	

iv. 地域活動への参加状況について

iv－1 地域活動への参加、参画状況

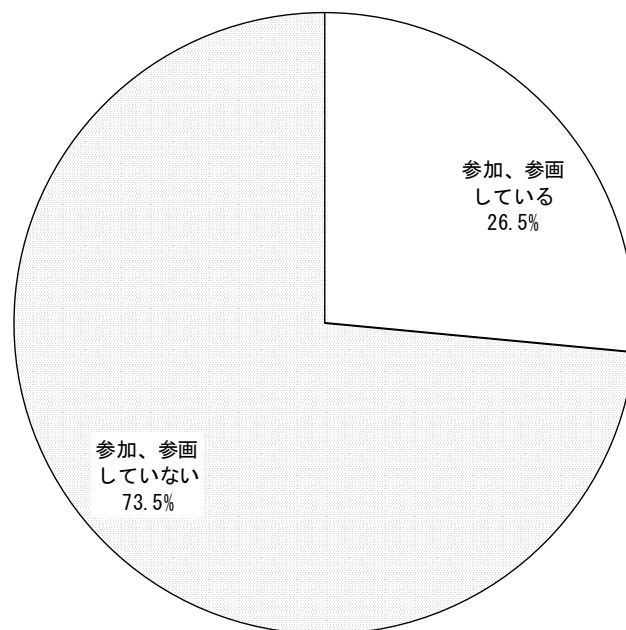
問7 あなたは、地域のまちづくり活動やボランティア活動、NPO活動、市が呼びかけた市民参加型事業に参加、参画していますか。

(あてはまるものを1つ選択)

地域活動に参加、参画していると回答した人は3割を下回った。

- ・今回調査で、地域活動に「参加、参画している」と回答した人は26.5%で、前回調査から若干増加したものの、平成20年度の調査結果(26.4%)と差異はなく、参加状況の傾向に変化はみられない。

(図表iv－1 地域活動への参加、参画状況 n=931)



(図表iv－2 地域活動への参加、参画状況 前回調査比較)

調査時期	件数 (人)	回答項目・割合 (%)	
		参加、参画している	参加、参画していない
平成25年 1 月	931	26.5	73.5
平成23年 3 月	903	22.9	77.1
平成20年 6 月	2,068	26.4	73.6

iv－１－（１） 地域活動への参加、参画状況（参加した活動の内容）

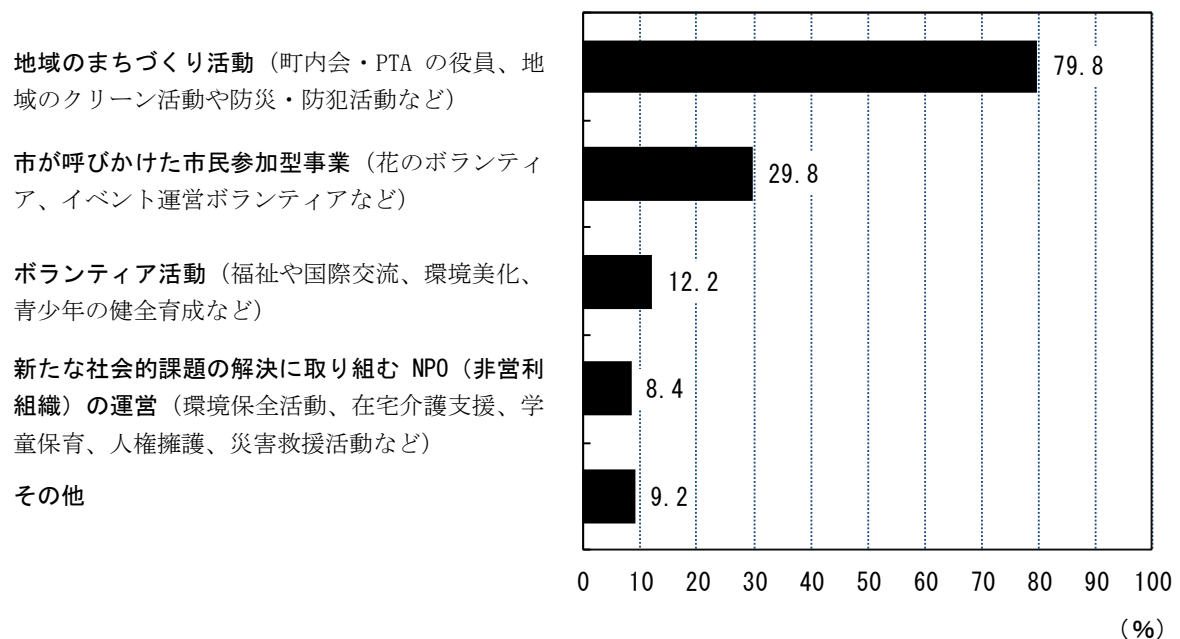
問７－１ あなたが参加、参画しているのはどのような活動ですか。

（あてはまるものをすべて選択）

地域活動の参加内容として、８割近くの回答者が「地域のまちづくり活動（町内会・PTAの役員、地域のクリーン活動や防災・防犯活動など）」を選択した。（複数回答）

- ・今回調査では、「地域のまちづくり活動（町内会・PTAの役員、地域のクリーン活動や防災・防犯活動など）」が79.8%で、突出している。
- ・前回調査と比較して、「地域のまちづくり活動」「ボランティア活動」の回答割合に動きがみられるが、平成20年6月調査以降、全体の傾向に大きな変化はなく、「市が呼びかけた市民参加型事業」は減少傾向である。

（図表iv－３ 参加した活動の内容 n=238）



（図表iv－４ 参加した活動の内容 前回調査比較）

調査時期	件数 (人)	回答項目・割合 (%)				
		市が呼びかけた 市民参加型事業	地域のまちづくり 活動	ボランティア活動	新たな社会的課題 の解決に向けて取 り組むNPOの運営	その他
平成25年1月	238	12.2	79.8	29.8	8.4	9.2
平成23年3月	199	14.6	85.4	22.1	8.0	5.0
平成20年6月	540	20.0	80.2	27.2	10.4	5.9

iv－１－（２） 地域活動への参加、参画状況（参加経験がない人の今後の参加意向）

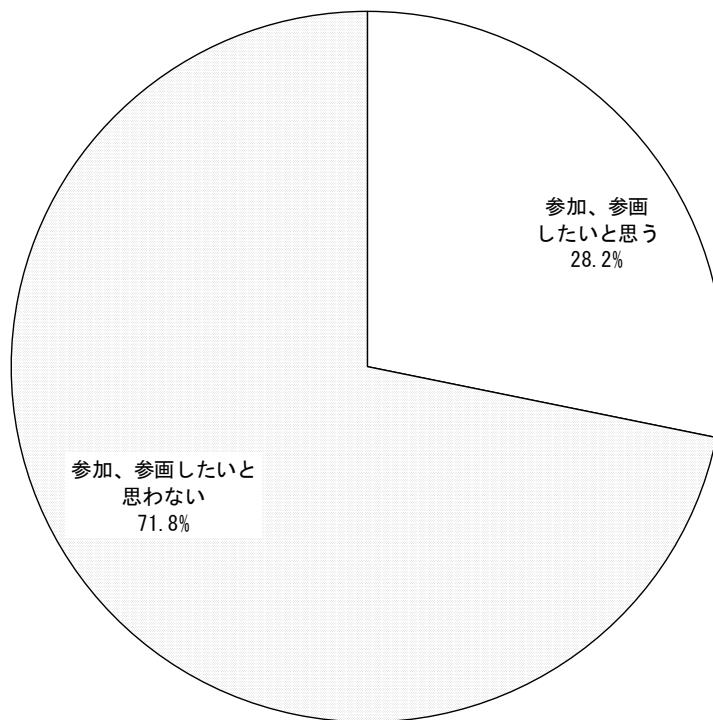
問 7－2 今後、これらの活動に参加、参画したいと思いますか。

（はい／いいえのいずれか１つを選択）

これまで地域活動への参加経験がない回答者のうち、今後、参加、参画したい人（「はい」を選択した人）は3割弱となった。

- ・これまで地域活動への参加経験がない回答者のうち、今後、参加、参画したいと考えている人の割合は28.2%で、前回調査から5.1ポイント低下し、減少傾向がみられる。

（図表iv－5 参加経験がない回答者の今後の参加意向の有無 n=631）



（図表iv－6 参加経験がない回答者の今後の参加意向 前回調査比較）

調査時期	件数 (人)	回答項目・割合 (%)	
		参加、参画したいと思う	参加、参画したいと思わない
平成25年 1 月	631	28.2	71.8
平成23年 3 月	652	33.3	66.7
平成20年 6 月	1,426	34.4	65.6

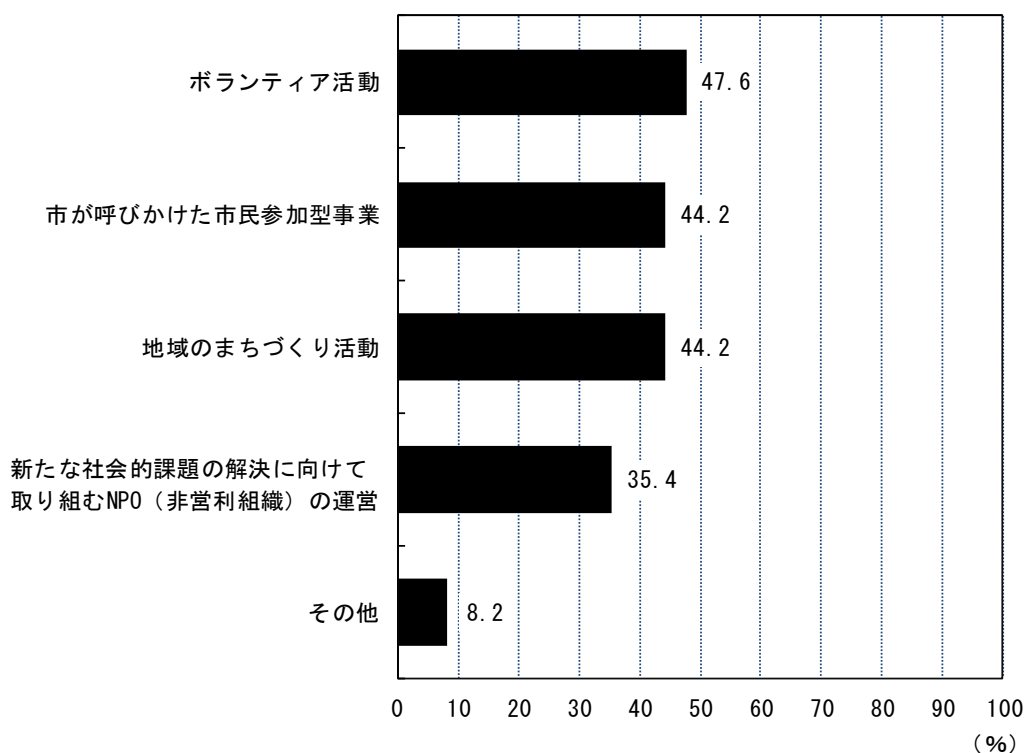
iv－１－（３）

地域活動への参加、参画状況（今後の参加意向がある人の参加したい活動内容）

問７－２（１） それはどのような活動ですか。（あてはまるものをすべて選択）

今後参加、参画したい地域活動は、「ボランティア活動（福祉や国際交流、環境美化、青少年の健全育成など）」を選択した回答者が多かった。（複数回答）

（図表iv－７ 参加経験がない回答者が今後参加したい活動 n=147）



（図表iv－８ 参加経験がない回答者が今後参加したい活動 前回調査比較）

調査時期	件数 (人)	回答項目・割合 (%)				
		市が呼びかけた 市民参加型事業	地域のまちづくり 活動	ボランティア活動	新たな社会的課題 の解決に向けて取 り組むNPOの運営	その他
平成25年 1 月	147	44.2	44.2	47.6	35.4	8.2
平成23年 3 月	191	39.8	49.2	44.0	30.4	6.3
平成20年 6 月	392	43.4	46.4	40.1	30.1	3.8

iv－1－（４）

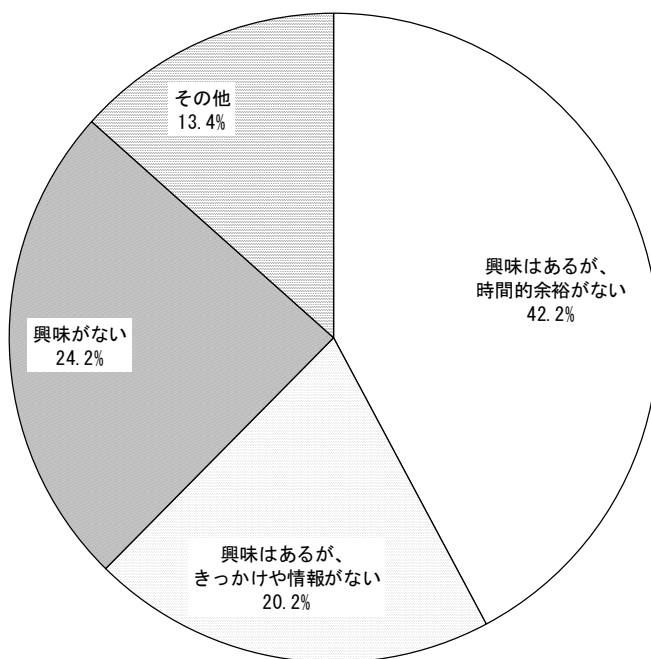
地域活動への参加、参画状況（今後の参加意向がない人のその理由）

問７－２（２） それはなぜですか。（考えに近いものを１つ選択）

６割以上の回答者が「興味はあるが、時間的余裕がない」「興味はあるが、きっかけや情報がない」を選択し、依然として地域活動に関心は抱いているものの参加には結びついていない状況が窺える。

- ・今回調査で、「興味はあるが、時間的余裕がない」「興味はあるが、きっかけや情報がない」の合計割合は６割以上を占めるが、平成２０年６月調査から減少傾向である。
- ・一方、「興味がない」を選択した回答者は、前回調査から６.４ポイント増加し（２４.２％）、増加傾向である。

（図表iv－９ 参加経験がない回答者が今後も参加したいと思わない理由 n＝396）



（図表iv－10 参加経験がない回答者が今後も参加したいと思わない理由 前回調査比較）

調査時期	件数 (人)	回答項目・割合 (%)				
		①興味はあるが、 時間的余裕がない	②興味はあるが、 きっかけや情報がない	③興味がない	④その他	①＋②
平成25年 1 月	396	42.2	20.2	24.2	13.4	62.4
平成23年 3 月	415	43.4	25.8	17.8	13.0	69.2
平成20年 6 月	869	48.6	22.4	15.8	13.2	71.0

v. 情報の入手方法、市民相談について

v-1 日常生活に必要な情報の入手先

問8 あなたは、日常生活の中で必要な情報をどのような方法で入手していますか。

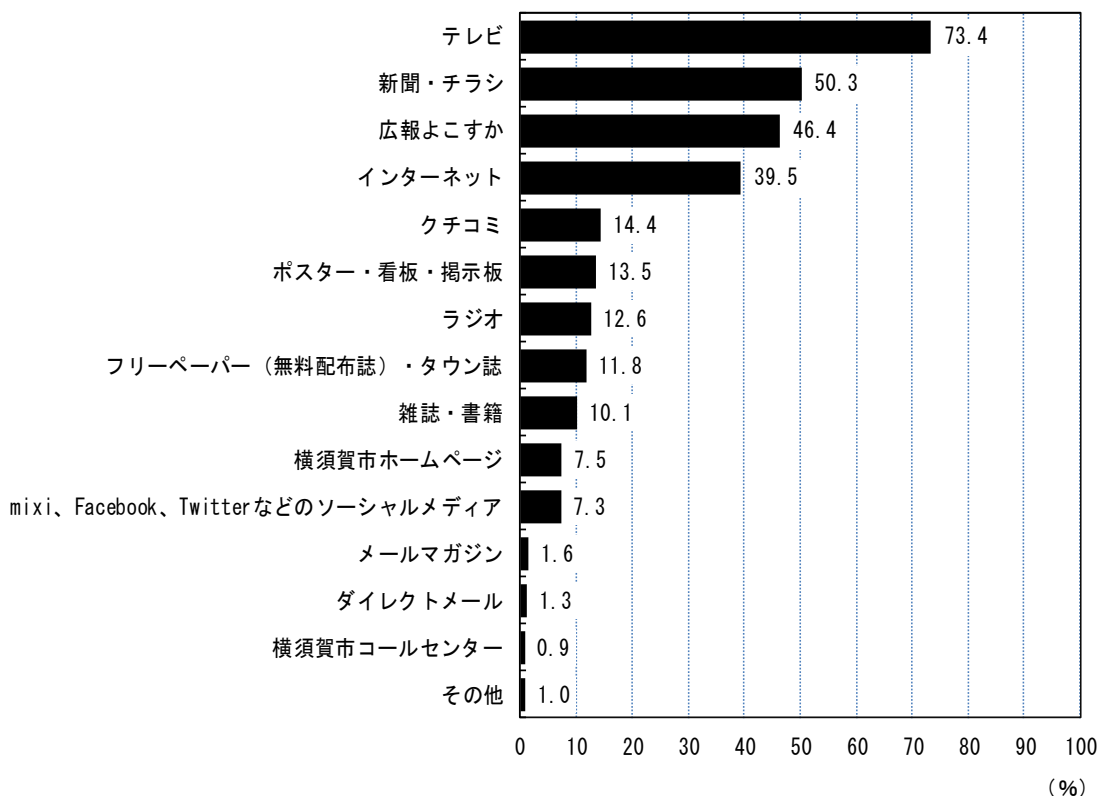
(よく活用しているものを順に3つまで選択)

※今回調査では、新たに「mixi、Facebook、Twitterなどのソーシャルメディア」を追加した。

回答者の7割以上が「テレビ」を選択した。「新聞・チラシ」「広報よこすか」がこれに次いで活用されている。(複数回答)

- ・上位3項目は、「テレビ」(73.4%)、「新聞・チラシ」(50.3%)、「広報よこすか」(46.4%)で、これらに次いで「インターネット」(39.5%)が多く挙げられているが、そのほかの媒体はすべて2割以下となった。
- ・これらの傾向は前回調査から変化がないが、「広報よこすか」が5.4ポイント減少し、インターネットの利用も減少がみられる(ただし、前回調査はパソコン利用/携帯電話利用で別項目であったため単純な比較はできない)。
- ・今回調査で新たに設定した「mixi、Facebook、Twitterなどのソーシャルメディア」が7.3%となり、「横須賀市ホームページ」とほぼ同割合であった。

(図表 v-1 日常生活に必要な情報の入手先 n=933)



(図表Ⅴ－２ 日常生活に必要な情報の入手先 前回調査比較)

情報の入手先の項目	平成25年1月 (n=933)		平成23年3月 (n=908)		前回比
	順位	割合 (%)	順位	割合 (%)	
テレビ	1	73.4	1	72.1	1.3
新聞・チラシ	2	50.3	2	52.0	▲ 1.7
広報よこすか	3	46.4	3	51.8	▲ 5.4
インターネット (H23調査はパソコン利用、携帯電話利用を合算)	4	39.5	4	43.1	▲ 3.6
クチコミ	5	14.4	5	18.7	▲ 4.3
ポスター・看板・掲示板	6	13.5	6	14.3	▲ 0.8
ラジオ	7	12.6	8	8.8	3.8
フリーペーパー (無料配布誌)・タウン誌	8	11.8	7	11.9	▲ 0.1
雑誌・書籍 (H23調査は雑誌、書籍を合算)	9	10.1	9	7.2	2.9
横須賀市ホームページ	10	7.5	10	6.9	0.6
mixi、Facebook、Twitterなどのソーシャルメディア (H25調査新規)	11	7.3	—	—	—
メールマガジン	12	1.6	13	0.4	1.2
ダイレクトメール	13	1.3	11	1.0	0.3
横須賀市コールセンター	14	0.9	12	0.9	0.0
その他	—	1.0	—	1.1	▲ 0.1

※インターネットは、H23 調査ではパソコン／携帯電話で別項目であったため単純な比較はできない。

※雑誌、書籍は、H23 調査では別項目であったため単純な比較はできない。

v－2 横須賀市が製作・放送している広報番組の視聴状況 ※新規設問

問9 横須賀市では、テレビ・ラジオによる広報番組の製作・放送をしています。あなたは、市が製作した番組を見たり聞いたりしたことがありますか。
(それぞれあてはまるものを1つ選択)

- (1) tvk (テレビ神奈川)「マイコミュニティよこすか」
- (2) ケーブルテレビ ジェイコム湘南「YOKOSUKAほっとナビ」
- (3) ラジオ FM ブルー湘南「耳で聞く広報よこすか」

・ テレビについては回答者の3割以上が「見たことがある」と回答しているものの、ラジオについては「聞いたことがある」回答者は2割に届かなかった。
・ 認知度は、テレビについてはいずれも5割を超えた。

- ・ 「マイコミュニティよこすか」「YOKOSUKAほっとナビ」のテレビ番組については、いずれも「見たことがある」回答者が3割以上で、番組を知っている回答者は（「見たことがある」「知っているが見たことはない」の合計割合）5割を超えた。
- ・ ラジオ番組「耳で聞く広報よこすか」については、「聞いたことがある」とした回答者は16.9%と2割に届かなかったが、番組を知っている回答者は3割を超える。

(図表v－3 横須賀市が製作・放送している広報番組の視聴状況)

番組	件数 (人)	回答項目・割合 (%)			
		①見たこと・聞いた ことがある	②知っているが見たこ と・聞いたことはない	③知らない	①+②
マイコミュニティ よこすか	896	35.7	16.7	47.5	52.4
YOKOSUKA ほっとナビ	891	32.2	22.3	45.5	54.5
耳で聞く広報よこ すか	891	16.9	20.0	63.1	36.9

v-3 市民相談

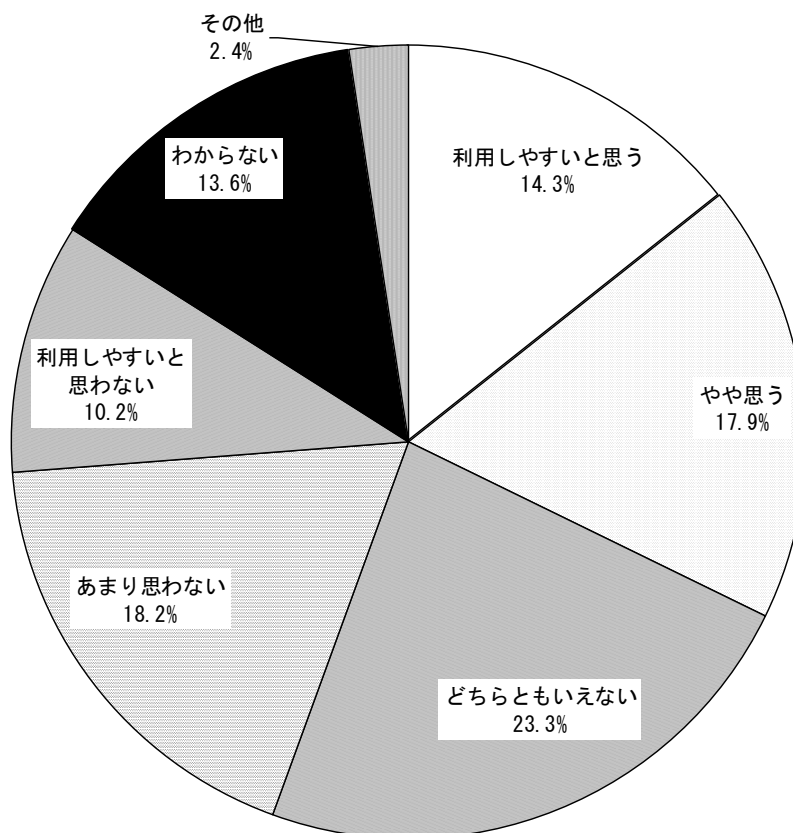
問 10 横須賀市では、市政に対する意見や要望のほかに、相続や離婚などの家庭問題、近隣トラブル、多重債務問題など日常生活で生じるさまざまな問題について、市民相談室を設けて相談に応じています。

あなたは、日常生活の困りごとなどを相談する場所として、市役所は利用しやすい場所だと思いますか。(あてはまるものを1つ選択)

「どちらともいえない」を選択した人の割合が23.3%で、前回調査と同様、最も高い。

- ・前回の調査と同様、「(利用しやすいと)思う」「やや思う」の合計割合は、「(利用しやすいと)思わない」「あまり思わない」の合計割合を約4ポイント上回った。
- ・「どちらともいえない」を選択した回答者が23.3%で最も多い。

(図表v-4 日常生活の困りごとなどを相談する場所としての市役所の利用しやすさ n=910)



(図表ⅴ-5 日常生活の困りごとなどを相談する場所としての市役所の利用しやすさ 前回調査比較)

調査時期	件数 (人)	回答項目・割合 (%)								
		①利用し やすいと 思う	②やや思 う	③どちら ともいえ ない	④あまり 思わない	⑤利用し やすいと 思わない	⑥わから ない	⑦その他	①+②	④+⑤
平成25年 1 月	910	14.3	17.9	23.3	18.2	10.2	13.6	2.4	32.2	28.4
平成23年 3 月	901	15.9	17.5	24.6	19.0	10.3	10.4	2.2	33.4	29.3

(参考)「その他」の分類

その他 (自由記述) 分類	延件数(人)	構成比 (%)
利用しない (わからない)	5	22.7
対応が悪い、相談した意味がなかった	5	22.7
気軽に利用できない、開設時間が合わない	4	18.2
市民相談室を知らなかった	4	18.2
上記以外	4	18.2
	22	100.0

vi. 基地について

vi－1 米軍基地に対する考え

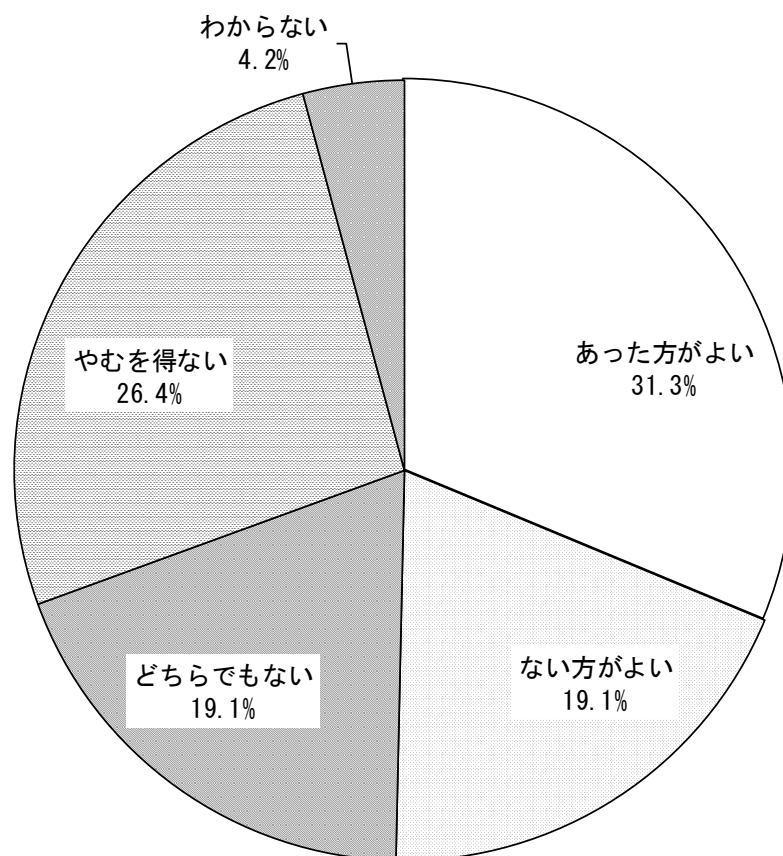
問 11 横須賀市内にある米軍基地について、どのようにお考えですか。

(考えに近いものを1つ選択)

米軍基地について「あった方がよい」を選択した回答者は3割を超えたが、「ない方がよい」を選択した回答者の割合との差は小さくなった。

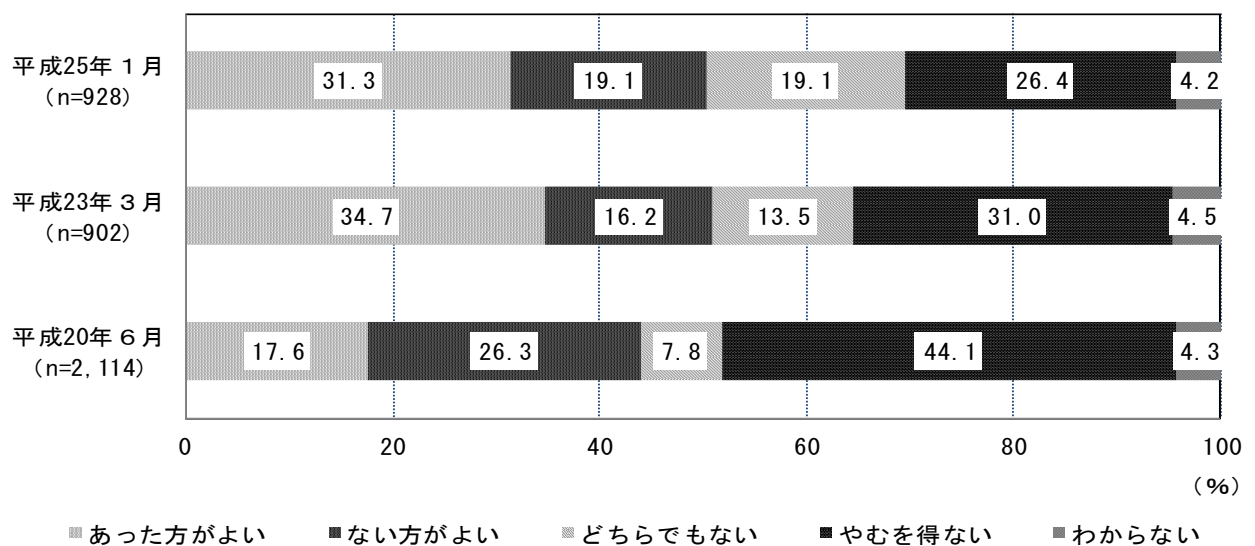
- ・前回調査と同様、「あった方がよい」(31.3%)の次に「やむを得ない」(26.4%)が選択されている。
- ・「ない方がよい」「どちらでもない」(いずれも19.1%)を選択した回答者の割合が、前回調査からそれぞれ増加した。

(図表vi－1 米軍基地に対する考え n=928)



(図表vi－2 米軍基地に対する考え 前回調査比較)

順位	平成25年 1 月調査 (n=928)		平成23年 3 月調査 (n=902)		平成20年 6 月調査 (n=2,114)	
	回答項目	割合 (%)	回答項目	割合 (%)	回答項目	割合 (%)
1	あった方がよい	31.3	あった方がよい	34.7	やむを得ない	44.1
2	やむを得ない	26.4	やむを得ない	31.0	ない方がよい	26.3
3	ない方がよい	19.1	ない方がよい	16.2	あった方がよい	17.6
3	どちらでもない	19.1				



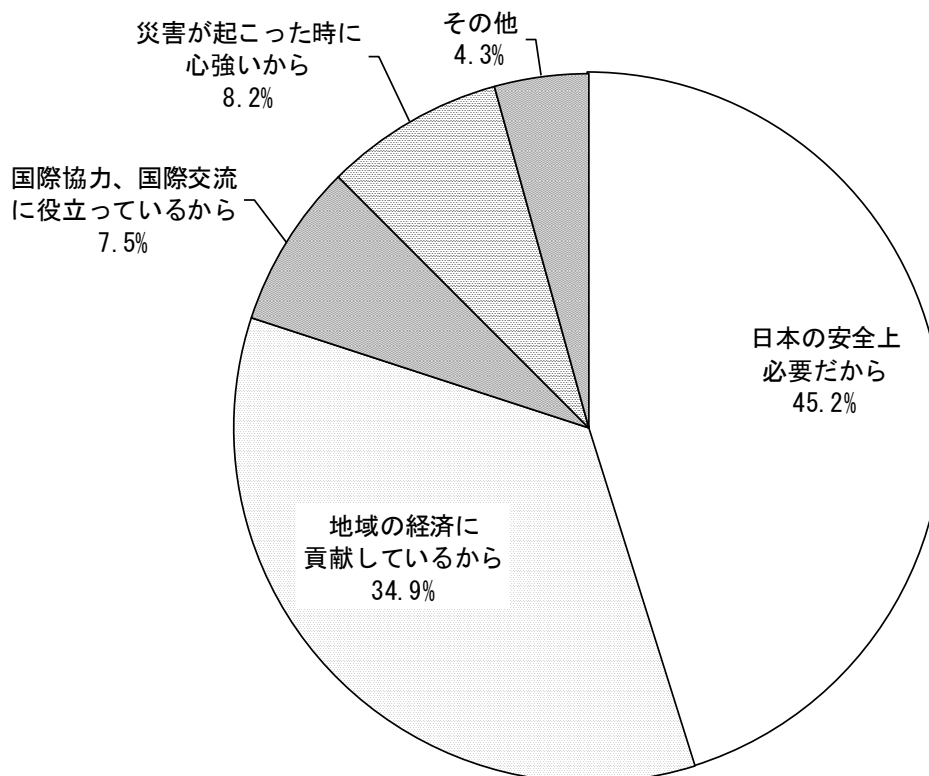
vi－1－（1） 米軍基地に対する考え（米軍基地があった方がよい理由）

問 11－1 その理由について、あなたのお考えに近いものを1つだけ選んでください。

米軍基地があった方がよいとする回答者のうち5割弱が、選択理由として日本の安全上必要であることを挙げている。

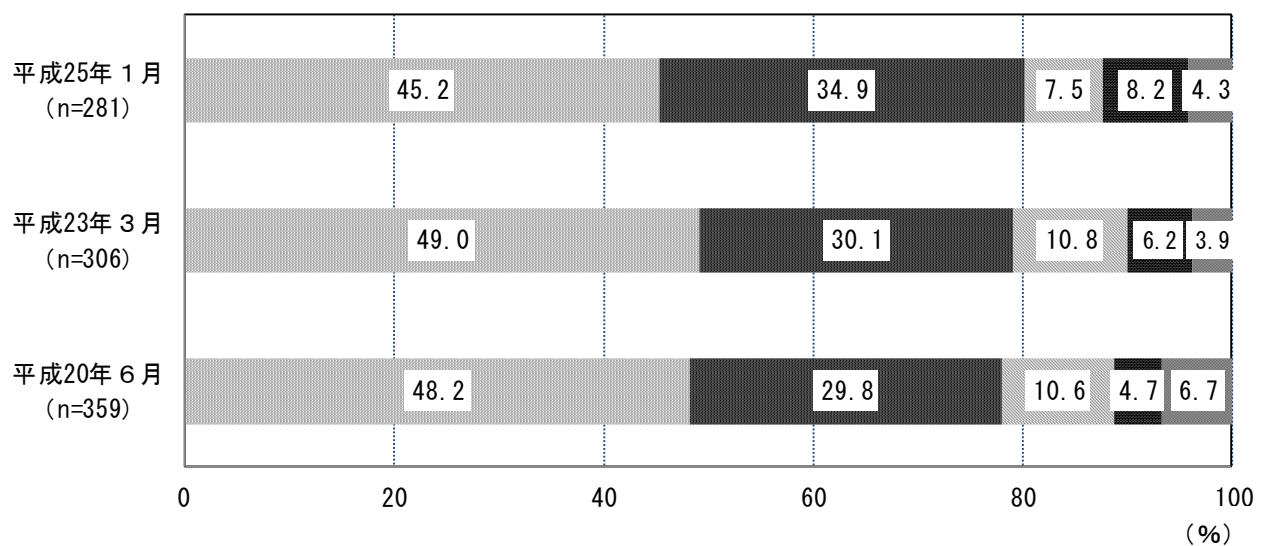
- ・米軍基地が「あった方がよい」を選択した理由として、「日本の安全上必要だから」が最も多く 45.2%を占める。
- ・これに次いで、「地域の経済に貢献しているから」（34.9%）が多く、以下、「災害が起こった時に心強いから」（8.2%）が続く。
- ・「災害が起こった時に心強いから」は、今回調査で初めて上位3項目となった。
- ・平成 20 年 6 月調査から、「地域の経済に貢献しているから」についても増加傾向がみられる。

（図表 vi－3 米軍基地があった方がよい理由 n＝281）



(図表 vi - 4 米軍基地があった方がよい理由 前回調査比較)

順位	平成25年 1 月調査 (n=281)		平成23年 3 月調査 (n=306)		平成20年 6 月調査 (n=359)	
	回答項目	割合 (%)	回答項目	割合 (%)	回答項目	割合 (%)
1	日本の安全上必要だから	45.2	日本の安全上必要だから	49.0	日本の安全上必要だから	48.2
2	地域の経済に貢献しているから	34.9	地域の経済に貢献しているから	30.1	地域の経済に貢献しているから	29.8
3	災害が起こった時に心強いから	8.2	国際親善、国際交流に役立っているから	10.8	国際親善、国際交流に役立っているから	10.6



- 日本の安全上必要だから
- 地域の経済に貢献しているから
- 国際協力（親善）、国際交流に役立っているから
- 災害が起こった時に心強いから
- その他

(参考)「その他」の分類

その他（自由記述）	分類	延件数(人)	構成比 (%)
就労している人がいる		6	46.2
上記以外		7	53.8
		13	100.0

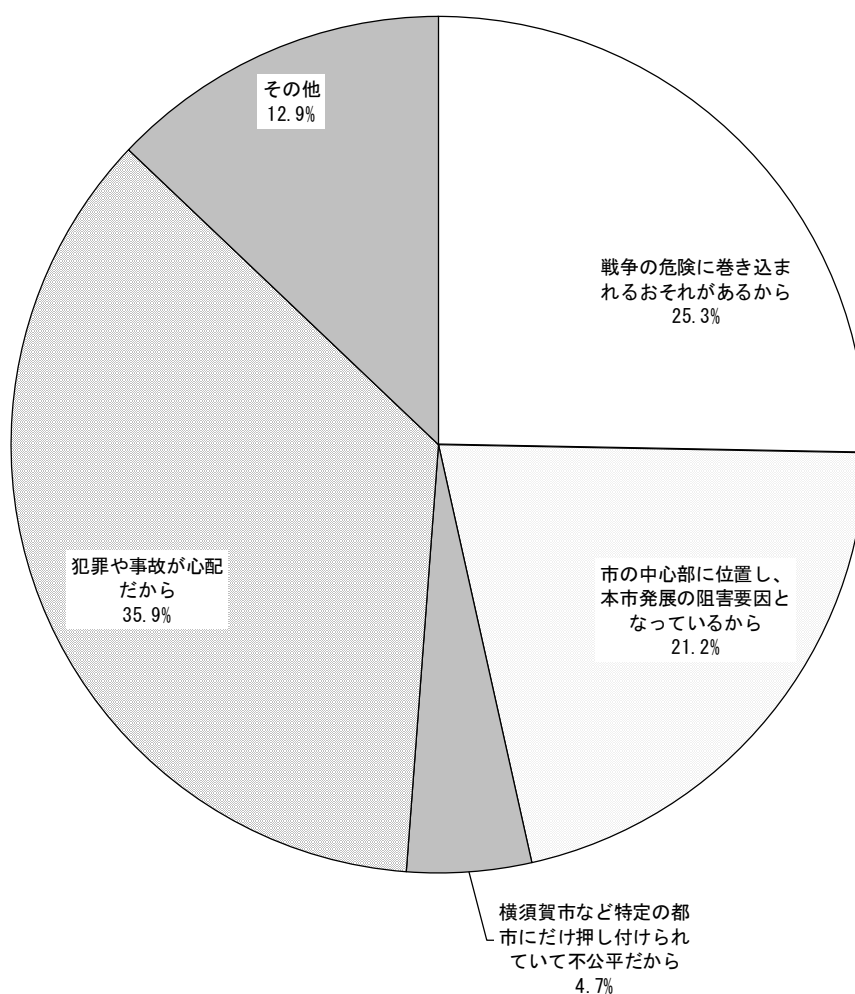
vi－1－（2） 米軍基地に対する考え（米軍基地がない方がよい理由）

問 11－2 その理由について、あなたのお考えに近いものを1つだけ選んでください。

米軍基地がない方がよいとする回答者のうち4割弱が、犯罪や事故が心配であることを選択理由として挙げている。

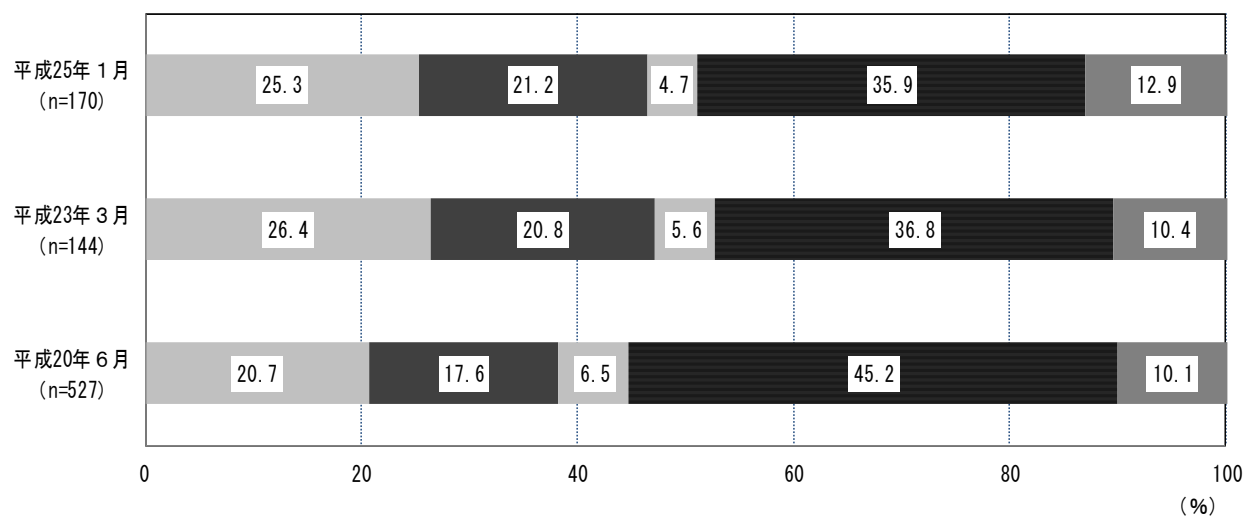
- ・ 米軍基地が「ない方がよい」を選択した理由として、「犯罪や事故が心配だから」が最も多く 35.9%を占めている。
- ・ これに次いで、「戦争の危険に巻き込まれるおそれがあるから」（25.3%）、「市の中心部に位置し、本市発展の阻害要因となっているから」（21.2%）が多く挙げられている。
- ・ 前回調査と回答傾向にほとんど変化はみられない。

（図表 vi－5 米軍基地がない方がよい理由 n=170）



(図表 vi - 6 米軍基地がない方がよい理由 前回調査比較)

順位	平成25年 1 月調査 (n=170)		平成23年 3 月調査 (n=144)		平成20年 6 月調査 (n=527)	
	回答項目	割合 (%)	回答項目	割合 (%)	回答項目	割合 (%)
1	犯罪や事故が心配だから	35.9	犯罪や事故が心配だから	36.8	犯罪や事故が心配だから	45.2
2	戦争の危険に巻き込まれるおそれがあるから	25.3	戦争の危険に巻き込まれるおそれがあるから	26.4	戦争の危険に巻き込まれるおそれがあるから	20.7
3	市の中心部に位置し、本市発展の阻害要因となっているから	21.2	市の中心部に位置し、本市発展の阻害要因となっているから	20.8	市の中心部に位置し、本市発展の阻害要因となっているから	17.6



- 戦争の危険に巻き込まれるおそれがあるから
- 横須賀市など特定の市にだけ押し付けられていて不公平だから
- その他
- 市の中心部に位置し、本市発展の阻害要因となっているから
- 犯罪や事故が心配だから

(参考)「その他」の分類

その他 (自由記述) 分類	延件数 (人)	構成比 (%)
自衛隊等により自衛すべき、米国に依存すべきでない	5	20.0
危険である、有事の際に影響を受ける	4	16.0
原子力空母など放射能汚染が心配	3	12.0
回答項目①②④若しくは全ての複合的要因	3	12.0
上記以外	10	40.0
	25	100.0

vi－2 自衛隊基地に対する考え

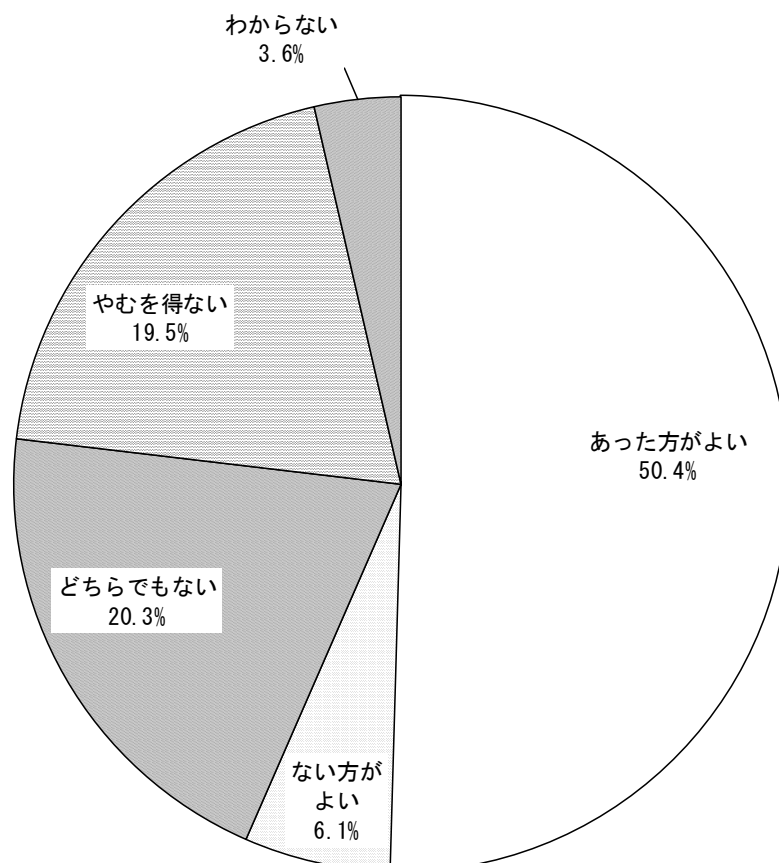
問 12 横須賀市内にある自衛隊基地について、どのようにお考えですか。

(考えに近いものを1つ選択)

自衛隊基地について、回答者の5割以上が「あった方がよい」を選択し、「ない方がよい」を大きく上回った。

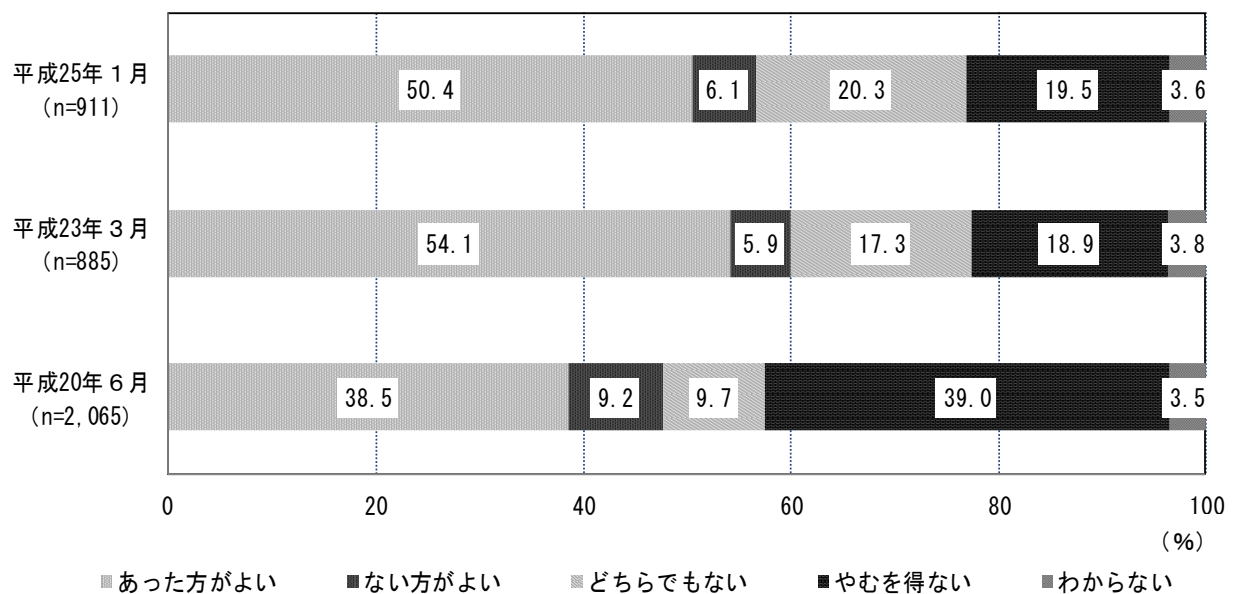
- ・「あった方がよい」と回答した人の割合は5割を超えたが、前回調査からは若干減少した(50.4%)。
- ・「どちらでもない」と回答した人の割合は、前回調査からやや増加し(20.3%)、今回調査で初めて、2番目に多い回答割合の項目となった。

(図表vi－7 自衛隊基地に対する考え n=911)



(図表 vi－8 自衛隊基地に対する考え 前回調査比較)

順位	平成25年 1 月調査 (n=911)		平成23年 3 月調査 (n=885)		平成20年 6 月調査 (n=2, 065)	
	回答項目	割合 (%)	回答項目	割合 (%)	回答項目	割合 (%)
1	あった方がよい	50.4	あった方がよい	54.1	やむを得ない	39.0
2	どちらでもない	20.3	やむを得ない	18.9	あった方がよい	38.5
3	やむを得ない	19.5	どちらでもない	17.3	どちらでもない	9.7

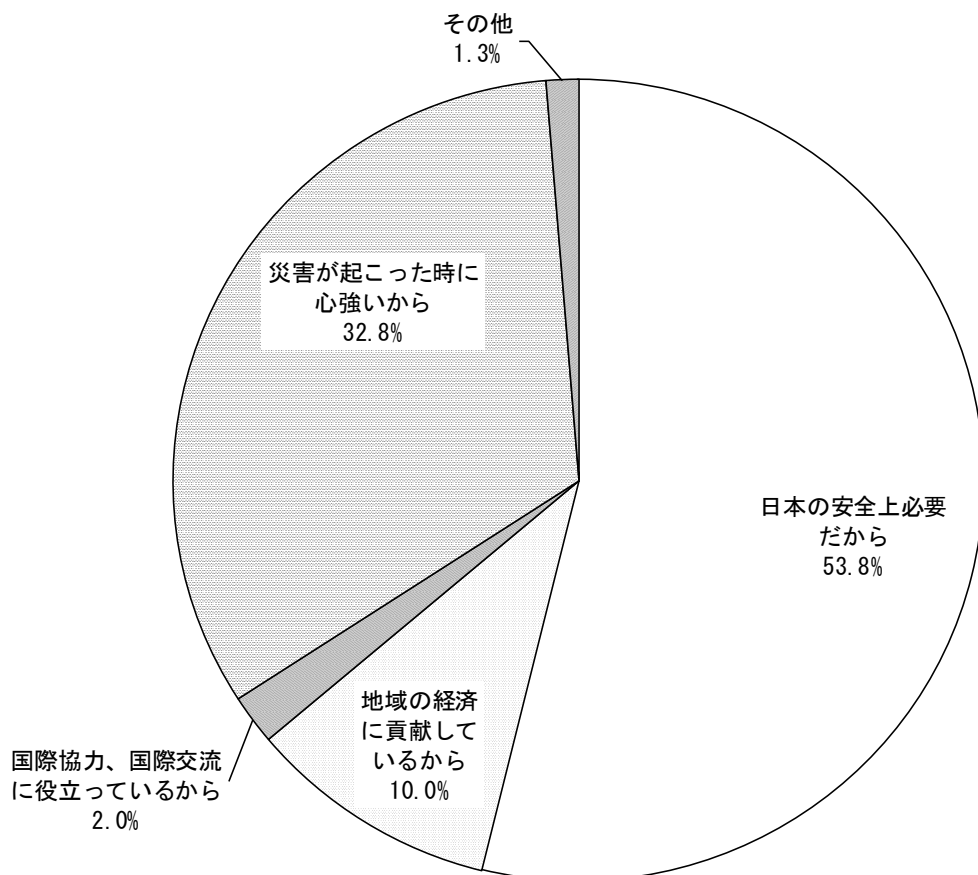


vi－2－（１） 自衛隊基地に対する考え（自衛隊基地があった方がよい理由）
問 12－１ その理由について、あなたのお考えに近いものを１つだけ選んでください。

自衛隊基地が「あった方がよい」を選択した回答者の５割以上が、選択理由として日本の安全上必要であることを挙げている。

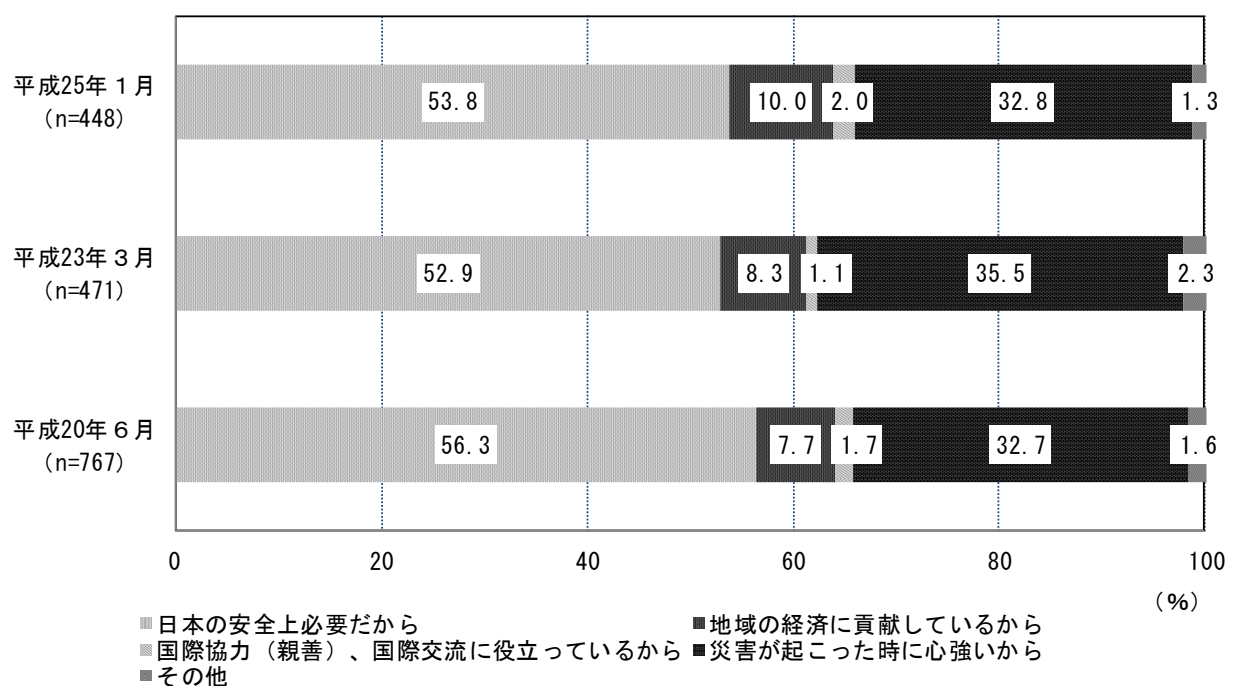
- ・自衛隊基地が「あった方がよい」を選択した理由として「日本の安全上必要だから」が最も多く 53.8%を占めている。また、「災害が起こった時に心強いから」も 32.8%と多い。
- ・これらの回答傾向は、平成 20 年 6 月調査から大きな変化はみられない。
- ・「地域の経済に貢献しているから」は、やや上昇傾向がみられる。

（図表 vi－9 自衛隊基地があった方がよい理由 n=448）



(図表 vi-10 自衛隊基地があった方がよい理由 前回調査比較)

順位	平成25年 1 月調査 (n=448)		平成23年 3 月調査 (n=471)		平成20年 6 月調査 (n=767)	
	回答項目	割合 (%)	回答項目	割合 (%)	回答項目	割合 (%)
1	日本の安全上必要だから	53.8	日本の安全上必要だから	52.9	日本の安全上必要だから	56.3
2	災害が起こった時に心強いから	32.8	災害が起こった時に心強いから	35.5	災害が起こった時に心強いから	32.7
3	地域の経済に貢献しているから	10.0	地域の経済に貢献しているから	8.3	地域の経済に貢献しているから	7.7

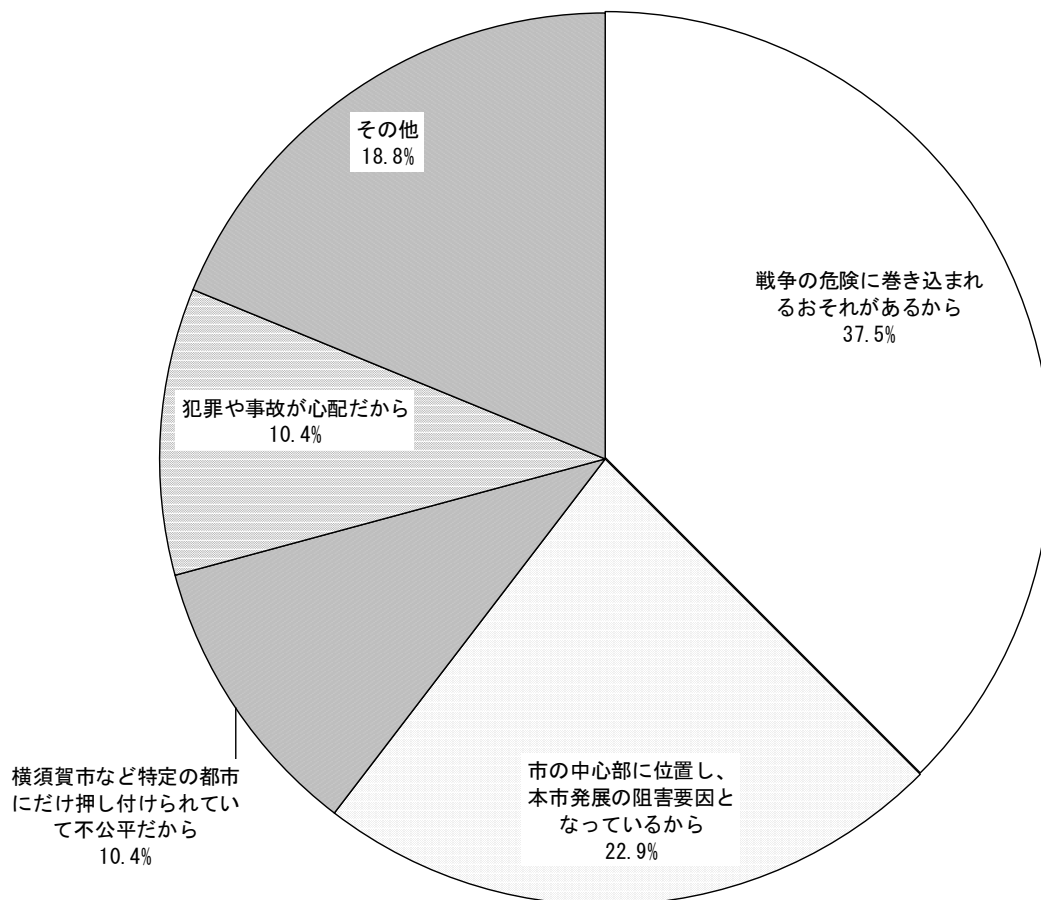


vi－2－（2） 自衛隊基地に対する考え（自衛隊基地がない方がよい理由）
問 12－2 その理由について、あなたのお考えに近いものを1つだけ選んでください。

自衛隊基地が「ない方がよい」を選択した回答者の4割弱が、選択理由として戦争の危険に巻き込まれるおそれがあることを挙げている。

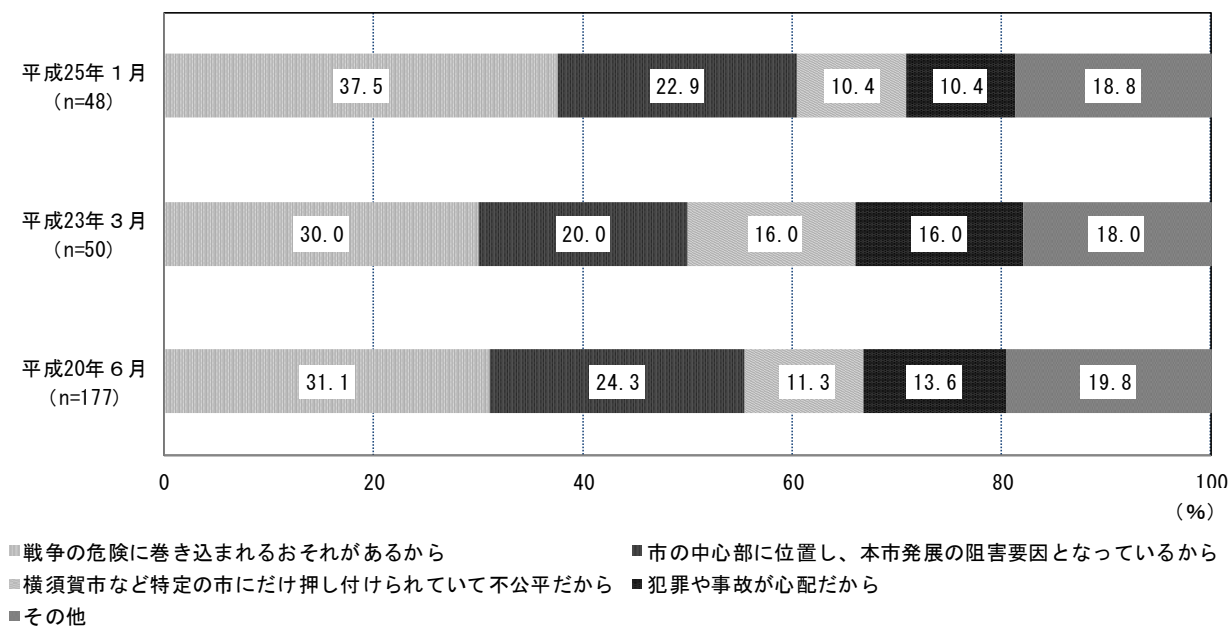
- ・自衛隊基地が「ない方がよい」を選択した理由の上位の回答項目については、平成20年6月調査から大きな変化はないが、「戦争の危険に巻き込まれるおそれがあるから」は、前回調査から7.5ポイント上昇した（37.5%）。
- ・一方、「横須賀市など特定の都市にだけ押し付けられていて不公平だから」「犯罪や事故が心配だから」は前回調査からそれぞれ5.6ポイント減少した（いずれも10.4%）。

（図表 vi－11 自衛隊基地がない方がよい理由 n=48）



(図表 vi-12 自衛隊基地がない方がよい理由 前回調査比較)

順位	平成25年 1 月調査 (n=48)		平成23年 3 月調査 (n=50)		平成20年 6 月調査 (n=117)	
	回答項目	割合 (%)	回答項目	割合 (%)	回答項目	割合 (%)
1	戦争の危険に巻き込まれるおそれがあるから	37.5	戦争の危険に巻き込まれるおそれがあるから	30.0	戦争の危険に巻き込まれるおそれがあるから	31.1
2	市の中心部に位置し、本市発展の阻害要因となっているから	22.9	市の中心部に位置し、本市発展の阻害要因となっているから	20.0	市の中心部に位置し、本市発展の阻害要因となっているから	24.3
3	横須賀市など特定の都市にだけ押し付けられていて不公平だから	10.4	横須賀市など特定の都市にだけ押し付けられていて不公平だから	16.0	犯罪や事故が心配だから	13.6
3	犯罪や事故が心配だから	10.4	犯罪や事故が心配だから	16.0		



vii. 公演などの鑑賞、文化芸術活動の状況、文化の振興について

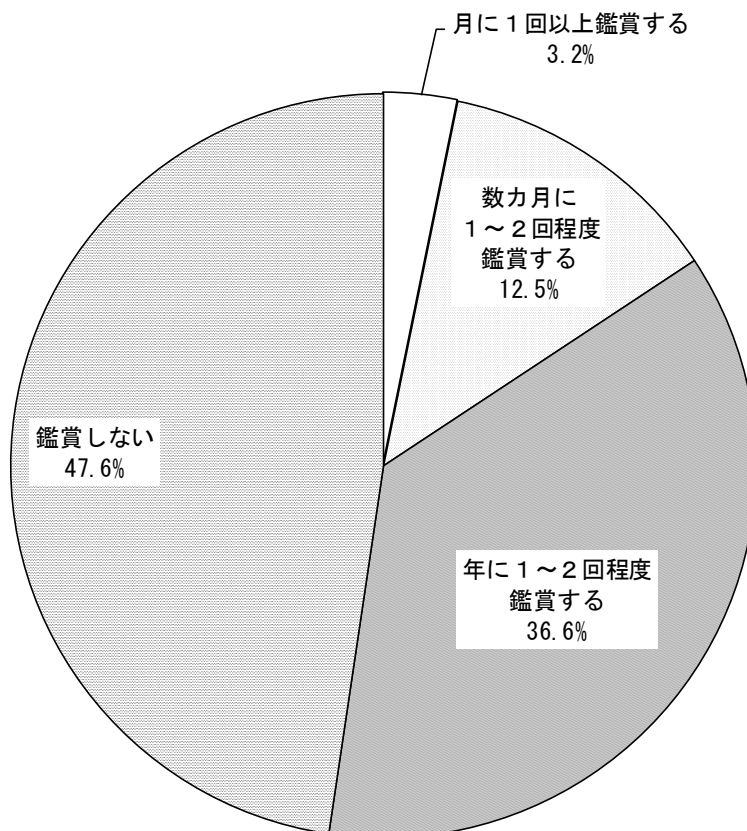
vii-1 公演などの鑑賞 ※新規設問

問 13 あなたは、さまざまな会場で行われる公演や展覧会などを鑑賞することがありますか。（あてはまるものを1つ選択）

「月に1回以上鑑賞する」「数カ月に1～2回程度鑑賞する」「年に1～2回程度鑑賞する」を選択した、鑑賞機会を持つ回答者が5割を超えた。

- ・「年に1～2回程度鑑賞する」を選択した回答者が36.6%と最も多く、「月に1回以上鑑賞する」「数カ月に1～2回程度鑑賞する」「年に1～2回程度鑑賞する」を選択した鑑賞機会をもつ回答者が5割を超えた。
- ・一方で、鑑賞しないとする回答者も半数近くに上り、その傾向が二分される結果となった。

（図表vii-1 公演などの鑑賞状況 n=934）



vii－１－（１） 公演などの鑑賞 （鑑賞しない人の今後の鑑賞意向）

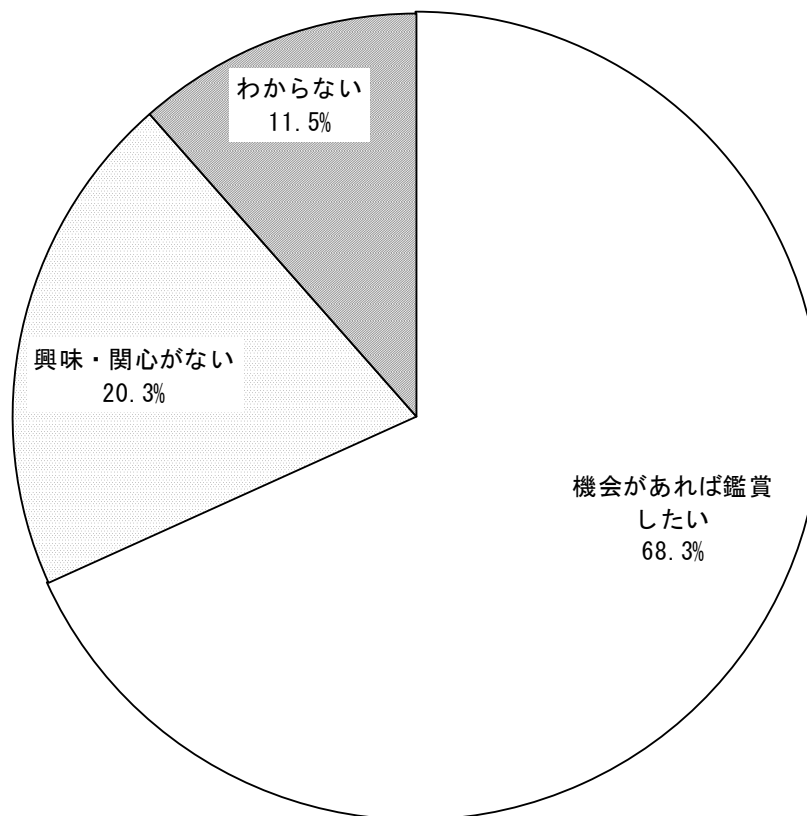
問 13－１ 今後、公演や展覧会などの鑑賞をしてみたいと思いますか。

（あてはまるものを１つ選択）

「鑑賞しない」を選択した回答者のうち、「機会があれば鑑賞したい」と回答した人は７割近くにのぼる。

- ・ 鑑賞しない人のうち、「機会があれば鑑賞したい」を選択した回答者は７割近くに上り、潜在的な鑑賞意向が窺える結果となった。
- ・ 一方、「興味・関心がない」を選択した回答者も 20％強で少なくはない。

（図表 vii－２ 今後の鑑賞意向 n=419）



vii－2 文化芸術活動 ※新規設問

問 14 あなたは、現在、何らかの文化芸術活動を行っていますか。

(あてはまるものを1つ選択)

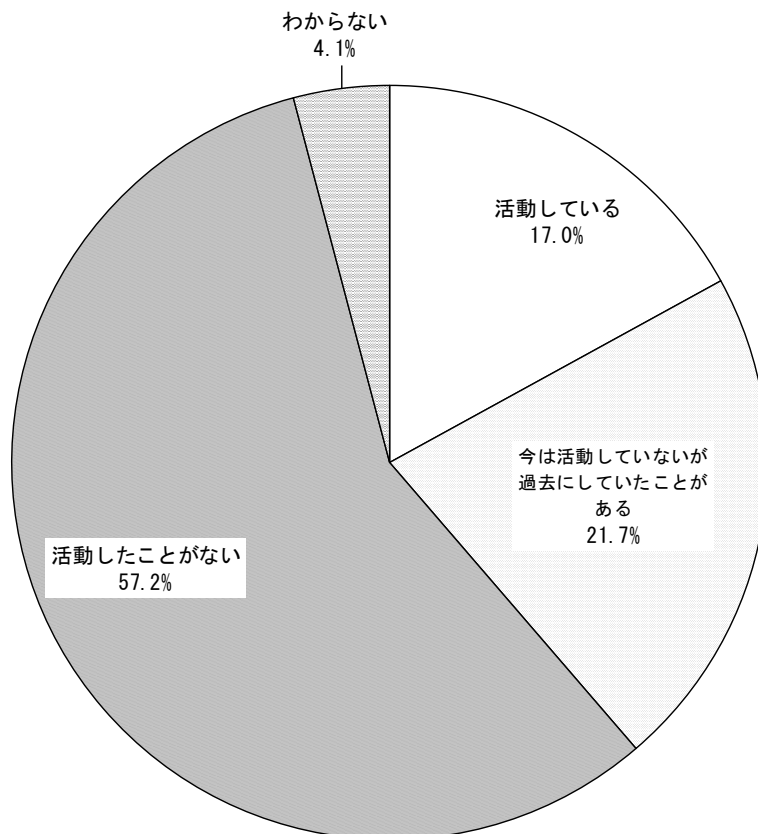
※ここでの「文化芸術活動」とは、次のものへの参加、学習、普及支援などの活動をいいます。

芸術（文学・音楽・美術・写真・演劇・舞踊など）／伝統芸能（歌舞伎・能楽など）／
芸能（落語・歌唱など）／生活文化（茶道・華道・書道・陶芸など）／
国民娯楽（囲碁・将棋など）／その他これらに類するもの

「活動したことがない」を選択した回答者が 57.2%で最も多く、次いで、「今はしていないが過去に活動していたことがある」が 27.1%となった。

- ・「活動したことがない」を選択した回答者が 57.2%で最も多く、次いで、「今はしていないが過去に活動していたことがある」が 21.7%となり、現在、活動していない人が約8割となった。

(図表vii－3 文化芸術活動の状況 n=900)



vii－2－（１） 文化芸術活動（現在、活動していない人の今後の活動意向）

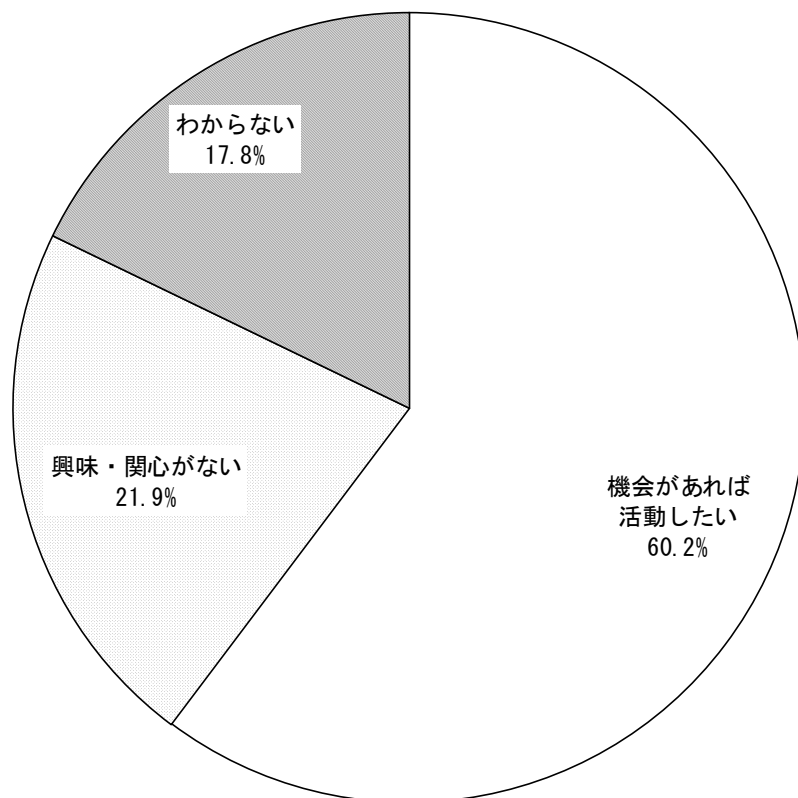
問 14－１ 今後、何らかの文化芸術活動をしてみたいと思いますか。

（あてはまるものを１つ選択）

現在、活動していない回答者のうち、「機会があれば活動したい」を選択した人が
６割を超えた。

- ・現在、活動していない回答者のうち、「機会があれば活動したい」を選択した回答者が 6 割を超えており、潜在的な活動意向が窺える。
- ・一方、「興味・関心がない」を選択した回答者も 20% 強と少なくはない。

（図表 vii－４ 文化芸術活動への今後の参加意向 n＝729）



vii－3 文化の振興に向けて ※新規設問

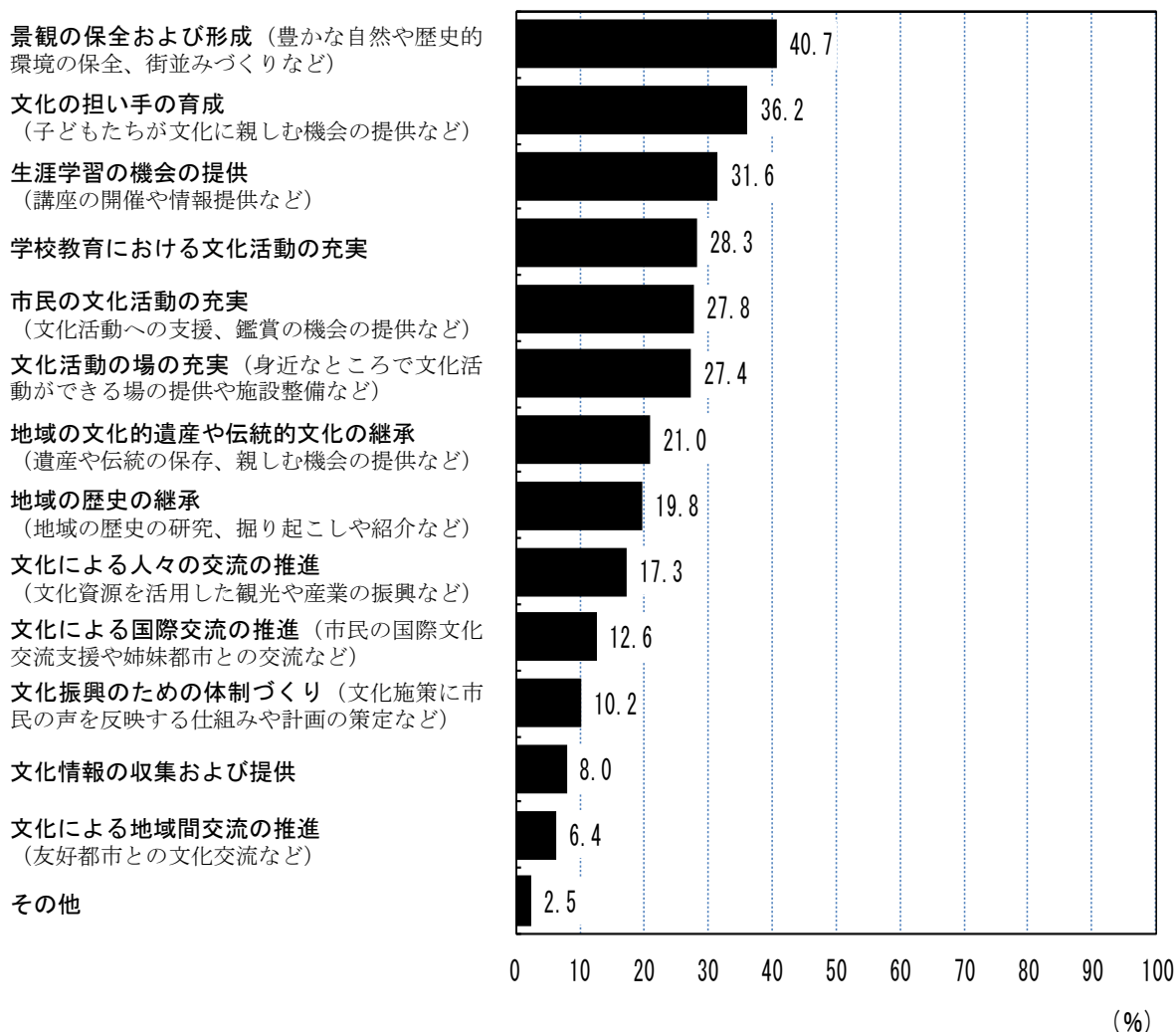
問 15 市では、横須賀ならではの地域文化や新しい文化を創造するための取り組みを進めています。

横須賀の文化を豊かにするために、あなたが必要だと思う取り組みについて、あてはまるものを順に3つまで選んでください。

「景観の保全および形成（豊かな自然や歴史的環境の保全、街並みづくりなど）」を選択した回答者が約4割と最も多かった。（複数回答）

- ・「景観の保全および形成（豊かな自然や歴史的環境の保全、街並みづくりなど）」が40.7%で最も多く、次いで「文化の担い手の育成（子どもたちが文化に親しむ機会の提供など）」（36.2%）、「生涯学習の機会の提供（講座の開催や情報提供など）」（31.6%）となった。

（図表vii－5 横須賀の文化を豊かにするために必要な取り組み n=873）



viii. 政策の優先度や市役所サービスへの満足度について

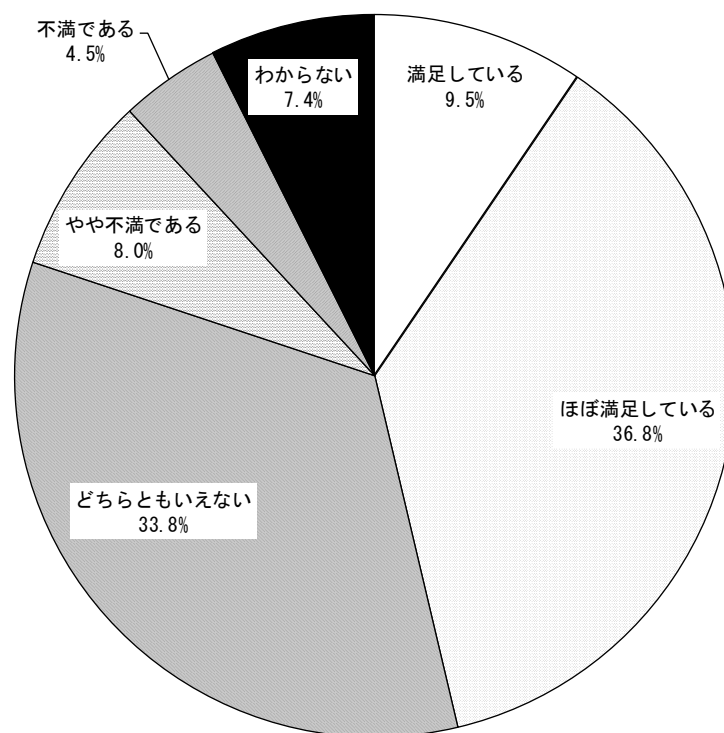
viii－1 日々の暮らしにかかわる市役所サービスへの満足度

問 16 日々の暮らしにかかわる市役所のサービスに対する、あなたの「満足度」について、あてはまるものを1つだけ選んでください。

「ほぼ満足している」を選択した回答者が4割弱で最も多かった。

- ・今回調査で、「満足している」「ほぼ満足している」の合計割合は4割を超え、「不満である」「やや不満である」の合計割合（12.5％）を大幅に上回った。
- ・他方、「どちらともいえない」の回答割合が33.8％と2番目に高く、この傾向は前回調査と同様である。

（図表viii－1 市役所サービスへの満足度 n=929）



（図表viii－2 市役所サービスへの満足度 前回調査比較）

調査時期	件数 (人)	回答項目・割合 (%)						①＋②	④＋⑤
		①満足している	②ほぼ満足している	③どちらともいえない	④やや不満である	⑤不満である	⑥わからない		
平成25年 1 月	929	9.5	36.8	33.8	8.0	4.5	7.4	46.3	12.5
平成23年 3 月	903	7.1	37.8	31.7	8.9	6.0	8.6	44.9	14.9

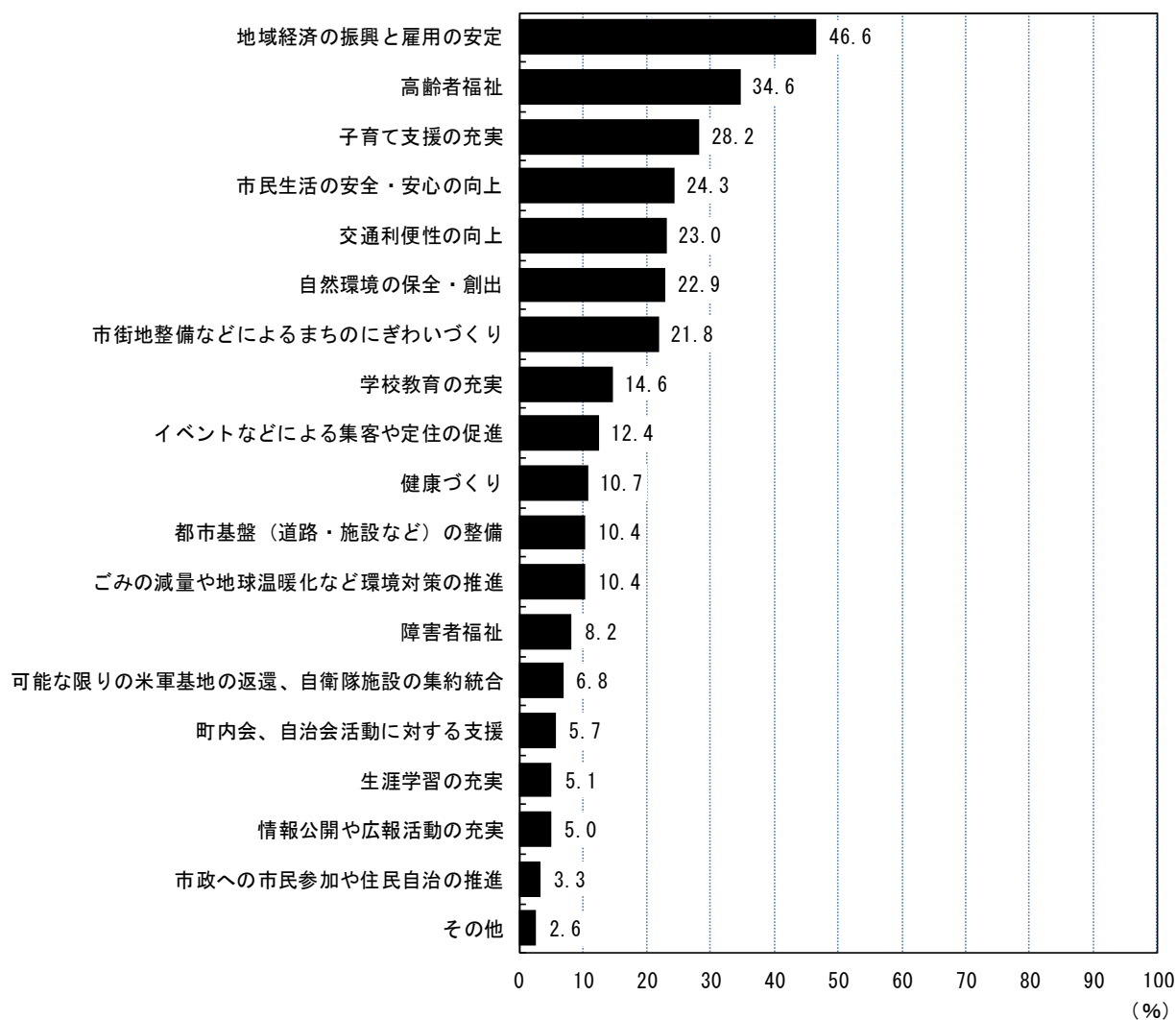
viii－2 政策の優先度

問 17 10 年後、20 年後の将来、横須賀市が着実に成長できる都市であるためには、財源に限りがある中で、今後どのような政策を重点的に取り組むべきだと思いますか。
(あてはまるものを順に 3 つ選択)

重点的に取り組むべき政策として、「地域経済の振興と雇用の安定」を選択した回答者が最も多かった。(複数回答)

- ・「地域経済の振興と雇用の安定」の回答割合が最も高く (46.6%)、次いで「高齢者福祉」が高い割合を示した (34.6%)。
- ・これらに続き、「子育て支援の充実」選択された。前回調査と比較して上位項目で減少がみられる中、3.4 ポイント増加して 3 番目に高い割合を示した (28.2% ; 前回調査 5 位)。

(図表 viii－3 政策の優先度 n=923) ※選択順位にかかわらず選択された割合で算出



(図表 viii - 4 政策の優先度 前回調査比較)

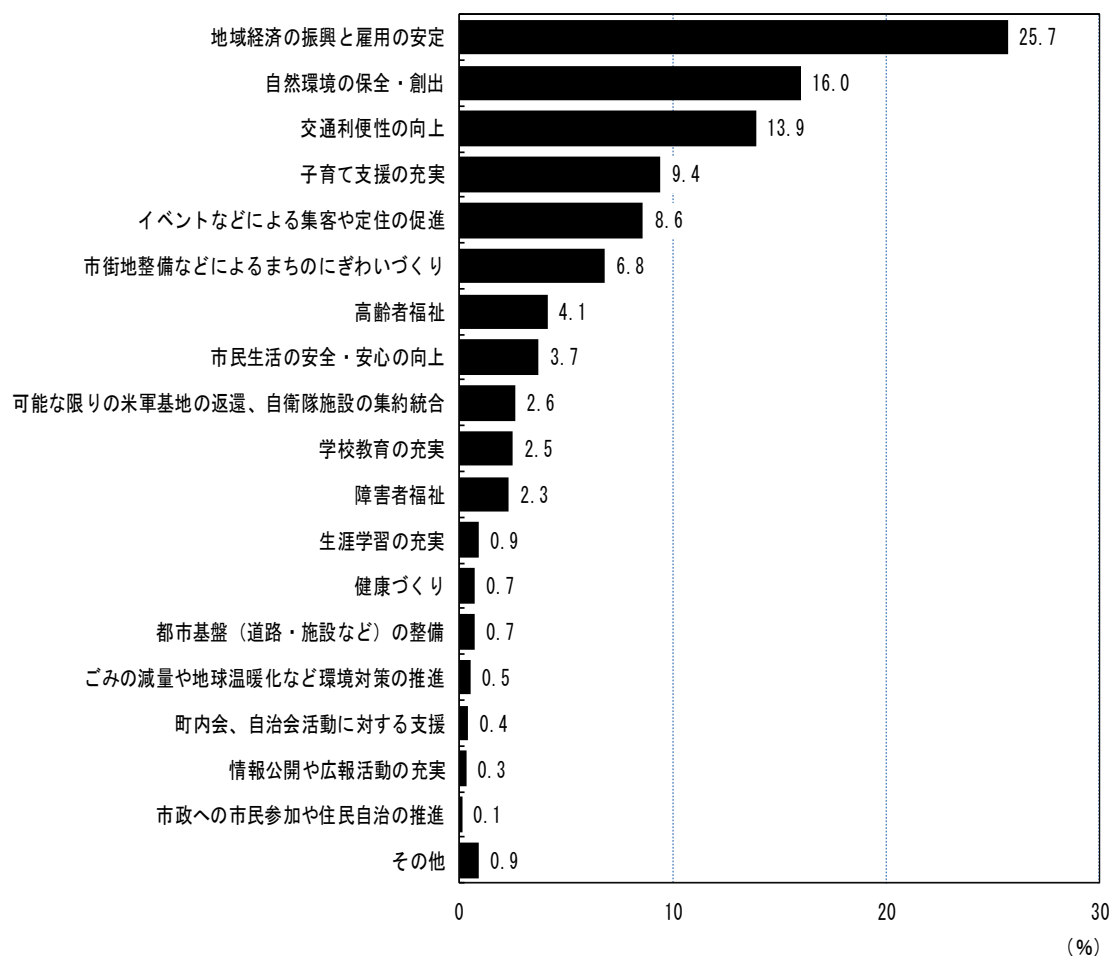
重点的に取り組むべき政策の項目	平成25年 1 月 (n=923)		平成23年 3 月 (n=901)		前回比
	順位	割合 (%)	順位	割合 (%)	
地域経済の振興と雇用の安定	1	46.6	1	49.6	▲ 3.0
高齢者福祉	2	34.6	2	39.8	▲ 5.2
子育て支援の充実	3	28.2	5	24.8	3.4
市民生活の安全・安心の向上	4	24.3	3	29.7	▲ 5.4
交通利便性の向上	5	23.0	6	21.8	1.2
自然環境の保全・創出	6	22.9	4	28.0	▲ 5.1
市街地整備などによるまちのにぎわいづくり	7	21.8	7	16.4	5.4
学校教育の充実	8	14.6	8	14.0	0.6
イベントなどによる集客や定住の促進	9	12.4	10	9.4	3.0
健康づくり	10	10.7	15	6.0	4.7
都市基盤（道路・施設など）の整備	11	10.4	11	9.2	1.2
ごみの減量や地球温暖化など環境対策の推進	11	10.4	12	8.3	2.1
障害者福祉	13	8.2	12	8.3	▲ 0.1
可能な限りの米軍基地の返還、自衛隊施設の集約統合	14	6.8	9	10.0	▲ 3.2
町内会、自治会活動に対する支援	15	5.7	14	6.2	▲ 0.5
生涯学習の充実	16	5.1	17	3.8	1.3
情報公開や広報活動の充実	17	5.0	18	3.1	1.9
市政への市民参加や住民自治の推進	18	3.3	16	4.3	▲ 1.0
その他	—	2.6	—	3.7	▲ 1.1

【選択順位別の傾向】

（１）重点的に取り組むべき政策 ＜１番目＞

- ・今回調査で、１番目に選択された政策で最も多いのは、「地域経済の振興と雇用の安定」（25.7％）で、２位の「自然環境の保全・創出」（16.0％）と約 10 ポイントの差がみられる。
- ・次いで、「交通利便性の向上」（13.9％）が多く選択されており、これらの傾向は前回調査と同様である。

（図表 viii－５ 政策の優先度 ＜１番目＞ n=923）



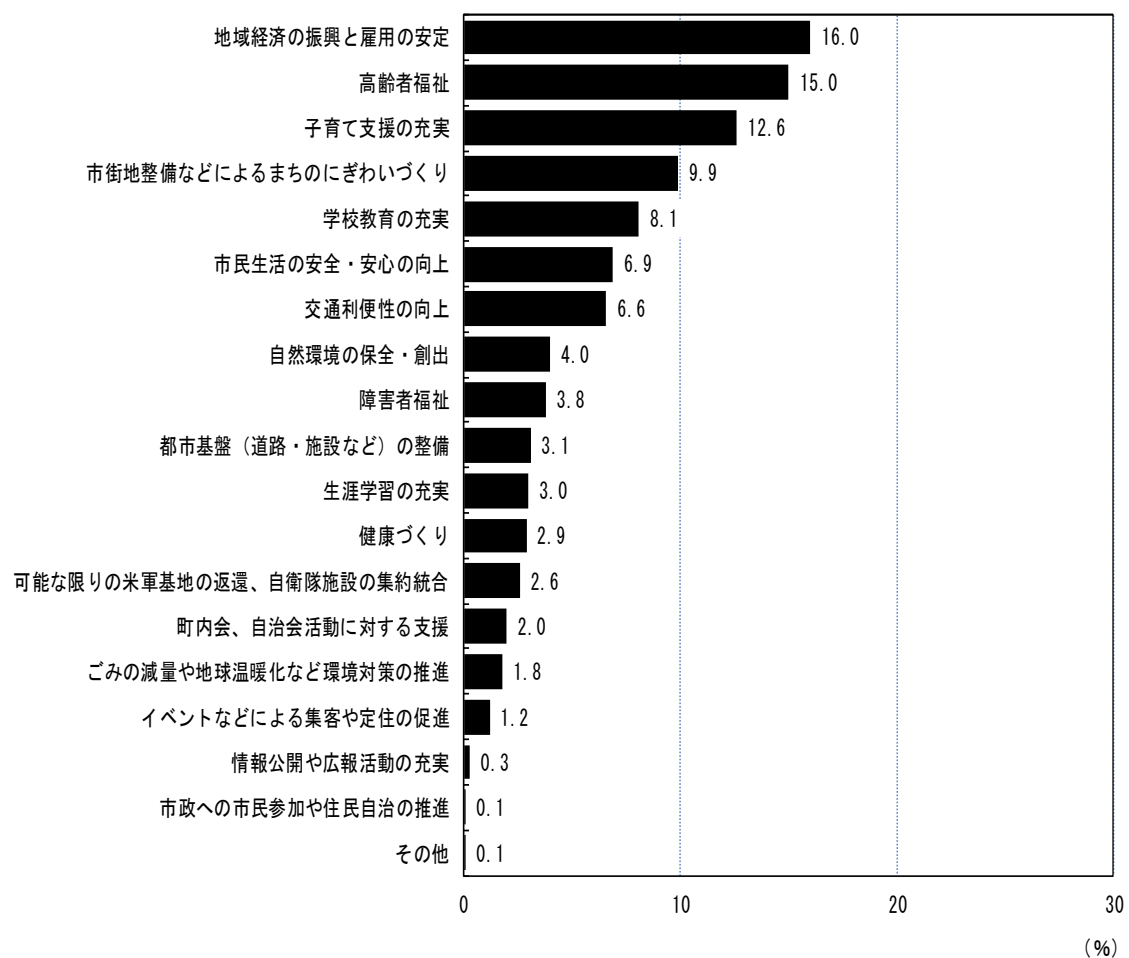
(図表 viii－6 政策の優先度 < 1 番目 > 前回調査比較)

重点的に取り組むべき政策の項目	平成25年 1 月 (n=923)		平成23年 3 月 (n=901)		前回比
	順位	割合 (%)	順位	割合 (%)	
地域経済の振興と雇用の安定	1	25.7	1	27.6	▲ 1.9
自然環境の保全・創出	2	16.0	2	19.8	▲ 3.8
交通利便性の向上	3	13.9	3	12.2	1.7
子育て支援の充実	4	9.4	4	7.8	1.6
イベントなどによる集客や定住の促進	5	8.6	6	6.4	2.2
市街地整備などによるまちのにぎわいづくり	6	6.8	7	4.0	2.8
高齢者福祉	7	4.1	5	7.2	▲ 3.1
市民生活の安全・安心の向上	8	3.7	8	3.7	0.0
可能な限りの米軍基地の返還、自衛隊施設の集約統合	9	2.6	10	2.4	0.2
学校教育の充実	10	2.5	9	2.7	▲ 0.2
障害者福祉	11	2.3	10	2.4	▲ 0.1
生涯学習の充実	12	0.9	16	0.3	0.6
健康づくり	13	0.7	14	0.6	0.1
都市基盤（道路・施設など）の整備	13	0.7	12	0.8	▲ 0.1
ごみの減量や地球温暖化など環境対策の推進	15	0.5	14	0.6	▲ 0.1
町内会、自治会活動に対する支援	16	0.4	13	0.7	▲ 0.3
情報公開や広報活動の充実	17	0.3	18	0.1	0.2
市政への市民参加や住民自治の推進	18	0.1	17	0.2	▲ 0.1
その他	—	0.9	—	0.6	0.3

（２）重点的に取り組むべき政策 ＜２番目＞

- ・今回調査で、２番目に選択された政策で最も多いのは、１番目と同様に「地域経済の振興と雇用の安定」（16.0％）であった。
- ・２位以降は「高齢者福祉」（15.0％）、「子育て支援の充実」（12.6％）が続き、回答割合に大きな差もなく、１番目に選択された政策とは傾向が異なる。
- ・これらの傾向は前回調査と同様であり、上位３項目の値も変化がみられない。

（図表Ⅷ－７ 政策の優先度 ＜２番目＞ n=911）



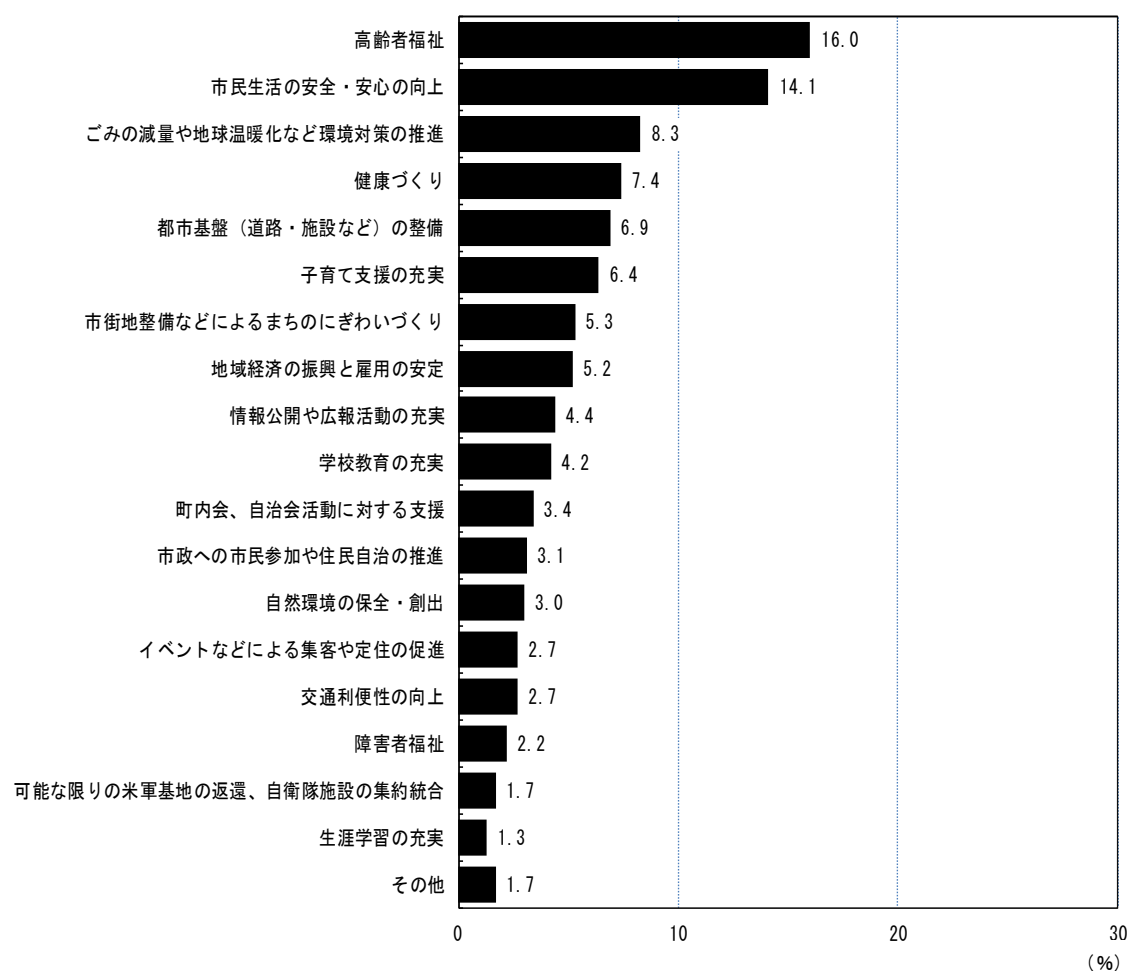
(図表 viii－8 政策の優先度 < 2 番目 > 前回調査比較)

重点的に取り組むべき政策の項目	平成25年 1 月 (n=911)		平成23年 3 月 (n=893)		前回比
	順位	割合 (%)	順位	割合 (%)	
地域経済の振興と雇用の安定	1	16.0	1	16.1	▲ 0.1
高齢者福祉	2	15.0	2	15.7	▲ 0.7
子育て支援の充実	3	12.6	3	12.7	▲ 0.1
市街地整備などによるまちのにぎわいづくり	4	9.9	5	7.4	2.5
学校教育の充実	5	8.1	6	6.8	1.3
市民生活の安全・安心の向上	6	6.9	4	8.3	▲ 1.4
交通利便性の向上	7	6.6	7	6.5	0.1
自然環境の保全・創出	8	4.0	10	4.0	0.0
障害者福祉	9	3.8	9	4.3	▲ 0.5
都市基盤（道路・施設など）の整備	10	3.1	11	2.4	0.7
生涯学習の充実	11	3.0	13	2.1	0.9
健康づくり	12	2.9	11	2.4	0.5
可能な限りの米軍基地の返還、自衛隊施設の集約統合	13	2.6	8	4.9	▲ 2.3
町内会、自治会活動に対する支援	14	2.0	14	2.0	0.0
ごみの減量や地球温暖化など環境対策の推進	15	1.8	15	1.7	0.1
イベントなどによる集客や定住の促進	16	1.2	16	1.2	0.0
情報公開や広報活動の充実	17	0.3	18	0.6	▲ 0.3
市政への市民参加や住民自治の推進	18	0.1	17	0.8	▲ 0.7
その他	—	0.1	—	0.2	▲ 0.1

（３）重点的に取り組むべき政策 ＜３番目＞

- ・今回調査で、３番目に選択された政策で最も多いのは、「高齢者福祉」（16.0％）であった。
- ・２位以降は「市民生活の安全・安心の向上」（14.1％）、「ごみの減量や地球温暖化など環境対策の推進」（8.3％）が続いている。
- ・２位と３位の政策の回答割合には約６ポイントの差があり、３位以降はほとんど差がみられない。

（図表Ⅷ－９ 政策の優先度 ＜３番目＞ n=902）



(図表 viii-10 政策の優先度 <3 番目> 前回調査比較)

重点的に取り組むべき政策の項目	平成25年1月 (n=902)		平成23年3月 (n=877)		前回比
	順位	割合 (%)	順位	割合 (%)	
高齢者福祉	1	16.0	2	17.6	▲ 1.6
市民生活の安全・安心の向上	2	14.1	1	18.4	▲ 4.3
ごみの減量や地球温暖化など環境対策の推進	3	8.3	3	6.3	2.0
健康づくり	4	7.4	12	3.2	4.2
都市基盤（道路・施設など）の整備	5	6.9	3	6.3	0.6
子育て支援の充実	6	6.4	8	4.6	1.8
市街地整備などによるまちのにぎわいづくり	7	5.3	6	5.2	0.1
地域経済の振興と雇用の安定	8	5.2	5	6.2	▲ 1.0
情報公開や広報活動の充実	9	4.4	15	2.5	1.9
学校教育の充実	10	4.2	7	4.7	▲ 0.5
町内会、自治会活動に対する支援	11	3.4	10	3.6	▲ 0.2
市政への市民参加や住民自治の推進	12	3.1	11	3.4	▲ 0.3
自然環境の保全・創出	13	3.0	9	4.3	▲ 1.3
イベントなどによる集客や定住の促進	14	2.7	16	1.8	0.9
交通利便性の向上	14	2.7	12	3.2	▲ 0.5
障害者福祉	16	2.2	17	1.7	0.5
可能な限りの米軍基地の返還、自衛隊施設の集約統合	17	1.7	14	2.7	▲ 1.0
生涯学習の充実	18	1.3	18	1.4	▲ 0.1
その他	—	1.7	—	3.0	▲ 1.3

（４）重点的に取り組むべき政策全体と選択順位別

- ・重点的に取り組むべき政策の選択順位別の状況は、全体で最も高い割合を示した「地域経済の振興と雇用の安定」は１番目、２番目で回答割合が最も高く、最も重要な政策として捉えられている。
- ・全体では高い割合を示した「高齢者福祉」「子育て支援の充実」「市民生活の安全・安心の向上」は、１番目としての回答割合は高くはないものの、２番目、３番目で比較的高い割合を示しており、重要な政策として捉えられている。
- ・他方、「交通利便性の向上」「自然環境の保全・創出」は、１番目に選択している回答者が多い反面、２番目、３番目での回答割合が低く、全体の順位は上述の項目と比較して低くなっている。

（図表Ⅷ－１１ 政策の優先度 重点的に取り組むべき政策全体と選択順位別）

重点的に取り組むべき政策の項目	全体（n=923）			１番目（n=923）			２番目（n=911）			３番目（n=902）		
	順位	件数（人）	割合（％）	順位	件数（人）	割合（％）	順位	件数（人）	割合（％）	順位	件数（人）	割合（％）
地域経済の振興と雇用の安定	1	430	46.6	1	237	25.7	1	146	16.0	8	47	5.2
高齢者福祉	2	319	34.6	7	38	4.1	2	137	15.0	1	144	16.0
子育て支援の充実	3	260	28.2	4	87	9.4	3	115	12.6	6	58	6.4
市民生活の安全・安心の向上	4	224	24.3	8	34	3.7	6	63	6.9	2	127	14.1
交通利便性の向上	5	212	23.0	3	128	13.9	7	60	6.6	14	24	2.7
自然環境の保全・創出	6	211	22.9	2	148	16.0	8	36	4.0	13	27	3.0
市街地整備などによるまちのにぎわいづくり	7	201	21.8	6	63	6.8	4	90	9.9	7	48	5.3
学校教育の充実	8	135	14.6	10	23	2.5	5	74	8.1	10	38	4.2
イベントなどによる集客や定住の促進	9	114	12.4	5	79	8.6	16	11	1.2	14	24	2.7
健康づくり	10	99	10.7	13	6	0.7	12	26	2.9	4	67	7.4
都市基盤（道路・施設など）の整備	11	96	10.4	13	6	0.7	10	28	3.1	5	62	6.9
ごみの減量や地球温暖化など環境対策の推進	12	96	10.4	15	5	0.5	15	16	1.8	3	75	8.3
障害者福祉	13	76	8.2	11	21	2.3	9	35	3.8	16	20	2.2
可能な限りの米軍基地の返還、自衛隊施設の集約統合	14	63	6.8	9	24	2.6	13	24	2.6	17	15	1.7
町内会、自治会活動に対する支援	15	53	5.7	16	4	0.4	14	18	2.0	11	31	3.4
生涯学習の充実	16	47	5.1	12	8	0.9	11	27	3.0	18	12	1.3
情報公開や広報活動の充実	17	46	5.0	17	3	0.3	17	3	0.3	9	40	4.4
市政への市民参加や住民自治の推進	18	30	3.3	18	1	0.1	18	1	0.1	12	28	3.1
その他	－	24	2.6	－	8	0.9	－	1	0.1	－	15	1.7

※回答は順に３つの複数選択のため、それぞれのサンプル数は異なる。

基本計画進行管理編

Ⅳ．集計結果

ix．市の政策に対する実感

基本計画に掲げたまちづくり政策（大柱）およびまちづくりの推進姿勢における政策（中柱）の推進状況に対する実感について、次の回答項目を設定し調査した。

問 18 回答用紙のそれぞれの項目について、あてはまるところに1つずつ○をつけてください。

例) 1. いきいきとした交流が広がるまち

【まちの魅力づくり】

市外からの集客につながる魅力的なイベントや、定住に結びつく取り組みが進められている。

回答項目：①感じる ②やや感じる ③どちらともいえない ④あまり感じない
⑤感じない ⑥わからない

1. まちづくり政策の目標の状況

（今回調査の傾向）

- ・まちづくり政策で掲げた23の政策（中柱）のうち、DIがプラスの状態に位置するのは9つで、全体の約4割となった。
- ・DIが最も高い値を示したものは「5－（3）快適な暮らしを支える生活基盤づくり」で、インフラ整備関連の施策については、比較的市民の実感が得られているという見方ができる。
これに次いで、高い値を示したのは「2－（2）魅力あふれる農水産業の振興」「2－（1）自然環境の保全・創出による潤いある地域づくり」となった。
- ・一方、DIがマイナスの状態に位置する政策（中柱）のうち、最も低い値を示したものは「2－（4）雇用の安定と働く環境の充実」で突出している。
これに次いで、「2－（6）可能な限りの米軍基地の返還、自衛隊施設の集約・統合」「2－（3）産業の成長支援と企業誘致」の値が低くなっている。
- ・これらはすべて、まちづくり政策の「2 海と緑を生かした活気あふれるまち」を構成する政策である。

(前回調査との比較)

- ・全体的に改善・上昇傾向が窺え、DI が最も上昇したのは「３－（１）子どもが心豊かで健やかに育つ環境の充実」で 12.3 ポイントの上昇となった。次いで、「４－（４）健康づくりの推進と医療体制の充実」（12.0 ポイント上昇）となったが、いずれも DI はマイナスの状況にある。
- ・今回調査で２番目に高い値を示した「２－（２）魅力あふれる農水産業の振興」は、10 ポイントを超える上昇がみられた。
- ・一方、DI が最も低下したのは「２－（５）市街地のにぎわいづくり」で、▲8.0 ポイントとなった。
- ・今回調査で DI が低かった「２－（４）雇用の安定と働く環境の充実」は、マイナスの状況の中で若干の改善がみられる。

(図表 ix－１ まちづくり政策の目標に対する市民の実感)

まちづくり 政策の目標	政策	DI		前回比
		平成25年 1 月	平成23年 3 月	
1 いきいきとした 交流が広がる まち	(1) 人を呼び込む環境づくり	▲ 3.8	▲ 13.7	9.9
	(2) 交流を支える情報の発信	▲ 12.0	▲ 19.5	7.5
	(3) 陸と海に広がる総合的なネットワークづくり	12.2	9.5	2.7
2 海と緑を生かした 活気あふれる まち	(1) 自然環境の保全・創出による潤いある地域づくり	26.3	27.1	▲ 0.8
	(2) 魅力あふれる農水産業の振興	27.7	16.6	11.1
	(3) 産業の成長支援と企業誘致	▲ 27.4	▲ 33.7	6.3
	(4) 雇用の安定と働く環境の充実	▲ 56.1	▲ 61.6	5.5
	(5) 市街地のにぎわいづくり	▲ 26.6	▲ 18.6	▲ 8.0
	(6) 可能な限りの米軍基地の返還、自衛隊施設の集約・統合	▲ 34.5	▲ 38.0	3.5
3 個性豊かな人 と文化が育つ まち	(1) 子どもが心豊かで健やかに育つ環境の充実	▲ 16.1	▲ 28.4	12.3
	(2) 人間性豊かな子どもが育つ教育の充実	▲ 13.2	▲ 18.8	5.6
	(3) 生涯を通じて学び、活動できる環境づくり	▲ 2.6	▲ 9.2	6.6
	(4) 多様な文化の継承、発展、創造	▲ 10.6	▲ 7.5	▲ 3.1
	(5) 魅力ある景観の形成	19.8	19.6	0.2
4 健康でやさしい 心のふれあ うまち	(1) 平和と人権を尊重する誰にも開かれたまちづくり	▲ 16.0	▲ 18.6	2.6
	(2) ユニバーサルデザインのまちづくり	1.3	0.2	1.1
	(3) 総合的な地域福祉サービスの推進	▲ 8.8	▲ 16.4	7.6
	(4) 健康づくりの推進と医療体制の充実	▲ 1.0	▲ 13.0	12.0
	(5) コミュニティーへの支援	11.3	5.8	5.5
5 安全で快適に 暮らせるまち	(1) 災害・緊急事態に強いまちづくり	1.9	▲ 1.9	3.8
	(2) 安心して日常生活を送るための環境づくり	18.5	11.4	7.1
	(3) 快適な暮らしを支える生活基盤づくり	42.6	43.0	▲ 0.4
	(4) 地球環境問題への対応	▲ 10.8	▲ 11.1	0.3

2. まちづくり政策の目標別集計結果

1 いきいきとした交流が広がるまち

(今回調査の傾向)

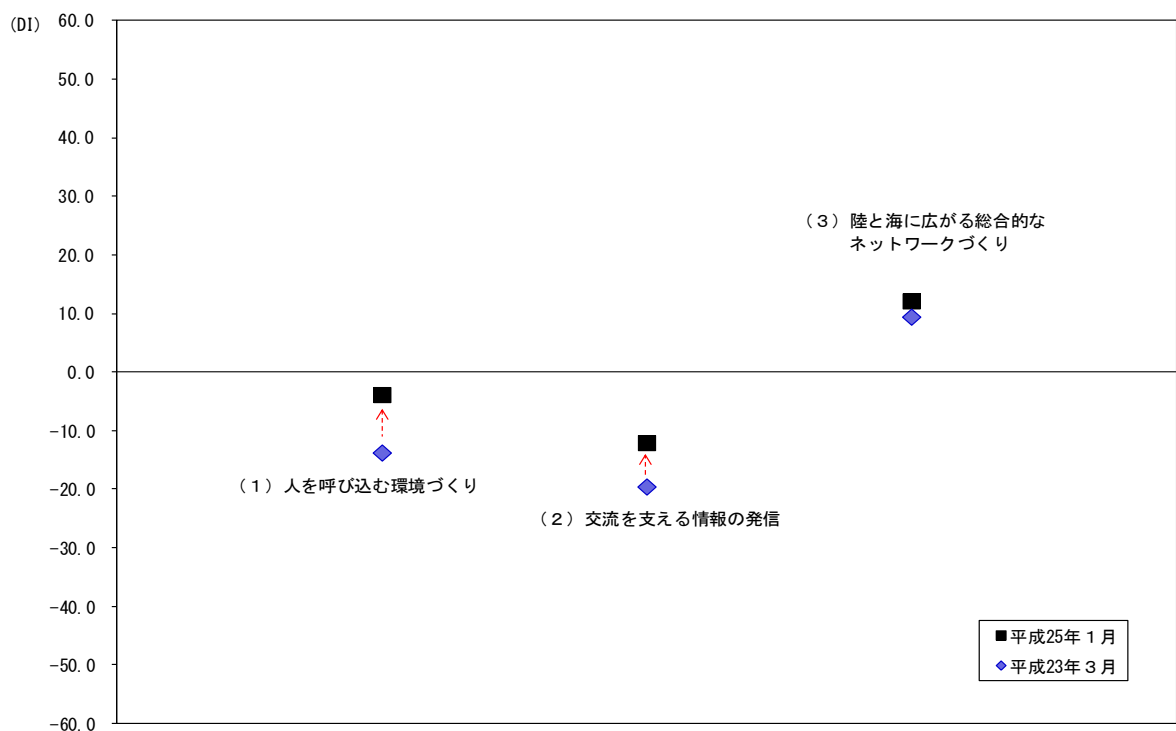
- ・ 3つの政策（中柱）のうち DI がプラスとなったものは「(3) 陸と海に広がる総合的なネットワークづくり」のみであった。

(前回調査との比較)

- ・ 3つの政策すべてで差がプラスとなり、中でも「(1) 人を呼び込む環境づくり」は約 10 ポイントの上昇がみられた。
- ・ しかし、2つの政策はマイナスの状態の中での上昇であり、改善傾向は窺えるものの、現時点での市民の実感が高いとはいえない状況にある。

(図表ix-2 「1 いきいきとした交流が広がるまち」に対する市民の実感)

政策	質問項目	調査時期	件数 (人)	(ポイント)				
				①感じる＋ ②やや感じる (a)	③どちらとも いえない	④あまり感じない＋ ⑤感じない (b)	DI (a)-(b)	前回比
(1) 人を呼び込む 環境づくり	市外からの集客につながる魅力的なイベントの開催や、定住に結びつく取り組みが進められている。	平成25年1月	863	36.3	23.6	40.1	▲ 3.8	9.9
		平成23年3月	829	33.5	19.3	47.2	▲ 13.7	
(2) 交流を支える 情報の発信	市外からの集客につながる魅力やイベント情報の発信が積極的に行われている。	平成25年1月	848	32.0	24.1	44.0	▲ 12.0	7.5
		平成23年3月	822	28.8	22.9	48.3	▲ 19.5	
(3) 陸と海に広がる 総合的な ネットワーク づくり	近隣の都市とつながる道路や港湾の整備など、市民や事業者、来訪者が利用しやすい交通網づくりが進められている。	平成25年1月	867	42.8	26.6	30.6	12.2	2.7
		平成23年3月	830	43.6	22.3	34.1	9.5	



2 海と緑を生かした活気あふれるまち

(今回調査の傾向)

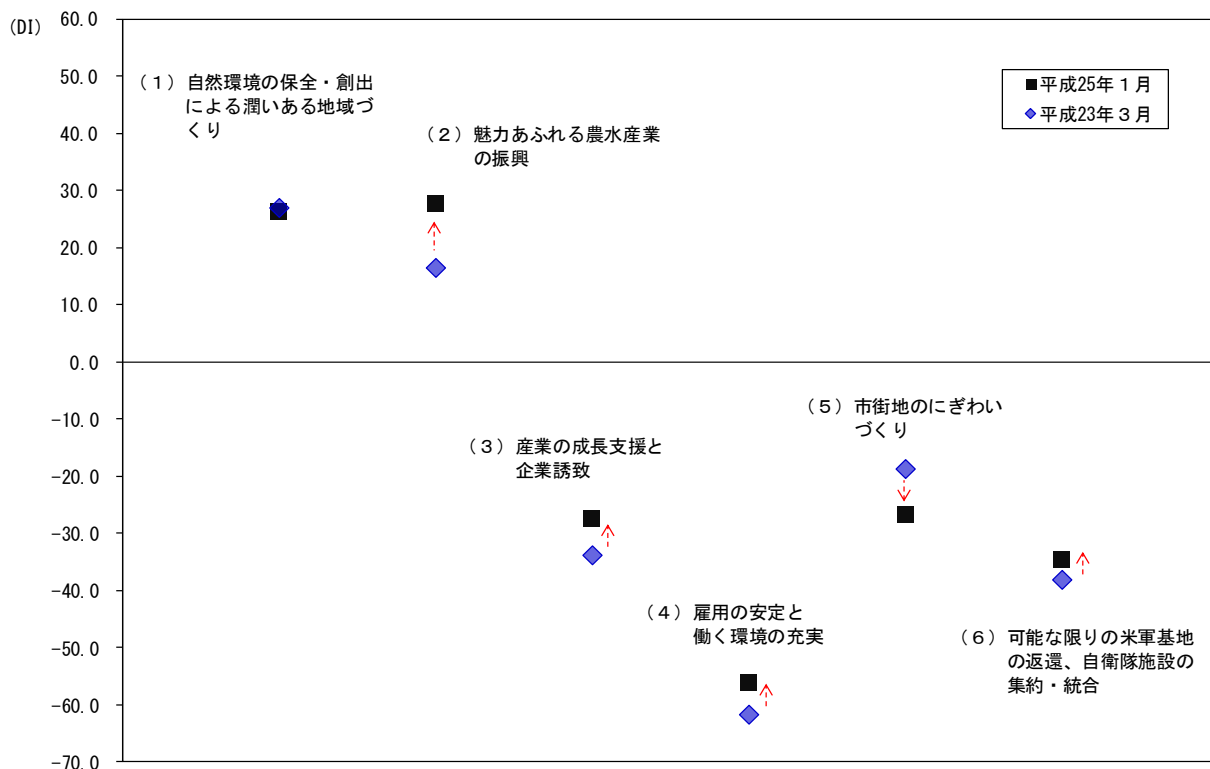
- ・ 6つの政策（中柱）のうち DI がプラスとなったものは「(1) 自然環境の保全・創出による潤いある地域づくり」「(2) 魅力あふれる農水産業の振興」の2つで、特に、「(2) 魅力あふれる農水産業の振興」は、23の政策（中柱）全体の中で2番目に高い値となっており、地産地消の取り組みが、市民の実感に影響を与えているものと考えられる。
- ・ 一方、DI がマイナスとなった政策のうち、「(4) 雇用の安定と働く環境の充実」は、23の政策（中柱）全体の中で最も低い値となっており、まちづくり政策の目標（大柱）を構成する政策（中柱）に対する市民の実感に大きな差がみられる。

(前回調査との比較)

- ・ 最も DI の上昇がみられたのは「(2) 魅力あふれる農水産業の振興」で、10ポイントを超える上昇となった。
- ・ 一方、「(5) 市街地のにぎわいづくり」については、マイナスの状態の中でさらに低下している。

(図表ix-3 「2 海と緑を生かした活気あふれるまち」に対する市民の実感)

政策	質問項目	調査時期	件数 (人)	(ポイント)				
				①感じる＋ ②やや感じる (a)	③どちらとも いえない	④あまり感じない＋ ⑤感じない (b)	DI (a)-(b)	前回比
(1) 自然環境の保全・創出による潤いある地域づくり	海や緑、川などの自然環境の保全、自然豊かな公園・緑地の整備など、住んでいる人、訪れる人に潤いやゆとりを生むための取り組みが進められている。	平成25年1月	882	50.7	24.9	24.4	26.3	▲ 0.8
		平成23年3月	854	52.6	21.9	25.5	27.1	
(2) 魅力あふれる農水産業の振興	農業や漁業が生産地としてだけではなく、観光などさまざまな場面で活用されている。	平成25年1月	876	51.1	25.5	23.4	27.7	11.1
		平成23年3月	831	47.8	21.1	31.2	16.6	
(3) 産業の成長支援と企業誘致	新たな企業・研究機関の進出や地域企業の活動に対する支援が進められている。	平成25年1月	753	21.1	30.4	48.5	▲ 27.4	6.3
		平成23年3月	723	19.8	26.7	53.5	▲ 33.7	
(4) 雇用の安定と働く環境の充実	仕事に就くための支援が適切に行われている。また、勤労者の労働環境を改善する取り組みが進められている。	平成25年1月	748	7.5	28.9	63.6	▲ 56.1	5.5
		平成23年3月	748	6.8	24.7	68.4	▲ 61.6	
(5) 市街地のにぎわいづくり	商業施設や住居が駅など地域の拠点に集約され、魅力やにぎわいが生まれている。一方、郊外の住宅団地などについては良好な環境が保たれている。	平成25年1月	865	21.5	30.4	48.1	▲ 26.6	▲ 8.0
		平成23年3月	823	27.5	26.5	46.1	▲ 18.6	
(6) 可能な限りの米軍基地の返還、自衛隊施設の集約・統合	現状を踏まえた中で、可能な限り米軍基地の返還や自衛隊施設の集約・統合に向けた要請活動などが行われている。	平成25年1月	727	17.1	31.4	51.6	▲ 34.5	3.5
		平成23年3月	693	14.1	33.8	52.1	▲ 38.0	



3 個性豊かな人と文化が育つまち

(今回調査の傾向)

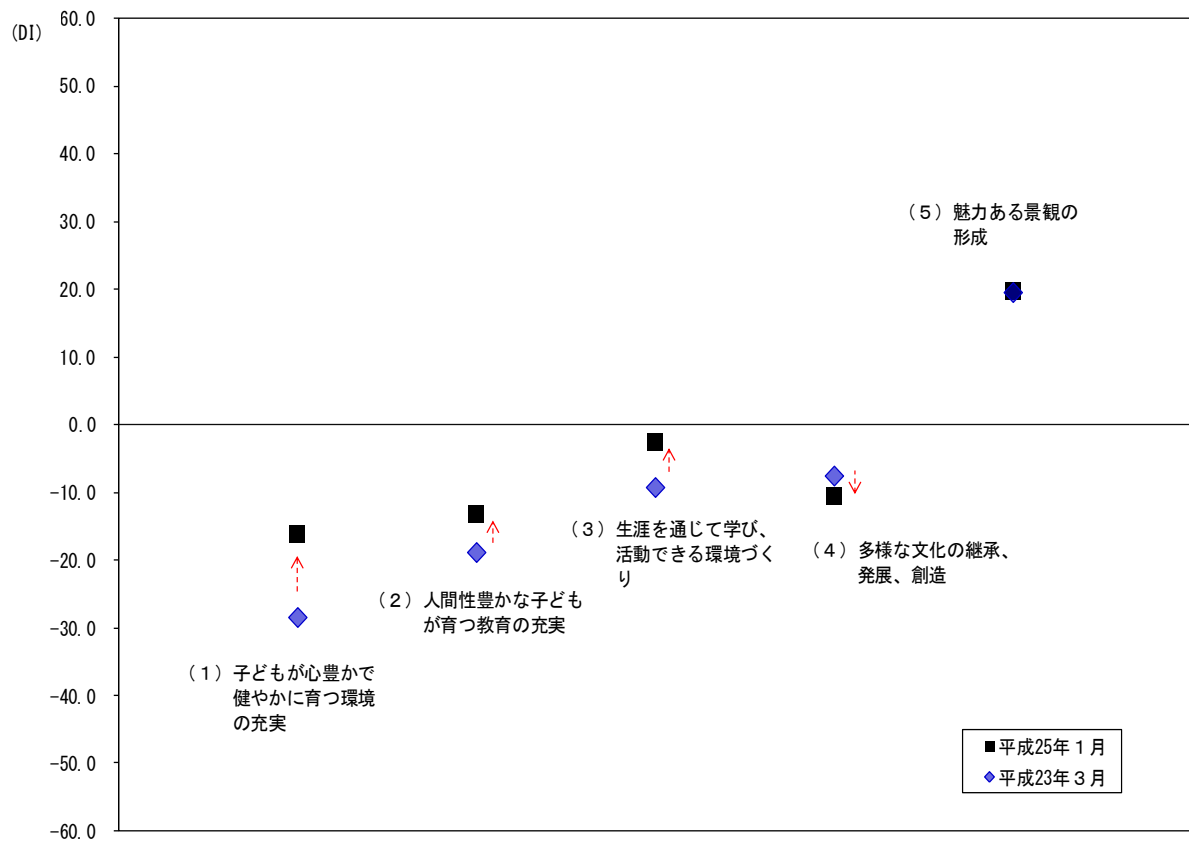
- ・ 5つの政策（中柱）のうち DI がプラスとなったものは「(5) 魅力ある景観の形成」のみで、ほかはすべてマイナスで、特に、「子育て」「教育」に関する政策については、10ポイントを超えるマイナスで実感を得られている状態にない。

(前回調査との比較)

- ・ 全体的に改善傾向が窺え、「(1) 子どもが心豊かで健やかに育つ環境の充実」は、23の政策(中柱)全体の中で、前回調査との比較で最も DI の上昇がみられた(12.3ポイント)。

(図表 ix - 4 「3 個性豊かな人と文化が育つまち」に対する市民の実感)

政策	質問項目	調査時期	件数 (人)	(ポイント)				
				①感じる+ ②やや感じる (a)	③どちらとも いえない	④あまり感じない+ ⑤感じない (b)	DI (a)-(b)	前回比
(1) 子どもが心豊かで健やかに育つ環境の充実	子どもを産み育てやすく、また、子どもが健やかに育つ環境づくりが進められている。	平成25年1月	697	25.7	32.6	41.8	▲ 16.1	12.3
		平成23年3月	714	21.0	29.6	49.4	▲ 28.4	
(2) 人間性豊かな子どもが育つ教育の充実	子どもの「学力」「心」「体」がバランスよく育成されている。また、英語、パソコンなどを活用した独自性のある教育が充実している。	平成25年1月	602	25.7	35.4	38.9	▲ 13.2	5.6
		平成23年3月	629	24.6	32.0	43.4	▲ 18.8	
(3) 生涯を通じて学び、活動できる環境づくり	生涯を通じて学びやすスポーツ活動ができる、また、その活動の成果を地域に還元できる環境づくりが進められている。	平成25年1月	750	34.3	28.8	36.9	▲ 2.6	6.6
		平成23年3月	730	30.5	29.7	39.7	▲ 9.2	
(4) 多様な文化の継承、発展、創造	地域の伝統文化を含め、多様な文化が継承、創出されている。また、優れた芸術文化に親しむ環境がある。	平成25年1月	778	29.6	30.2	40.2	▲ 10.6	▲ 3.1
		平成23年3月	772	32.4	27.7	39.9	▲ 7.5	
(5) 魅力ある景観の形成	海や緑、歴史的な建造物などを生かした、横須賀らしい魅力ある景観づくりが進められている。	平成25年1月	848	47.3	25.2	27.5	19.8	0.2
		平成23年3月	829	49.8	20.0	30.2	19.6	



4 健康でやさしい心のふれあうまち

(今回調査の傾向)

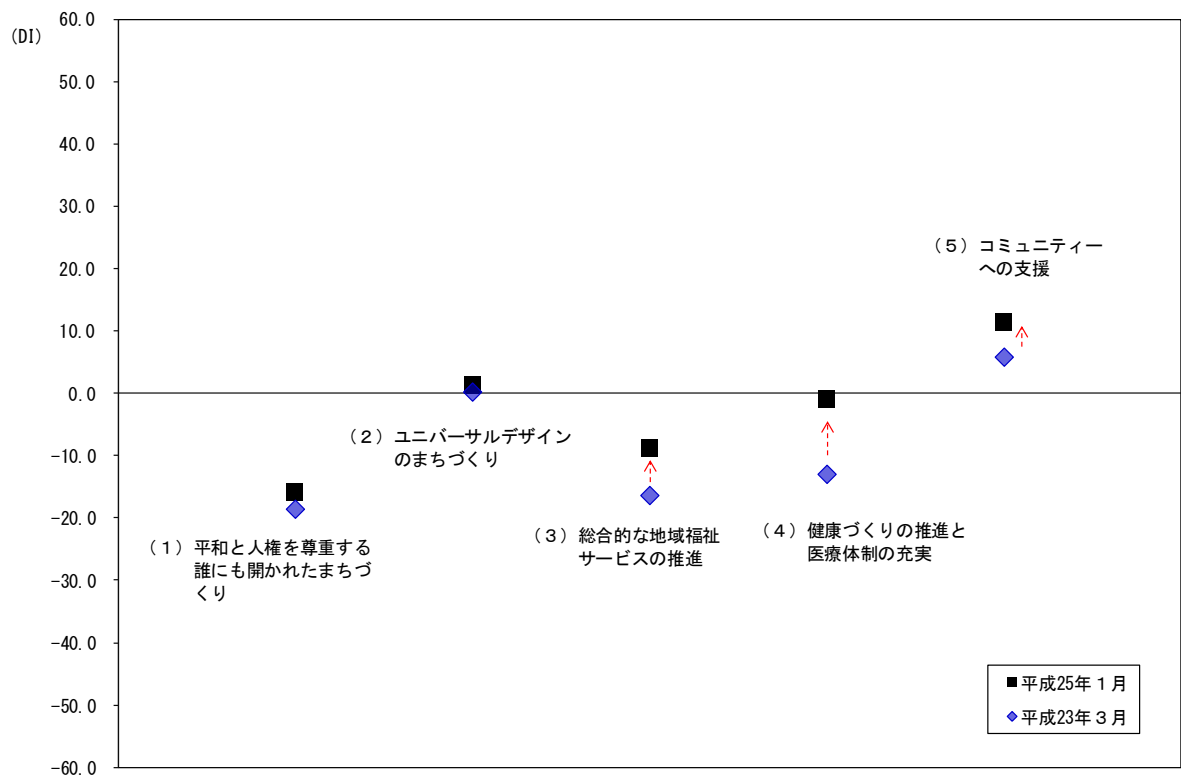
- ・ 5つの政策（中柱）のうち DI がプラスとなったものは2つで、「(2) ユニバーサルデザインのまちづくり」については値も高くはなく、当該まちづくり政策の目標（大柱）に対して現時点では市民からの実感が得られていない状況にあるといえる。

(前回調査との比較)

- ・ 5つの政策すべてで、前回比プラスとなった。最も DI の上昇がみられたのは「(4) 健康づくりの推進と医療体制の充実」で、マイナスの状態ではあるが、12.0 ポイントの大幅な上昇となった。

(図表ix-5 「4 健康でやさしい心のふれあうまち」に対する市民の実感)

政策	質問項目	調査時期	件数 (人)	(ポイント)				
				①感じる＋ ②やや感じる (a)	③どちらとも いえない	④あまり感じない＋ ⑤感じない (b)	DI (a)-(b)	前回比
(1) 平和と人権を尊重する誰にも開かれたまちづくり	平和と人権が尊重される社会環境づくりが進められている。	平成25年1月	714	21.8	40.3	37.8	▲ 16.0	2.6
		平成23年3月	724	21.5	38.4	40.1	▲ 18.6	
(2) ユニバーサルデザインのまちづくり	誰もが、気軽に出かけたり、安心して利用できる施設づくりが進められている。また、さまざまな活動に参加できる環境づくりが進められている。	平成25年1月	825	35.4	30.5	34.1	1.3	1.1
		平成23年3月	810	34.8	30.6	34.6	0.2	
(3) 総合的な地域福祉サービスの推進	誰もが、その人らしく生活できるような福祉サービスが提供されている。また、そのための人づくりや場づくりが進められている。	平成25年1月	771	29.2	32.8	38.0	▲ 8.8	7.6
		平成23年3月	754	27.1	29.4	43.5	▲ 16.4	
(4) 健康づくりの推進と医療体制の充実	生涯を通じて心身ともに健康でいるための取り組みや、安心して医療サービスを受けられる環境づくりが進められている。	平成25年1月	817	34.6	29.7	35.6	▲ 1.0	12.0
		平成23年3月	798	29.7	27.6	42.7	▲ 13.0	
(5) コミュニティーへの支援	町内会や自治会活動をはじめ、福祉や教育などさまざまなテーマの自主活動が活発に行われている。	平成25年1月	788	40.7	29.8	29.4	11.3	5.5
		平成23年3月	760	38.3	29.2	32.5	5.8	



5 安全で快適に暮らせるまち

(今回調査の傾向)

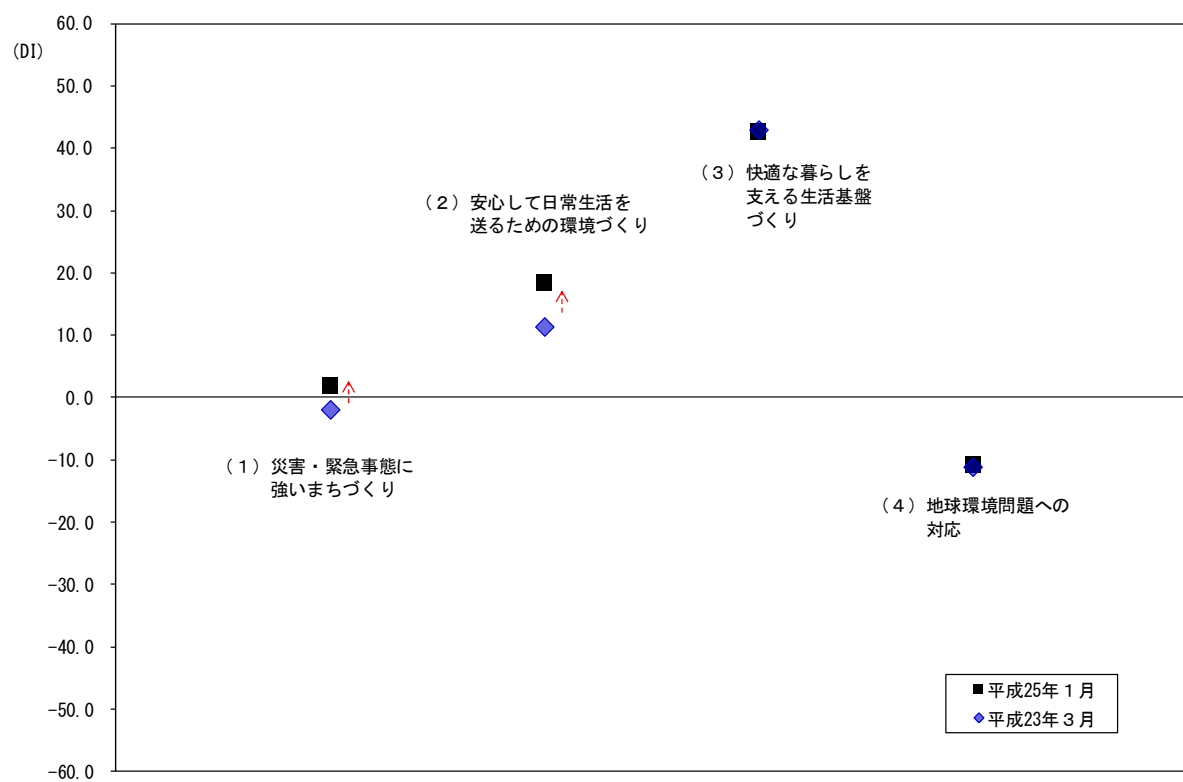
- ・4つの政策(中柱)のうち「(4) 地球環境問題への対応」のみ、DI がマイナスとなった。
- ・特に、「(3) 快適な暮らしを支える生活基盤づくり」は、23 の政策(中柱)全体の中で最も高い値を示した。
- ・当該まちづくり政策の目標(大柱)に対する現時点での市民の実感は、概ね良好な状況にあるといえる。

(前回調査との比較)

- ・「(3) 快適な暮らしを支える生活環境づくり」を除いて差がプラスで、最も DI の上昇がみられたのは「(2) 安心して日常生活を送るための環境づくり」となった(7.1 ポイント)。これ以外の政策(中柱)については大きな変化はみられない。

(図表ix-6 「5 安全で快適に暮らせるまち」に対する市民の実感)

政策	質問項目	調査時期	件数 (人)	(ポイント)				
				①感じる+ ②やや感じる (a)	③どちらとも いえない	④あまり感じない+ ⑤感じない (b)	DI (a)-(b)	前回比
(1) 災害・緊急事態に強いまちづくり	公共施設の耐震化や市民による防災活動など危機管理の体制が充実し、災害・緊急事態のときに不安を感じることのないまちづくりが進められている。	平成25年1月	841	38.0	25.8	36.1	1.9	3.8
		平成23年3月	804	35.9	26.2	37.8	▲ 1.9	
(2) 安心して日常生活を送るための環境づくり	環境保全、消防・救急救助、防犯、交通安全、消費者保護など、安心して日常生活を送るための対策が進められている。	平成25年1月	824	45.1	28.3	26.6	18.5	7.1
		平成23年3月	811	41.9	27.6	30.5	11.4	
(3) 快適な暮らしを支える生活基盤づくり	水道、下水道、ごみ処理、道路・交通環境、公園、河川管理など、市民の快適な暮らしを支える生活基盤づくりが適切に進められている。	平成25年1月	866	60.2	22.3	17.6	42.6	▲ 0.4
		平成23年3月	838	60.3	22.4	17.3	43.0	
(4) 地球環境問題への対応	温暖化対策など地球規模の問題に対して、市民、事業者、市役所など、さまざまな主体による取り組みが進められている。	平成25年1月	717	26.9	35.4	37.7	▲ 10.8	0.3
		平成23年3月	723	28.6	31.7	39.7	▲ 11.1	



3. まちづくりの推進姿勢の状況

(今回調査の傾向)

- ・まちづくりの推進姿勢で掲げた8つの政策(中柱)のうち、DIがプラスの状態に位置するものは3つとなった。
- ・DIが最も高い値を示したものは「2－(1)機動的で効率的な体制づくり」で、市役所の利用のしやすさ、情報システムの利用による手続きの便利さなどについて一定の評価を受けていると考えられる。
- ・一方、DIがマイナスの状態に位置する政策のうち、最も値が低いものは、「2－(3)健全な行財政運営」で、厳しい財政状況の中、将来的にも不安のない都市経営についての実感が得られていないとみることができる。

(前回調査との比較)

- ・全体的に改善・上昇傾向が窺え、中でも「2－(2)市政を支える意欲と能力のある人づくり」が、マイナスの状態ながら10ポイント近くの上昇となった。
- ・3つのまちづくりの推進姿勢(大柱)のうち、「2 効率的な都市経営の運営」を構成する政策(中柱)に改善の傾向がみられる。

(図表ix－7 まちづくりの推進姿勢に対する市民の実感)

まちづくりの 推進姿勢	政策(中柱)	DI		前回比
		平成25年1月	平成23年3月	
1 市民協働によるまちづくり の推進	(1) 情報公開・個人情報保護の充実	14.6	12.7	1.9
	(2) 広報広聴活動の充実	6.3	8.0	▲ 1.7
	(3) 市民協働の推進	▲ 8.0	▲ 11.0	3.0
2 効率的な都市 経営の運営	(1) 機動的で効率的な体制づくり	28.0	23.3	4.7
	(2) 市政を支える意欲と能力のある人づくり	▲ 1.1	▲ 10.7	9.6
	(3) 健全な行財政運営	▲ 24.7	▲ 30.4	5.7
3 地方分権と広 域連携の推進	(1) 地方分権の推進	▲ 16.1	▲ 15.6	▲ 0.5
	(2) 広域連携の推進	▲ 12.2	▲ 14.3	2.1

4. まちづくりの推進姿勢別集計結果

1 市民協働によるまちづくりの推進

(今回調査の傾向)

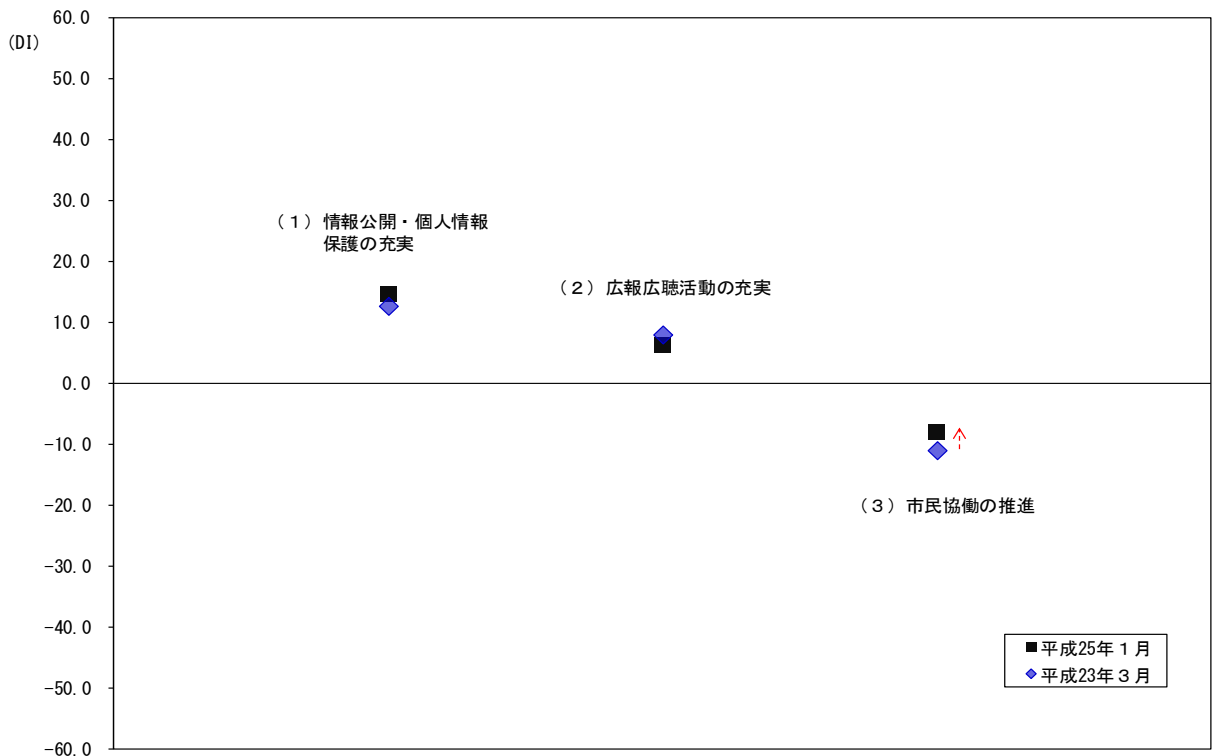
- ・ 3つの政策（中柱）の中では「(3) 市民協働の推進」のDIがマイナスとなった。

(前回調査との比較)

- ・ 3つの政策いずれも、DIにほとんど変化はみられなかった。

(図表ix-8 「1 市民協働によるまちづくりの推進」に対する市民の実感)

政策	質問項目	調査時期	件数 (人)	(ポイント)					前回比
				①感じる+ ②やや感じる (a)	③どちらとも いえない	④あまり感じない+ ⑤感じない (b)	DI (a)-(b)		
(1) 情報公開・ 個人情報保護 の充実	必要とする情報や市役 所の活動状況が積極的 に公開されている。また、 個人情報保護の適切な 管理が行われている。	平成25年1月	715	39.6	35.4	25.0	14.6	1.9	
		平成23年3月	689	40.3	32.1	27.6	12.7		
(2) 広報広聴活動 の充実	すべての市民に分かり やすい広報活動が行わ れている。また、多くの 市民から意見を聞く 活動やさまざまな相談 への対応が適切に行わ れている。	平成25年1月	771	37.4	31.5	31.1	6.3	▲ 1.7	
		平成23年3月	763	38.0	32.0	30.0	8.0		
(3) 市民協働の 推進	市民や民間団体が行う 公益的な活動への支援 が適切に行われている。 また、市の事業に 市民や事業者が積極的 に参画するなど、協働 による取り組みが進め られている。	平成25年1月	636	24.5	42.9	32.5	▲ 8.0	3.0	
		平成23年3月	623	23.8	41.4	34.8	▲ 11.0		



2 効率的な都市経営の推進に対する市民の実感

(今回調査の傾向)

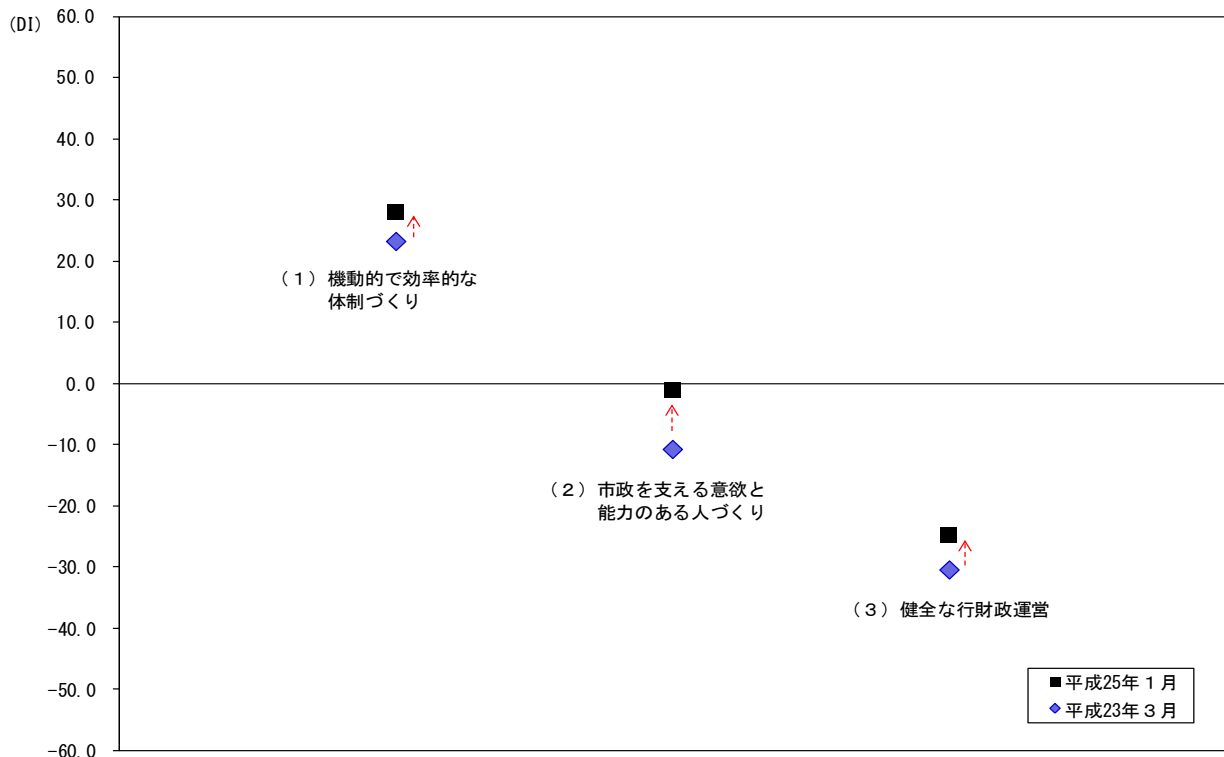
- ・「(1) 機動的で効率的な体制づくり」は、まちづくりの推進姿勢の8つの政策(中柱)全体の中で、DIが最も高い政策となった。一方、「(3) 健全な行財政運営」は、最も低い値となっており「2 効率的な都市経営の推進」を構成する政策(中柱)間で市民の実感に差がみられる。

(前回調査との比較)

- ・3つの政策すべてが前回比プラスとなった。中でも「(2) 市政を支える意欲と能力のある人づくり」のDIに最も上昇がみられた(9.6ポイント)。しかし、マイナスの状態の中での上昇であり、未だ実感が得られているとはいえない状況にある。

(図表ix-9 「2 効率的な都市経営の推進」に対する市民の実感)

政策	質問項目	調査時期	件数 (人)						(ポイント)	
				①感じる+ ②やや感じる (a)	③どちらとも いえない	④あまり感じない+ ⑤感じない (b)	DI (a)-(b)	前回比		
(1) 機動的で効率的な体制づくり	対応が迅速で、利用しやすい市役所になっている。また、情報システムの利用により手続き等が便利になっている。	平成25年1月	816	53.1	21.8	25.1	28.0	4.7		
		平成23年3月	779	49.6	24.1	26.3	23.3			
(2) 市政を支える意欲と能力のある人づくり	市の職員は、市民や市の将来のために熱意を持って働いている。	平成25年1月	747	32.9	33.1	34.0	▲ 1.1	9.6		
		平成23年3月	740	30.5	28.2	41.2	▲ 10.7			
(3) 健全な行財政運営	事業の見直しなど、行財政改革が適切に行われ、将来に不安のない健全な都市経営が進められている。	平成25年1月	663	17.5	40.3	42.2	▲ 24.7	5.7		
		平成23年3月	672	17.4	34.8	47.8	▲ 30.4			



3 地方分権と広域連携の推進に対する市民の実感

(今回調査の傾向)

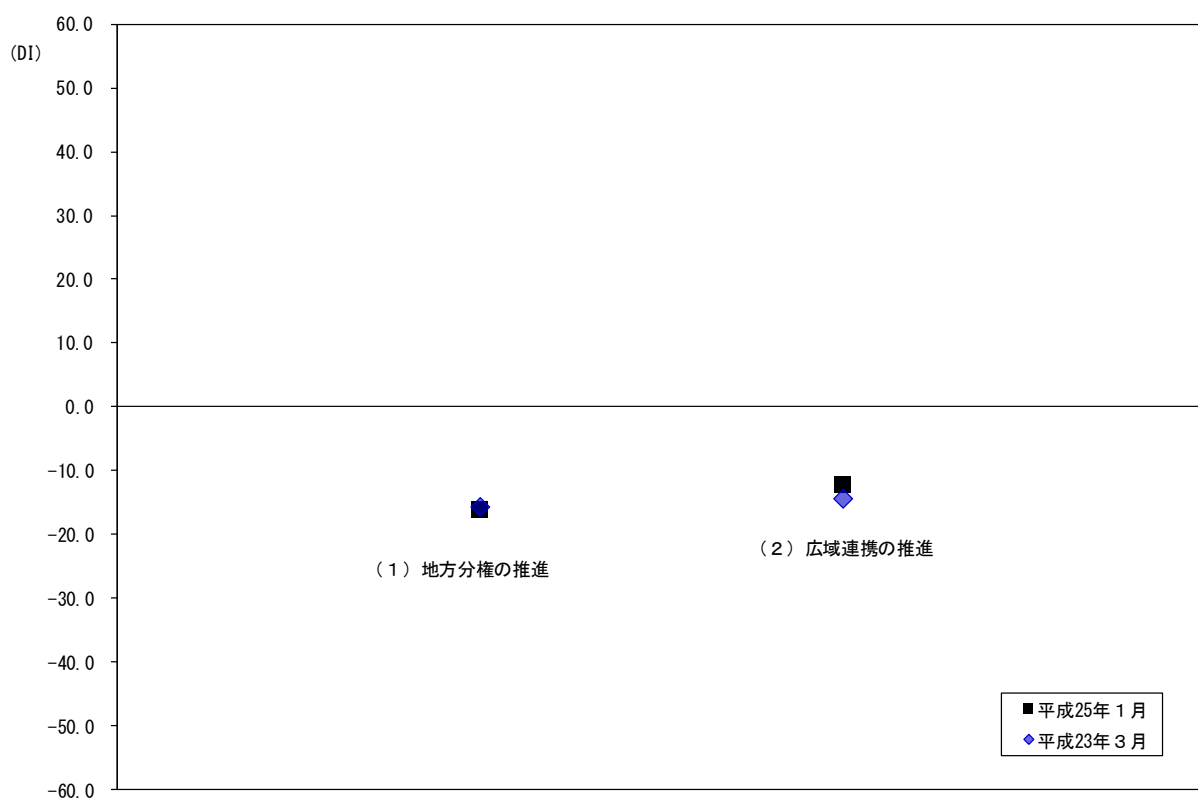
- ・ 2つの政策（中柱）のいずれも DI が 10 ポイントを超えるマイナスとなった。

(前回調査との比較)

- ・ 2つの政策ともに DI に変化がなく、当該まちづくりの推進姿勢（大柱）に対する現時点での実感は得られていないといえる。

(図表 ix-10 「3 地方分権と広域連携の推進」に対する市民の実感)

政策	質問項目	調査時期	件数 (人)	(ポイント)				
				①感じる+ ②やや感じる (a)	③どちらとも いえない	④あまり感じない+ ⑤感じない (b)	DI (a)-(b)	前回比
(1) 地方分権の 推進	横須賀ならではの取り組みが充実し、都市としての自立性が高まっている。また、住民が主体的に地域づくりに参画している。	平成25年 1 月	721	22.9	38.1	39.0	▲ 16.1	▲ 0.5
		平成23年 3 月	690	24.5	35.4	40.1	▲ 15.6	
(2) 広域連携の 推進	観光分野や日常生活に関連する課題に対して、近隣自治体や他地域の都市との協力や連携による取り組みが進められている。	平成25年 1 月	654	26.5	34.9	38.7	▲ 12.2	2.1
		平成23年 3 月	633	25.8	34.1	40.1	▲ 14.3	



V. 基本的な属性（F 1 ～ F 7）

※各構成比（％）は無回答を除いて算出

1. 性別（F 1）

属性の項目	回答数（人）	構成比（％）		
		平成 25 年 1 月	平成 23 年 3 月	増減
全体	945	—	—	—
男性	387	41.8	42.4	▲ 0.6
女性	538	58.2	57.6	0.6
無回答	20	—	—	—

2. 年齢（F 2）

属性の項目	回答数（人）	構成比（％）		
		平成 25 年 1 月	平成 23 年 3 月	増減
全体	945	—	—	—
15～19 歳	34	3.7	4.3	▲ 0.6
20～24 歳	29	3.1	3.5	▲ 0.4
25～29 歳	49	5.3	3.9	1.4
30～34 歳	51	5.5	5.7	▲ 0.2
35～39 歳	69	7.5	9.3	▲ 1.8
40～44 歳	72	7.8	8.1	▲ 0.3
45～49 歳	74	8.0	6.7	1.3
50～54 歳	84	9.1	7.6	1.5
55～59 歳	91	9.8	10.7	▲ 0.9
60～64 歳	87	9.4	9.8	▲ 0.4
65～69 歳	95	10.3	11.0	▲ 0.7
70～74 歳	107	11.6	11.6	0.0
75 歳以上	83	9.0	7.8	1.2
無回答	20	—	—	—

3. 居住地域（F 3）

属性の項目	回答数（人）	構成比（％）		
		平成 25 年 1 月	平成 23 年 3 月	増減
全体	945	—	—	—
本庁地域	128	13.9	14.3	▲ 0.4
追浜地域	77	8.4	7.7	0.7
田浦地域	49	5.3	4.6	0.7
逸見地域	20	2.2	2.6	▲ 0.4
衣笠地域	115	12.5	13.2	▲ 0.7
大津地域	98	10.6	11.5	▲ 0.9
浦賀地域	119	12.9	12.0	0.9
久里浜地域	138	15.0	15.8	▲ 0.8
北下浦地域	71	7.7	6.6	1.1
西地域	106	11.5	11.5	0.0
無回答	24	—	—	—

4. 職業（F4）

属性の項目	回答数（人）	構成比（％）		
		平成 25 年 1 月	平成 23 年 3 月	増減
全体	945	—	—	—
農林漁業	4	0.4	0.1	0.3
自営（商店・工務店・工場等）	15	1.6	1.9	▲ 0.3
自営（サービス業）	24	2.6	2.1	0.5
会社員・公務員 （事務職・専門職・管理職）	148	16.0	15.0	1.0
会社員・公務員 （販売／サービス）	69	7.5	8.4	▲ 0.9
会社員・公務員 （保安・運輸／通信・建設／労務）	38	4.1	4.7	▲ 0.6
自由業	14	1.5	1.1	0.4
家事専業	167	18.1	19.1	▲ 1.0
アルバイト・パートタイマー・ 派遣社員	149	16.1	16.1	0.0
学生	46	5.0	5.2	▲ 0.2
無職	225	24.4	24.1	0.3
その他	25	2.7	2.1	0.6
無回答	21	—	—	—

5. 世帯の状況（F5）

属性の項目	回答数（人）	構成比（％）		
		平成 25 年 1 月	平成 23 年 3 月	増減
全体	945	—	—	—
0～14 歳の子どもがいる	147	25.0	26.8	▲ 1.8
65 歳以上の高齢者がいる	325	55.3	56.5	▲ 1.2
単身世帯（一人暮らし）	146	24.8	23.0	1.8
無回答	357	—	—	—

※複数回答可のため総回答数 945 件と一致しない。無回答には回答項目に該当しない回答者を含む。

6. 市内居住年数（F6）

属性の項目	回答数（人）	構成比（％）		
		平成 25 年 1 月	平成 23 年 3 月	増減
全体	945	—	—	—
1 年未満	14	1.5	1.2	0.3
1～3 年	31	3.4	3.7	▲ 0.3
4～9 年	49	5.3	7.3	▲ 2.0
10～14 年	53	5.7	5.6	0.1
15～19 年	78	8.5	7.6	0.9
20～24 年	70	7.6	6.8	0.8
25 年以上	628	68.0	67.8	0.2
無回答	22	—	—	—

7. 住宅形態（F 7）

属性の項目	回答数（人）	構成比（％）		
		平成 25 年 1 月	平成 23 年 3 月	増減
全体	945	—	—	—
持ち家 一戸建て	556	60.4	59.1	1.3
持ち家 中高層集合住宅	141	15.3	15.1	0.2
その他の持ち家	12	1.3	2.7	▲ 1.4
借家 一戸建て	41	4.5	2.6	1.9
借家 民間のアパート	71	7.7	6.2	1.5
借家 民間のマンション	28	3.0	3.8	▲ 0.8
UR（旧公団）・公社の借家	5	0.5	0.6	▲ 0.1
公営の借家	29	3.2	5.9	▲ 2.7
社宅・官舎	22	2.4	2.3	0.1
間借り	3	0.3	0.1	0.2
その他の借家	12	1.3	1.7	▲ 0.4
無回答	25	—	—	—

調 査 票

総合計画市民アンケート調査票

回答は、すべて別紙の「回答用紙」にご記入ください。

I 横須賀の魅力について伺います

問1【横須賀の魅力について】

あなたにとって横須賀の魅力的なところは、どのようなところだと思いますか。次の中からあてはまるものを順に3つまで選んでください。

- ①教育や文化の水準が高い
- ②子育てに対する支援が充実している
- ③高齢者、障害者などへの福祉が充実している
- ④道路、公園などの都市基盤が整備され、生活するのに便利である
- ⑤身近でスポーツ・レクリエーションを楽しむ機会に恵まれている
- ⑥犯罪が少なく、防災面も充実していて安心して暮らせる
- ⑦大都市に近く、通勤・通学に便利である
- ⑧仕事や収入の機会に恵まれている
- ⑨海や緑などの自然環境に恵まれている
- ⑩魚介類・農産物などが新鮮で、豊かな食生活ができる
- ⑪観光資源や歴史的資産に恵まれている
- ⑫国際色豊かである
- ⑬市民のマナーが良く、快適な生活ができる
- ⑭地域での人間関係がとてもよい
- ⑮その他（具体的にお書きください）

II 横須賀への愛着やイメージについて伺います

問2【横須賀への愛着について】

あなたは横須賀市に自分のまちとしての愛着を感じますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んでください。

- ①感じている ②やや感じている ③どちらともいえない ④あまり感じていない
- ⑤感じていない ⑥よくわからない

問3【横須賀のイメージについて】

あなたが考える横須賀市のイメージについて、次の中からあてはまるものを順に3つまで選び、現在の都市イメージを「A欄」に、また、望ましい都市イメージを「B欄」にそれぞれ記入してください。

- ①外国人との交流が盛んな「国際交流のまち」
- ②さまざまな分野の研究開発機関が集積する「ICT（情報通信技術）・先端技術のまち」
- ③芸術・文化活動が盛んな「文化芸術のまち」
- ④米軍基地・自衛隊がある「基地のまち」
- ⑤防犯・防災体制が整った「安全・安心なまち」
- ⑥市外から多くの人を訪れる「観光・レジャーのまち」
- ⑦豊かな自然が残されている「自然環境に恵まれたまち」
- ⑧首都圏への通勤者が多い「住宅中心のまち」
- ⑨ごみのリサイクルや地球温暖化対策など「環境にやさしいまち」
- ⑩道路、公園など都市基盤の整った「生活に便利で快適なまち」
- ⑪健康づくりのための施設や医療機関が充実した「健康増進・医療福祉のまち」
- ⑫高齢者・障害者をはじめとした「誰もが安心して暮らせるまち」
- ⑬保育所など子育て環境が充実した「子育てのまち」
- ⑭学校教育が充実した「教育のまち」
- ⑮農業・漁業が盛んな「農・漁業のまち」
- ⑯自動車産業などが盛んな「工業のまち」
- ⑰商業施設が充実した「にぎわいのあるまち」
- ⑱その他（ご自由にお書きください）

Ⅲ 横須賀の住みよさについて伺います

問4【住みよさについて】

あなたにとって横須賀市はどの程度住み良いですか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んでください。

- ①住み良い ②まあまあ住み良い ③どちらともいえない
- ④あまり住み良くない ⑤住みにくい ⑥よくわからない

問5【定住意識について】

あなたは現在の横須賀市に住み続けたいと思いますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んでください。

- ①今住んでいるところに住み続けたい ☐ → 問5－1へ
- ②横須賀市内のどこかに住み続けたい ☐ → 問5－1へ
- ③市外に転居したい ☐ → 問5－2へ

問5－1 問5で①か②を選んだ方に伺います。横須賀市に住み続けたいというあなたの気持ちが変わるとしたら、その理由は何ですか。次の中からあてはまるものを順に2つまで選んでください。

- ①教育・文化環境が今よりも悪くなる
- ②子育て環境が今よりも悪くなる
- ③道路、公園などの都市基盤が今よりも整備されず、生活環境が悪くなる
- ④交通の便が今よりも向上しない
- ⑤自然環境が今よりも豊かでなくなる
- ⑥市内での自分の商売が繁盛しなくなる
- ⑦通勤時間が大幅に長くなるところに転勤（就職・転職）になる
- ⑧望ましい持ち家が取得できない
- ⑨望ましい借家の供給が減少する
- ⑩その他（具体的にお書きください）

問5－2 問5で③を選んだ方に伺います。市外に移りたいというあなたの気持ちが変わるとしたら、その理由は何ですか。次の中からあてはまるものを順に2つまで選んでください。

- ①教育・文化環境が今よりも良くなる
- ②子育て環境が今よりも良くなる
- ③道路、公園などの都市基盤が今よりも整備され、生活環境が良くなる
- ④交通の便が今よりも良くなる
- ⑤自然環境が今よりも豊かになる
- ⑥市内での自分の商売が繁盛する
- ⑦通勤に便利なところに転勤（就職・転職）になる
- ⑧望ましい持ち家が取得しやすくなる
- ⑨望ましい借家が今よりも供給される
- ⑩その他（具体的にお書きください）

問6【公共交通（鉄道・バス・タクシー）の利便性について】

あなたは、買い物や通勤・通学などで外出する際、市内の公共交通（鉄道・バス・タクシー）の利便性について、どのように感じていますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んでください。

- ①公共交通の便が良く、外出に便利である
- ②公共交通の便が悪く、外出に不便である
- ③どちらともいえない
- ④利用しないのでわからない → 5ページ（問7）へ

問6－1 問6で①②③のいずれかを選んだ方に伺います。買い物や通勤・通学などで外出する際の公共交通（鉄道・バス・タクシー）それぞれの利便性に対する実感について、あてはまるものを1つだけ選んでください。

（1）「鉄道」について利便性を感じていますか。

- ①感じる
- ②やや感じる
- ③あまり感じない
- ④感じない
- ⑤どちらともいえない

（2）「バス」について利便性を感じていますか。

- ①感じる
- ②やや感じる
- ③あまり感じない
- ④感じない
- ⑤どちらともいえない

（3）「タクシー」について利便性を感じていますか。

- ①感じる
- ②やや感じる
- ③あまり感じない
- ④感じない
- ⑤どちらともいえない

Ⅳ 地域活動への参加状況について伺います

問 7 【地域活動への参加について】

あなたは、地域のまちづくり活動やボランティア活動、NPO活動、市が呼びかけた市民参加型事業に参加、参画していますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

①はい → 問 7-1 へ

②いいえ → 問 7-2 へ

問 7-1 問 7 で①を選んだ方に伺います。あなたが参加、参画しているのはどのような活動ですか。

あてはまるものをすべて選んでください。

- ①市が呼びかけた市民参加型事業（例：花のボランティア、イベント運営ボランティアなど）
- ②地域のまちづくり活動（例：町内会・PTAの役員、地域のクリーン活動や防災・防犯活動など）
- ③ボランティア活動（例：福祉や国際交流、環境美化、青少年の健全育成など）
- ④新たな社会的課題の解決に向けて取り組むNPO（非営利組織）の運営
（例：環境保全活動、在宅介護支援、学童保育、人権擁護、災害救援活動など）
- ⑤その他（具体的にお書きください）

問 7-2 問 7 で②を選んだ方に伺います。今後、これらの活動に参加、参画したいと思いますか。

（１）か（２）のうち、あてはまるものを1つだけ選び、それぞれの設問に答えてください。

（１）はい → それはどのような活動ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

- ①市が呼びかけた市民参加型事業（例：花のボランティア、イベント運営ボランティアなど）
- ②地域のまちづくり活動（例：町内会・PTAの役員、地域のクリーン活動や防災・防犯活動など）
- ③ボランティア活動（例：福祉や国際交流、環境美化、青少年の健全育成など）
- ④新たな社会的課題の解決に向けて取り組むNPO（非営利組織）の運営
（例：環境保全活動、在宅介護支援、学童保育、人権擁護、災害救援活動など）
- ⑤その他（具体的にお書きください）

（２）いいえ → それはなぜですか。あなたのお考えに近いものを1つだけ選んでください。

- ①興味はあるが、時間的余裕がない
- ②興味はあるが、きっかけや情報がない
- ③興味がない
- ④その他（具体的にお書きください）

V 情報の入手方法、市民相談について伺います

問 8 【情報の入手先について】

あなたは、日常生活の中で必要な情報をどのような方法で入手していますか。次の中から入手方法としてよく活用しているものを順に3つまで選んでください。

- ①テレビ
- ②ラジオ
- ③広報よこすか
- ④横須賀市ホームページ
- ⑤新聞・チラシ
- ⑥雑誌・書籍
- ⑦ポスター・看板・掲示板
- ⑧ダイレクトメール
- ⑨フリーペーパー（無料配布誌）・タウン誌
- ⑩インターネット
- ⑪メールマガジン
- ⑫mixi、Facebook、ミクシィ フェイスブック ツイッター Twitterなどのソーシャルメディア
- ⑬クチコミ
- ⑭横須賀市コールセンター
- ⑮その他（具体的にお書きください）

問 9 【テレビ・ラジオによる市の情報発信について】

横須賀市では、テレビ・ラジオによる広報番組の製作・放送をしています。

あなたは、市が製作した番組を見たり聞いたりしたことがありますか。それぞれあてはまるものを1つだけ選んでください。

（1）tvk（テレビ神奈川）「マイコミュニティよこすか」について

- ①見たことがある
- ②知っているが見たことはない
- ③知らない

（2）ケーブルテレビ ジェイコム湘南「YOKOSUKAほっとナビ」について

- ①見たことがある
- ②知っているが見たことはない
- ③知らない

（3）ラジオ FM ブルー湘南「耳で聞く広報よこすか」について

- ①聞いたことがある
- ②知っているが聞いたことはない
- ③知らない

問 10【市民相談について】

横須賀市では、市政に対する意見や要望のほかに、相続や離婚などの家庭問題、近隣トラブル、多重債務問題など日常生活で生じるさまざまな問題について、市民相談室を設けて相談に応じています。

あなたは、日常生活の困りごとなどを相談する場所として、市役所は利用しやすい場所だと思いますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んでください。

- ① 思う ② やや思う ③ どちらともいえない ④ あまり思わない ⑤ 思わない
⑥ わからない ⑦ その他（具体的にお書きください）

VI 基地について伺います

問 11【米軍基地について】

横須賀市内にある米軍基地について、どのようにお考えですか。次の中からあなたのお考えに近いものを1つだけ選んでください。

- ① あった方がよい —————> 問 11-1 へ
② ない方がよい —————> 問 11-2 へ
③ どちらでもない }
④ やむを得ない } 次ページ（問 12）へ
⑤ わからない }

問 11-1 問 11 で①を選んだ方に伺います。①を選んだ理由について、次の中からあなたのお考えに近いものを1つだけ選んでください。

- ① 日本の安全上必要だから
② 地域の経済に貢献しているから
③ 国際協力、国際交流に役立っているから
④ 災害が起こった時に心強いから
⑤ その他（具体的にお書きください）

問 11-2 問 11 で②を選んだ方に伺います。②を選んだ理由について、次の中からあなたのお考えに近いものを1つだけ選んでください。

- ① 戦争の危険に巻き込まれるおそれがあるから
② 市の中心部に位置し、本市発展の阻害要因となっているから
③ 横須賀市など特定の都市にだけ押し付けられていて不公平だから
④ 犯罪や事故が心配だから
⑤ その他（具体的にお書きください）

問 12【自衛隊基地について】

横須賀市内にある自衛隊基地について、どのようにお考えですか。次の中からあなたのお考えに近いものを1つだけ選んでください。

- ①あった方がよい → 問 12－1 へ
- ②ない方がよい → 問 12－2 へ
- ③どちらでもない } 次ページ（問 13） へ
- ④やむを得ない }
- ⑤わからない }

問 12－1 問 12 で①を選んだ方に伺います。①を選んだ理由について、次の中からあなたのお考えに近いものを1つだけ選んでください。

- ①日本の安全上必要だから
- ②地域の経済に貢献しているから
- ③国際協力、国際交流に役立っているから
- ④災害が起こった時に心強いから
- ⑤その他（具体的にお書きください）

問 12－2 問 12 で②を選んだ方に伺います。②を選んだ理由について、次の中からあなたのお考えに近いものを1つだけ選んでください。

- ①戦争の危険に巻き込まれるおそれがあるから
- ②市の中心部に位置し、本市発展の阻害要因となっているから
- ③横須賀市など特定の都市にだけ押し付けられていて不公平だから
- ④犯罪や事故が心配だから
- ⑤その他（具体的にお書きください）

Ⅶ 公演などの鑑賞、文化芸術活動の状況、文化の振興について伺います

問 13【公演などの鑑賞について】

あなたは、さまざまな会場で行われる公演や展覧会などを鑑賞することがありますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んでください。

- ①月に1回以上鑑賞する
 - ②数カ月間に1～2回程度鑑賞する
 - ③年に1～2回程度鑑賞する
 - ④鑑賞しない
- 問 14 へ
- 問 13-1 へ

問 13-1 問 13 で④を選んだ方に伺います。今後、公演や展覧会などの鑑賞をしてみたいと思いますか。

次の中からあてはまるものを1つだけ選んでください。

- ①機会があれば鑑賞したい
- ②興味・関心がない
- ③わからない

問 14【文化芸術活動について】

あなたは、現在、何らかの文化芸術活動を行っていますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んでください。

※ここでの「文化芸術活動」とは、次のものへの参加、学習、普及支援などの活動をいいます。
芸術（文学・音楽・美術・写真・演劇・舞踊など）／伝統芸能（歌舞伎・能楽など）／
芸能（落語・歌唱など）／生活文化（茶道・華道・書道・陶芸など）／
国民娯楽（囲碁・将棋など）／その他これらに類するもの

- ①活動している
 - ②今は活動していないが、過去にしていたことがある
 - ③活動したことがない
 - ④わからない
- 問 15 へ
- 問 14-1 へ

問 14-1 問 14 で②③④のいずれかを選んだ方に伺います。今後、何らかの文化芸術活動をしてみたいと思いますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んでください。

- ①機会があれば活動したい
- ②興味・関心がない
- ③わからない

問 15【文化の振興に向けて】

市では、横須賀ならではの地域文化や新しい文化を創造するための取り組みを進めています。

横須賀の文化を豊かにするために、あなたが必要だと思う取り組みについて、次の中からあてはまるものを順に3つまで選んでください。

- ①市民の文化活動の充実（例：文化活動への支援、鑑賞の機会の提供など）
- ②文化の担い手の育成（例：子どもたちが文化に親しむ機会の提供など）
- ③学校教育における文化活動の充実
- ④生涯学習の機会の提供（例：講座の開催や情報提供など）
- ⑤地域の歴史の継承（例：地域の歴史の研究、掘り起こしや紹介など）
- ⑥地域の文化的遺産や伝統的文化の継承（例：遺産や伝統の保存、親しむ機会の提供など）
- ⑦景観の保全および形成（例：豊かな自然や歴史的環境の保全、街並みづくりなど）
- ⑧文化による国際交流の推進（例：市民の国際文化交流支援や姉妹都市との交流など）
- ⑨文化による地域間交流の推進（例：友好都市との文化交流など）
- ⑩文化による人々の交流の推進（例：文化資源を活用した観光や産業の振興など）
- ⑪文化情報の収集および提供
- ⑫文化活動の場の充実（例：身近なところで文化活動ができる場の提供や施設整備など）
- ⑬文化振興のための体制づくり（例：文化施策に市民の声を反映する仕組みや計画の策定など）
- ⑭その他（具体的にお書きください）

Ⅷ 政策の優先度や市役所サービスへの満足度について伺います

横須賀市は、より一層の市民サービスの向上、個性豊かなまちづくりをめざし、さまざまな取り組みを行っています。市に対して思うこと、感じることにについて次の設問にご回答ください。

問16【市役所サービス】

日々の暮らしにかかわる市役所のサービスに対する、あなたの「満足度」について、次の中からあてはまるものを1つだけ選んでください。

- ① 満足している ② ほぼ満足している ③ どちらともいえない ④ やや不満である
- ⑤ 不満である ⑥ わからない

問 17【政策の優先度】

10 年後、20 年後の将来、横須賀市が着実に成長できる都市であるためには、財源に限りがある中で、今後どのような政策を重点的に取り組むべきだと思いますか。次の中からあてはまるものを順に 3つ選んでください。

- ① イベントなどによる集客や定住の促進
- ② 自然環境の保全・創出
- ③ 交通利便性の向上
- ④ 地域経済の振興と雇用の安定
- ⑤ 市街地整備などによるまちのにぎわいづくり
- ⑥ 可能な限りの米軍基地の返還、自衛隊施設の集約統合
- ⑦ 子育て支援の充実
- ⑧ 学校教育の充実
- ⑨ 生涯学習の充実
- ⑩ 障害者福祉
- ⑪ 高齢者福祉
- ⑫ 健康づくり
- ⑬ 町内会、自治会活動に対する支援
- ⑭ 市民生活の安全・安心の向上
- ⑮ 都市基盤（道路・施設など）の整備
- ⑯ ごみの減量や地球温暖化など環境対策の推進
- ⑰ 情報公開や広報活動の充実
- ⑱ 市政への市民参加や住民自治の推進
- ⑲ その他（具体的にお書きください）

Ⅹ 市の政策に対するあなたの実感について伺います

問 18 回答用紙のそれぞれの項目について、あてはまるところに1つずつ○をつけてください。

【まちづくり政策の目標について】

質問項目		回答項目					
		感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない
1 広がるまち	1 【まちの魅力づくり】 市外からの集客につながる魅力的なイベントの開催や、定住に結びつく取り組みが進められている。						
	2 【魅力の発信】 市外からの集客につながる魅力やイベント情報の発信が積極的に行われている。						
	3 【交通網の整備】 近隣の都市とつながる道路や港湾の整備など、市民や事業者、来訪者が利用しやすい交通網づくりが進められている。						
2 海と緑を生かした活気あふれるまち	1 【自然環境の保全・創出】 海や緑、川などの自然環境の保全、自然豊かな公園・緑地の整備など、住んでいる人、訪れる人に潤いやゆとりを生むための取り組みが進められている。						
	2 【農水産業の振興】 農業や漁業が生産地としてだけでなく、観光などさまざまな場面で活用されている。						
	3 【新たな企業の誘致】 新たな企業・研究機関の進出や地域企業の活動に対する支援が進められている。						
	4 【雇用・労働環境の充実】 仕事に就くための支援が適切に行われている。また、勤労者の労働環境を改善する取り組みが進められている。						
	5 【市街地のにぎわいと住環境の維持・保全】 商業施設や住居が駅など地域の拠点に集約され、魅力やにぎわいが生まれている。一方、郊外の住宅団地などについては良好な環境が保たれている。						
	6 【基地への対応】 現状を踏まえた中で、可能な限り米軍基地の返還や自衛隊施設の集約・統合に向けた要請活動などが行われている。						

回答は別紙の「回答用紙」に記入してください。

		質問項目	回答項目						
			感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない	
3 個性豊かな人と文化が育つまち	1	【出産、子育て支援】 子どもを産み育てやすく、また、子どもが健やかに育つ環境づくりが進められている。	回答は別紙の「回答用紙」に記入してください。						
	2	【教育の充実】 子どもの「学力」「心」「体」がバランスよく育成されている。また、英語、パソコンなどを活用した独自性のある教育が充実している。							
	3	【生涯学習の環境の充実】 生涯を通じて学びやスポーツ活動ができる、また、その活動の成果を地域に還元できる環境づくりが進められている。							
	4	【文化の継承、発展】 地域の伝統文化を含め、多様な文化が継承、創出されている。また、優れた芸術文化に親しむ環境がある。							
	5	【魅力ある景観の保全・創出】 海や緑、歴史的な建造物などを生かした、横須賀らしい魅力ある景観づくりが進められている。							
4 健康でやさしい心のふれあうまち	1	【平和と人権の尊重】 平和と人権が尊重される社会環境づくりが進められている。							
	2	【全ての人々に利用しやすい環境づくり】 誰もが、気軽に出かけたり、安心して利用できる施設づくりが進められている。また、さまざまな活動に参加できる環境づくりが進められている。							
	3	【地域福祉サービスの推進】 誰もが、その人らしく生活できるような福祉サービスが提供されている。また、そのための人づくりや場づくりが進められている。							
	4	【健康づくり、医療体制づくり】 生涯を通じて心身ともに健康でいるための取り組みや、安心して医療サービスを受けられる環境づくりが進められている。							
	5	【地域コミュニティへの支援】 町内会や自治会活動をはじめ、福祉や教育などさまざまなテーマの自主活動が活発に行われている。							

質問項目		回答項目					
		感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない
5 安全で快適に暮らせるまち	1	回答は別紙の「回答用紙」に記入してください。					
	2						
	3						
	4						
【安心・安全なまちづくり】 公共施設の耐震化や市民による防災活動など危機管理の体制が充実し、災害・緊急事態のときに不安を感じることはないまちづくりが進められている。							
【安心・安全な日常生活づくり】 環境保全、消防・救急・救助、防犯、交通安全、消費者保護など、安心して日常生活を送るための対策が進められている。							
【日常生活を支える基盤づくり】 水道、下水道、ごみ処理、道路・交通環境、公園、河川管理など、市民の快適な暮らしを支える生活基盤づくりが適切に進められている。							
【地球温暖化対策】 温暖化対策など地球規模の問題に対して、市民、事業者、市役所など、さまざまな主体による取り組みが進められている。							

【まちづくりの推進姿勢について】

質問項目		回答項目					
		感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない
1 市民協働によるまちづくりの推進	1	回答は別紙の「回答用紙」に記入してください。					
	2						
	3						
【情報公開と個人情報保護】 必要とする情報や市役所の活動状況が積極的に公開されている。また、個人情報の適切な管理が行われている。							
【広報・広聴活動】 すべての市民に分かりやすい広報活動が行われている。また、多くの市民から意見を聞く活動やさまざまな相談への対応が適切に行われている。							
【市民協働によるまちづくり】 市民や民間団体が行う公益的な活動への支援が適切に行われている。また、市の事業に市民や事業者が積極的に参画するなど、協働による取り組みが進められている。							

		質問項目	回答項目						
			感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない	
2 効率的な都市経営の推進	1	【迅速で、便利な市役所】 対応が迅速で、利用しやすい市役所になっている。また、情報システムの利用により手続き等が便利になっている。	回答は別紙の「回答用紙」に記入してください。						
	2	【市政を支える意欲と能力のある職員の育成】 市の職員は、市民や市の将来のために熱意を持って働いている。							
	3	【健全な行財政運営】 事業の見直しなど、行財政改革が適切に行われ、将来に不安のない健全な都市経営が進められている。							
3 広域連携と地方分権の推進	1	【独自性のある市政運営と住民自治】 横須賀ならではの取り組みが充実し、都市としての自立性が高まっている。また、住民が主体的に地域づくりに参画している。							
	2	【他都市との連携による市政運営】 観光分野や日常生活に関連する課題に対して、近隣自治体や他地域の都市との協力や連携による取り組みが進められている。							

【統計処理のために必要な情報ですので、全員の方がお答えください。】

あなた自身のことについて伺います

次の各項目において、あなたにあてはまるものを選んでください。

F 1 <性別>

- ① 男性 ② 女性

F 2 <年齢>

- ① 15～19 歳 ② 20～24 歳 ③ 25～29 歳 ④ 30～34 歳
⑤ 35～39 歳 ⑥ 40～44 歳 ⑦ 45～49 歳 ⑧ 50～54 歳
⑨ 55～59 歳 ⑩ 60～64 歳 ⑪ 65～69 歳 ⑫ 70～74 歳
⑬ 75 歳以上

F 3 <お住まいの地域> (次ページに地域別一覧表がありますのでご参照ください。)

- ① 本庁地域 ② 追浜地域 ③ 田浦地域 ④ 逸見地域 ⑤ 衣笠地域
⑥ 大津地域 ⑦ 浦賀地域 ⑧ 久里浜地域 ⑨ 北下浦地域 ⑩ 西地域

F 4 <職業>

- | | |
|----------------------|---------------------------|
| ① 農林漁業 | ② 自営（商店・工務店・工場等） |
| ③ 自営（サービス業） | ④ 会社員・公務員（事務職・専門職・管理職） |
| ⑤ 会社員・公務員（販売／サービス） | ⑥ 会社員・公務員（保安・運輸／通信・建設／労務） |
| ⑦ 自由業 | ⑧ 家事専業 |
| ⑨ アルバイト・パートタイマー・派遣社員 | ⑩ 学生 |
| ⑪ 無職 | ⑫ その他 |

F 5 <世帯の状況> (複数回答可) (該当がない場合は、回答欄は空欄をお願いします。)

- ① 0 歳～14 歳の子どもがいる ② 65 歳以上の高齢者がいる
③ 単身世帯（一人暮らし）

F 6 <横須賀市に住んでいる年数>

- ① 1 年未満 ② 1～3 年 ③ 4～9 年 ④ 10～14 年
⑤ 15～19 年 ⑥ 20～24 年 ⑦ 25 年以上

F 7 <現在の住宅の形態>

- | | | | |
|-------|-----------------|-----------|------------|
| 〈持ち家〉 | ① 一戸建て | ② 中高層集合住宅 | ③ その他の持ち家 |
| 〈借 家〉 | ④ 一戸建て | ⑤ 民間のアパート | ⑥ 民間のマンション |
| | ⑦ UR（旧公団）・公社の借家 | ⑧ 公営の借家 | ⑨ 社宅・官舎 |
| | ⑩ 間借り | ⑪ その他の借家 | |

≪調査項目は以上です。ご協力ありがとうございました。≫

地域別一覧表

(町名)	(地域別)
稲岡町、不入斗町、上町、小川町、大滝町、楠ヶ浦町、坂本町、佐野町、猿島、汐入町、汐見台、新港町、田戸台、鶴が丘、泊町、日の出町、深田台、富士見町、平成町、平和台、望洋台、本町、緑が丘、三春町、安浦町、米が浜通、若松町	➡ <u>本庁地域</u>
浦郷町、追浜町、追浜東町、追浜本町、追浜南町、湘南鷹取、鷹取、夏島町、浜見台	➡ <u>追浜地域</u>
田浦町、田浦泉町、田浦大作町、田浦港町、長浦町、箱崎町、船越町、港が丘	➡ <u>田浦地域</u>
安針台、西逸見町、東逸見町、逸見が丘、山中町、吉倉町	➡ <u>逸見地域</u>
阿部倉、池上、大矢部、金谷、衣笠町、衣笠栄町、公郷町、小矢部、平作、森崎	➡ <u>衣笠地域</u>
池田町、大津町、桜が丘、根岸町、走水、馬堀町、馬堀海岸	➡ <u>大津地域</u>
浦賀、浦賀丘、浦上台、小原台、鴨居、光風台、西浦賀、東浦賀、二葉、南浦賀、吉井	➡ <u>浦賀地域</u>
岩戸、内川、内川新田、久比里、久村、久里浜、久里浜台、佐原、神明町、長瀬、ハイランド、舟倉、若宮台	➡ <u>久里浜地域</u>
粟田、グリーンハイツ、津久井、長沢、野比、光の丘	➡ <u>北下浦地域</u>
秋谷、芦名、太田和、荻野、子安、佐島、佐島の丘、湘南国際村、須軽谷、武、長井、長坂、林、御幸浜、山科台	➡ <u>西地域</u>

総合計画市民アンケート報告書

発行年月：平成 25 年（2013 年） 9 月

編集・発行：横須賀市政策推進部政策推進課（都市政策研究所）

〒238-8550 横須賀市小川町 11 番地

電話：046-822-8258 FAX：046-822-9285